

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	陳 青鳳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
アジアの歴史と文化	1	後期	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>1. アジアの歴史と文化の概要及び達成すべき目標とは、「アジアの自然や地理、民族、言語の導入を再確認し、この地域における国々の制度や歴史、文化などの多方面から、真のアジアを正確に認識すること」である。学生の「受講動機」において、④「単位数を確保する」の83.3%を除いて、③「関心のある内容である」は33.3%であった。この数値はあまり高くはないが、アジアに対する関心があることは大切なことである。 2. 授業に関する課題やレポートなどの内容を正確に指導できるよう、また、口頭・文書などの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会を作られるよう、今後工夫していきたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>1. 最終的な成績の平均値は85.2点であった。そのうち80点以上8人ということから、標準レベルに達していた。 2. DP-1の【知識理解】をみると、将来の保健・福祉を支えるための基本的知識を習得していた。 3. DP-3の【関心・意欲】においては、関連領域との協同により現実に即した解決を図る意欲が示されていた。 4. 学生による授業評価においては、「授業に参加するために1回30分程度以上の復習」を「週6回」は8人で、「授業の記録作成」で「主に配布資料に記録した」が13人であった。以上から、全体を通して目標を達成し、知識理解も達成されたといえる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」は4.3点、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は4.3点、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」は4.3点であった。一方、「職業選択の参考になった」は2.7点であった。以上のことから、内容的妥当性には問題はないと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>1. 授業の質評価について、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」は3.8点、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合うなどの機会がつけられていた」は3.1点であった。次年度は、授業内で授業に関するテーマを学生に発表してもらう時間を確保していきたい。 2. 「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」で「していない」は12人であった。授業に関連のあるテーマを指示し、授業外の学習に取り組めるよう促していく。 2. 「情報・図書館利用」を「利用しなかった」が13人であったので、授業と関連している他の知識やデータも重視すべきであることを学生に喚起していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>アジアの歴史と文化の標準的レベルは、「アジアに属する地域や国々を、正しく地図上で説明できる。また、多様な分野におけるアジアの歴史と文化の特徴を述べることができること」であり、これは達成できていたと考えられる。また、次年度は教師の一方的な授業形式ではなく、学生の意見や質問を取り入れられるような場面を設けていきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	古川 敬康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅱ	1	後期	必修	いいえ	86

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>「学生の授業評価アンケート」(学科ABの全体77名)を見ると、受講動機としては「必須科目である」ことが98.7%であって、他の動機は「関心」が5.2%、「資格取得」、「単位数確保」、「友人関係」、それに「GPAをあげる」がいずれも1.3%であった。ほとんどがキリスト教の成立に初めて接する状態であったことから、授業は受講準備性のレベルが低いところから始める必要があった。学習動機向上対策として、第1に建学の精神である「感恩奉仕」との関係と目的を最初に明示した。具体的には、総合人間科学の科目として、専門分野の科学の基盤となる重要な「自己理解」と「人間性」に関わる科学であることを説明した。第2に、評価基準を明示した。授業の質評価を見ると、&lt;評価基準は明らかであった&gt;の項目で肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順に「18、25、33」で92.68%であり、否定的回答の「少し」「全く」は「6、0」で7.32%、無回答が「0」であった。②「学生の質問を受け付け、それに答える機会」としては、授業毎に、受講者が「自分の考え、感想、調べたいこと等」を記入した「自己学習記録」を提出し、次の授業で教員からコメント等を記されて返却され、全体に関わる事柄については授業中に教員から詳しい説明を受けるフィードバックが与えられるというシステムを作り活用し、授業への参加意識を高める工夫の一つとした。③ 総合人間科学の科目であり、専門分野の科目とは異なるが、聖書の古代の状況を現代の状況に翻訳するに当たり、理解力を助けるための具体的なメタファーや 例えは、可能な場合には看護と関係のあるものを用い、キリスト教学の知識や理解を専門職との関係で蓄積できるように工夫した。④ 期末試験では、その準備の過程で、受講者が重要なテーマに関して自分の知識を正確なものとし、理解をより深めることができるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>① 成績を見ると、平均値は85.04点であった。分布的には、90点以上が32.14%、89～80点が44.05%で、理想的レベル(概ね80点以上)に達した受講者は76.19%であり、79～70点が20.24%、69～60点が3.57%で、標準レベル(概ね60点以上)のそれは23.81%であった。成績で見ると、知識理解はほぼ目標に達した。② 82名の学生の&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;に関する達成自己評価を見ると、それぞれ肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」の順(以下同)に「12、28、41」と「11、28、41」で98.78%と97.56%で、それぞれ否定的回答は「少し」「全く」の順(以下同)に「1、0」と「2、0」で1.22と2.44%であった。アンケートが試験前の実施であるが、ほぼ成績分布と平衡が取れていた。③ 専門分野での達成自己評価では、思考判断に関する&lt;検討する力&gt;&lt;判断する力&gt;に関しては、肯定的回答は「5、19、51」と「5、19、50」で91.46%と90.24%であったのに対し、否定的回答は「6、1」と「7、1」で8.54%と9.76%となった。④ 専門分野でも意欲関心に関する&lt;意欲&gt;では肯定的回答は「5、20、47」で87.80%であり、否定的回答は「9、1」で12.20%であった。⑤ さらに専門分野の技能表現に関する&lt;技術&gt;と&lt;コミュニケーション、表現力&gt;の習得では、肯定的回答はそれぞれ「6、14、46」「5、14、47」でいずれも80.49%であったのに対し、否定的回答はそれぞれ「15、1」と「14、2」でいずれも19.51%であった。⑥ 学生の規範学習に関する達成度の自己評価を見ると、肯定的回答が「5、24、45」で90.24%であったのに対して否定的回答は「6、2」で9.76%であった。⑦ &lt;職業選択の参考&gt;では、肯定的回答は「4、9、46」で71.95%であったのに対し、否定的回答は「10、2」で14.63%であった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CPの位置づけから検討すると、総合人間科学の一科目として、専門分野の諸領域の根本となる総合的視点と人間性を養い広い視野に立つアプローチを可能にすることに意義がある。上記の通り、学生の達成自己評価の否定的回答を見ると、まず、&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;では1乃至2%台であった。しかし専門分野の学習においては数値は上がっている。すなわち、&lt;検討する力&gt;&lt;判断する力&gt;ではそれぞれ8.54%と9.76%、&lt;意欲&gt;も12.20%であり、&lt;技術&gt;と&lt;コミュニケーション、表現力&gt;の習得ではいずれも19.51%、&lt;倫理・規範&gt;に関しては9.76%であった。② DPの位置づけを検討すると、上記の通り、学生の達成自己評価では、豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけるための&lt;知識&gt;&lt;理解&gt;、及び、責任を自覚し倫理に基づく行動ができるようになるための&lt;倫理・規範&gt;、これらの分野では否定的回答が1乃至2%台と9.76%であった。これに対し、課題を解決のための論理的思考・判断にかかる&lt;検討する力&gt;&lt;判断する力&gt;、及び、社会のニーズの変化に対応し自ら学び続ける&lt;意欲&gt;、並びに、&lt;技術&gt;の習得という専門分野と、適切な関係を形成する&lt;コミュニケーション、表現力&gt;に関しての否定的回答はそれぞれ8.54%、9.76%、12.20%、19.51%、9.76%であり20%未満に留まった。③ 以上から、CPの位置づけから肯定的回答は非専門と非技能表現の分野では90%以上であり、専門と技能表現の分野では80%台であり、授業内容は妥当であると考えられる。また、DPの位置づけからも、肯定的回答は、非専門と非技能表現の分野と、専門と技能表現の分野とにおいて同様なことが見られ授業内容は妥当であると考えられる。すなわち、CP及びDPカリキュラムマップ上の本科目の位置づけについて、授業内容は妥当であったと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>AB両クラスの全学生からの担当教員へ日頃の意見は、知識と理解に関する難しさがあるが、これまで見てきたように1乃至2人の学生がそのように回答している。いわゆる重要事項を暗記し正しい答を選択するという内容の授業ではなく、「自分の大切さに気付く自己理解」それと同様に「他者の大切さに気付く人間性」を軸に、聖書から「愛」「赦し」「弱さ」「逆説的自由」とは何かを、現代の状況に照らして問題を投げかけ共に考える授業を行った。今後も、復習しつつ前に進む授業と心がけ、学生とともに進む授業を工夫したい。② 学習量の評価を見ると、&lt;授業の記録&gt;&lt;1回30分以上の予復習&gt;の「1回」がいずれも約30名であり、「2、3回」は約20名であるが、「4、5回」は準備が8名、復習が5名、「6回」が4名と7名である。「0回」がいずれも約20名である。成績の大きな差は、この差と比例しているように見受けられる。進め方に関する授業の質評価を見ると、&lt;学習の範囲や課題は明らかであった&gt;という項目で、肯定的回答は「かなり」「わりに」「まあまあ」(以下同じ)の順に「18、25、33」であった。&lt;理解しやすい&gt;という項目では、「12、28、41」で、ただ否定的回答は「1、0」であった。&lt;学生の質問への答を得る機会&gt;では肯定的回答は「9、20、41」で、否定的回答は「10、2」であった。&lt;参加の機会&gt;では依然否定的回答が「20、3」と少なく、肯定的回答は「5、17、37」に留まった。④ 今後も知識・理解を得られるような改善に向け、1)記録しない学生への対応として、知識を整理できるようにプリントして配布すること、2)予復習の方法を具体的に指示すること、3)毎授業ですべての学生から回収しコメントして返却する「自己学習記録」(A4)から判断して、分かりにくい箇所はオープンにして理解の共有化を図る。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>① 授業準備として、学習動機向上に建学の精神「感恩奉仕」との関係と目的、評価基準を明確にすることは今後も必要である。評価基準の明確性につき6名が「少しそう思わない」と回答した。最終的に試験を受けた者が全員単位を取得できたが、より明確にしたい。② 総合人間科学の科目として、専門分野の諸領域を超え、その根本となる総合的視点と人間性を養う広い視野に立つアプローチを可能にする利点は、専門分野とは異なる学問する喜びをもたらし得る。しかしこの科目は実学であって、この科目で習得する知識理解を応用乃至適用する学問が、まさに学生が学ぼうとしている専門分野であり、その専門分野での「的確に判断する力」及び「その学びを深めたいと意欲をもつ」ことの基盤となるものである。つまり、この科目の知識理解を増すことは、専門分野での判断力及び意欲の基盤を広く強くするものである。&lt;授業の進め方とその向上について&gt;記載した改善策に取り組み実学としての成果を上げていくことが今後も必要である。③ 以上から、授業準備として、学習動機向上に建学の精神「感恩奉仕」との関係と目的、評価基準を明確にする。授業を進めるに当たっては、板書とプリント配布を活用し、予復習の方法を具体的に指示すること、学生から回収する「自己学習記録」から授業の理解の共有に役立つ指導を今後も工夫することが考えられる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
コミュニティ心理学	4	後期	選択	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考に記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必修科目である」16.7%、「資格に必要である」50.0%、「関心のある内容である」16.7%、「単位数を確保する」50.0%、「GPAをあげる」16.7%であった。選択科目であり、認定心理士資格取得希望者には必要な科目であるが、それ以外の学生はそれぞれの自主的な判断により選択、受講されている科目と考えられる。</p> <p>本科目は、臨床心理学の実践から生まれた応用領域の学問を学ぶものである。このコミュニティ心理学の基本概念や実践報告には、臨床心理学や社会福祉学と重なる点や異なる点が多くみられる。そこでこれまで福祉学科で培った各学問との関係、各対人援助領域での応用のあり方について、文献を読み解きながら、受講者全員による質疑、議論を重ねることで、本科目の知識を吸収していくことを促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な成績の平均値は93.8点であった。全ての受講者は理想的レベルの知識理解が進んだと考えられる。</p> <p>学生の自己評価においては特に「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均点が3.5点であった。</p> <p>また、授業の質の評価において、各項目の平均点は高く、「説明は理解しやすいものであった」3.7点、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」4.2点、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」3.8点であったことから、授業準備で意図していたことが学生によく伝わっていること、これまで3年半の間に得た知識や経験に基づき、学生が積極的に授業に参加したこと、それが新たな知識の習得にも繋がったと考えられる。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「選択科目」であるが、臨床心理学の応用領域ということから考えると、これまで3年半の間に獲得した心理学と社会福祉学の各領域の知識を生かし、さらに専門性を高め、実践に結び付けることを志向し議論することは、4年後期の時期に適切であると考えられる。到達度自己評価は3.0～3.5であり、大半の学生が自らの目標を達成し、成長を実感することができたと推察できる。</p> <p>授業の質評価は、平均点3.7～4.2点と概ね高く、学生の力に合った授業内容であり、授業展開ができたと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業外での学習については、学習準備を30分程度1回以上行った者が2名だった。また、復習を30分程度1回以上行った者が1名だった。また、授業以外の学習に取り組んだという学生は0名であった。自由記述には「忙しかったから」とあり、国家試験対策と並行して学ばなければならない4年後期開講の本科目に対し、授業外に学習する時間を割く余裕があまりない学生の状況が伺える。</p> <p>授業内での学習については、授業の質評価は平均点3.8～4.2点と概ね高く、学生の力に合った授業内容であり、授業展開ができたと考えられる。</p> <p>以上のことから、今後も授業内での学習の質を保證することで、学生に十分な学びの機会を提供することが不可欠であると考えられる。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目の目的とする基礎的知識の形成および関心意欲の向上について、概ね達成できた。 今後も、適切な知識の提供とともに、受講者全員による質疑、議論を重ねることで、知識の吸収を促していく。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
運動処方論	3	後期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>今回の受講動機をみると、「関心のある内容である」と答えた学生は33%、「単位を確保する」が83%であった。授業においては、1年次の「健康科学」の内容を振り返ることで、健康に関する正しい理解を促すと同時に、高齢者、妊婦、および子どもに適した運動(遊び)のプログラムの作成方法について具体的に説明を行った。</p> <p>毎回の授業において理解度チェックを行うと同時に、質問を受け付けることによって、学生の理解度を把握し、理解が不十分であったと思われる事柄については次の授業で説明を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された			達成された	
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は76.3(±10.6)点であった。成績分布別にみると、90点以上が23%、89～80点が8%、79～70点が38%、69～60点が31%であった。全員が標準的レベルに達しており、そのうち31%の学生が理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が8%、「わりにそうだと思う」が62%、「まあまあそう思う」が30%とすべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.8)。</p> <p>「知識・理解(DP1)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目2と3)についても、「かなりそうだと思う」が8%、「わりにそうだと思う」が62～69%、「まあまあそうだと思う」が23～31%と、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.8)。</p> <p>「技能・表現(DP5)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目7と8)についても、「かなりそうだと思う」が8%、「わりにそうだと思う」が62%、「まあまあそうだと思う」が30%と、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.8)。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>専門教育科目の「保健・医療関係科目」に含まれる科目である。授業では高齢者、妊婦、子どもそれぞれの特徴を理解させた上で、それぞれに適した運動(遊び)プログラムの作成方法について具体的に解説を行った。「知識・理解(DP1)」、「思考・判断(DP2)」および「全体を通して」に関する学生の到達度自己評価では、すべての学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP, CP, カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が3.7であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。</p> <p>学習量の評価についてみると、1回30分程度以上の予習を行った学生の割合は、6回が8%、4.5回が8%、2.3回が0%、1回が15%、0回が69%であった。</p> <p>1回30分程度以上の復習を行った学生の割合は、6回が0%、4.5回が15%、2.3回が0%、1回が23%、0回が62%であった。</p> <p>また授業課題以外の学習に取り組んでいなかった学生の割合は62%であったことから、学生の学習意欲をさらに高める工夫をする必要がある。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>目標は概ね達成できたと考える。</p> <p>今後の課題としては、定期的に予習・復習を行う学生、また授業課題以外の学習に取り組む学生を増やすために具体策を考えることである。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	坂巻 路可

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
栄養学	2	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、食物に含まれる栄養素の役割やその人体での機能について解説し福祉に従事する立場から健康・栄養の大切さへの理解を深めることを目的としている。本科目は、選択科目であるが、養教一種免許状の資格取得の必修科目であることから、受講動機においては、「資格取得に必要である」89.7%、次いで「必修科目である」34.5%が多く、「関心のある内容である」という回答は、1名であった。予復習時間の確保や自発的学習への取り組みについては、半数以上の学生において、不十分であったが、授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習で、「新聞等を読んだ」、「日常生活と結び付けて考えた」(自由記述)との回答も得られ、一部の学生ではあるが、自発的学習に積極的に取り組む姿勢が窺えた。次年度以降も継続し、自発的学習や予復習への取り組みを促進できるよう、講義の進め方やレジュメの改善を図りたい。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>総合的な成績の平均値は84.7(±8.2)点であった。再試対象者は、いなかった。本試験の成績については標準的レベルまたは理想的レベル(概ね80点以上)に達したものは75%であった。学生による授業評価においては、97%の回答者が新たな知識を得ることができており、また自分なりの目標を達成できたと回答している。また、「学びを深めたい」、「様々な課題を検討する力を得た」との回答が9割以上(97.0%)であったことから、教育目標は概ね達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性</p> <p>本科目は、選択科目(養護教諭一種免許状の必修科目)であり、福祉分野における栄養学の基礎的な知識の修得を目指している。学生による授業評価においては、ほぼ全員が新たな知識を得ることができており、また、専門分野において課題を検討する力、的確に判断する力、必要となる技術を身に付けることができたとの評価を得ている。成績評価においても、一定の成績を修めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>DP、行動目標からみでの内容的妥当性</p> <p>成績評価から知識、思考判断、態度等に関する達成度は比較的高く、本科目の内容的妥当性は問題はないと思われる。</p> <p>まとめ</p> <p>以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業評価においては、97%の回答者が自分なりの目標を達成し(平均点3.2)、 新たな知識を得ることができた(平均点3.6)、と回答している。学習量の 評価において授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習で、「新聞等を読 んだ」、「日常生活と結び付けて考えた」などの回答があり、授業への 積極的な姿勢が窺えた。一方、図書館等の利用が少なかったことが窺 えるため、情報収集の場、学習の場として積極的な図書館の利用を 勧めたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学習到達度の自己評価から、多くの学生が目標を達成し、栄養学分野 において新たな知識を得ており、また事象を理解する視点や考え方を 得ることができたと考える。次年度に向けこれらの評価を維持または 向上できるよう、学習教材の内容や授業の進め方を検討する。また、 予復習への取り組み状況が改善できるよう、授業内容の改善を図ると 共に、情報収集の場でもある図書館やインターネットの積極的な活用 を促したい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	末廣 幸恵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
英語Ⅳ	2	後期	必修	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>福祉学科の教科書「Read Smart」は多分野の記事を取り上げた構成になっており、ヒューマンサービスの専門家を養成する教材として適していると思われる。和訳の予習は不可欠な為、準備した予習用紙を学生に配布し予習を徹底化した。予習用紙には単語欄と和訳欄と評価欄を設け、各自で予習用紙を作成するように指導した。また予習時における達成感を認識させるために、達成マークを評価欄に記入するように指導した。ちなみに達成マークはABC段階で表記した。この予習に基づき、授業において、予習した範囲の和訳を学生に発表させ、全員で確認作業を行い、和訳の修正、加筆を行った。授業では難易度の高い英文の文法や語彙の解説を同時に行った。予習用紙は授業後に回収し、各学生の学習意欲および理解度を確認する作業を行った。しかし、和訳を複写する学生も一部見受けられ、全員各自予習の徹底化の課題が残った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は87点、再試対象者は5名であった。標準偏差値はSは46名、A15名、Bは4名、Cは3名、Dは5名であった。概ね高得点者が全体の約6割を占め、極端に点数の低い学生も若干名いた。必須科目であったため、学生も真剣に授業に取り組み、授業内で単語の小テストを行い、確認作業を行ったことが期末テストの結果として表れたと思われる。DPにおいては「自分なりの目標の達成」「知識の確認、修正、新たに得る」の項目では約半数の学生が評価している。しかし、専門分野に関する設問では中間値の評価を示す学生が多く、職業倫理や職業選択の項目では約3割の学生が低い評価を示した。これは2年生として、専門分野の学習量が多くなると、英語学習の重要性という意識が希薄になると同時に、英語に対する関心や興味に個人差が出てくる結果と思われる。しかし、福祉学科のCPに明記されているように「豊かな人間性と幅広い教養を身につける」理念として、語学学習は必要不可欠であると考えられる。そのためには、継続的な学習姿勢を身につけさせ、興味や関心を持てるような指導を行うことも必要であると感じた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性：福祉学科のCPに明記されているように「豊かな人間性と幅広い教養を身につける」理念として、語学学習は目的にかなった内容となっており、内容的に妥当性があると考えられる。②DP行動目標からみた内容的妥当性：DPの特徴としては学期末の試験結果と比較して、到達度自己評価が全体的に若干低い傾向にあると思われる。教科書の難易度、取り上げられた話題への関心度、予習の義務化、語学学習への関心の低さ等様々な要因が考えられる。また学生各人の英語力や興味にもばらつきがあると考えられる。またDPの「職業選択の参考」では高い評価を示す学生と低い評価を示す学生がおり、質問の趣旨を理解することに個人差がかなりあったと考えられる。福祉学科における英語学習の観点から、DPの「職業倫理」「職業選択」の項目には質問方法の工夫が必要かと思われる。しかし、全般的にクラスの雰囲気は良好で、真面目に英語学習に取り組んでいた。以上から内容的妥当性には問題がないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①授業の質評価：「テスト、レポート、提出物の評価基準」「学習の範囲や課題」「説明の理解」は約8割の学生が高い評価を示していた。これは予習の徹底を図り、予習用紙の提出を義務づけたことが評価につながったと考えられる。②学習量の評価：大多数の学生が予習に時間をかけていることがわかる。真面目に熱心に学習に取り組んでいる姿勢がうかがえる。③学習のための情報利用、図書館利用：シラバスを参考にした学生は少なく、また図書館の利用者もいなかった。多彩な内容を英語で学習するためには情報収集も大切な語学学習の一つであることを指導する必要があると感じた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>今回の学生評価全般およびCPから、福祉学科の学習は専門的な領域の習得のみならず、現実の事象から学べき事、また学ばねばならない事を英語学習とリンクさせて学生に指導することの必要性を強く感じた。更に英語学習としては学生数が多いために、英語力や興味にばらつきがあるが、これをまとめより満足度の高い授業を提供し進めるかが課題となると感じた。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
学校保健Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習、養護実習も履修要件を満たすための科目である。受講動機としては、「資格取得に必要である」88.5%、「必須科目である」34.6%、「関心のある科目である」7.7%であった。このことから、資格取得や必須科目であるが、関心意欲が低いことが分かる。これらのことから、授業では養護教諭の執務について、学校保健Ⅰで学んだことを基礎に、できるだけ具体例を示し、グループワークやロールプレイを取り入れ、関心意欲を高めるように心がけた。</p> <p>②オリエンテーションでは自分自身が児童生徒だった時の養護教諭のイメージと理想の養護教諭像のグループワークを行った。また、14回、15回では保健室経営の中で理想の保健室のレイアウトを考え、グループ発表を行い、養護教諭の執務がより具体的にイメージできるように工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な平均値は77.4(±7.6)であった。理想的レベル(80点以上)は11名であった。</p> <p>目標別の到達度は、知識理解に関しては70.0%、思考判断82.0%、関心意欲75.6%であった。基礎的な問題の正答率は高かったが、基礎的な知識を応用した論述問題の正答率が低かった。このことは、基礎的な知識の定着とそれを応用しての理解が不十分であったと考えられる。授業では基礎的な知識の定着を確認しつつ、グループワークなどを通して応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては知識理解において、事象を理解する視点や考えを得ることができた(平均値4.3、中央値4.0)、また、関心意欲においては、自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.2、中央値4.0)であった。一方で、自分なりの目標を達成することができたと思えた学生が少なかった(平均値3.7中央値4.0)。</p> <p>このことは基礎的な知識を活用していくことに課題があると考えられる。次年度に向けて、基礎的な知識を活用し応用問題に対応できるように授業構造を改善していきたい。</p>					
*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「保健・医療関係科目」であり、養護教諭一種免許状取得するための看護臨床実習、養護実習の履修要件科目である。受講動機としては「資格取得に必要である」88.5%、「必須科目である」34.6%、「関心のある科目である」7.7%であった。また、学生の授業評価においては知識・理解において、事象を理解する視点や考えを得ることができ(平均値4.3中央値4.0)、また関心・意欲が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.2、中央値4.0)と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て知識理解に関する達成度が比較的低かったが、基礎知識を活用し、応用問題に適切するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業が取り組んだこととして、授業内容をもとにテキストである学校保健実務必携を利用し復習に取り組んでいた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価においては、「演習多くて楽しかった。」「保健室のレイアウトなどをするために、模擬保健室がほしい」という意見があった。また、「採用試験の勉強を自分なりに頑張りたいと思う」という意見があった。授業では、講義でしっかりと基礎知識を身につけ、グループワークなどを取り入れ、学校現場で実践できるような力を身につけることができるように授業を改善していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、学校現場では臨機応変に対応することが求められる。基礎的な知識を定着させ、さらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。 授業内容について基礎的な知識の定着を図るとともに、復習課題を提示し、応用力の養成に取り組んでいきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
学校保健教育法	3	後期	選択	いいえ	33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては「資格取得に必要な」84.4%、「必須科目である」31.3%、「関心のある内容である」6.3%であった。資格取得や必須科目であるが、関心が低い科目であることがわかる。これらのことから、講義を通して基礎的な知識が定着できるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②授業では、学生が題材を決定し学んだことをもとに模擬授業の指導案を作成した。さらに教材を作成し10分間の保健指導を行い、自己評価、他者評価を行い授業の質が向上するように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は79.2点(±9.0)であった。理想的レベル(80点以上)は17名であった。目標別の達成度は知識理解に関しては、79.0%、思考判断78.8%、関心意欲80.0%、技能表現84.0%であった。知識理解では、基礎的な問題の正答率は高かったが、基礎的な知識を応用した論述問題の正答率が低かった。このことは、基礎的な知識の定着とそれを応用しての理解が不十分であったと考えられる。授業では基礎的な問題の定着を確認しつつ、復習問題を課題に出すなどの工夫を通して、応用力の定着するように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては、知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.3中央値4.0)、また関心・意欲が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.3、中央値4.0)、であった。一方で、自分なりの目標を達成することができたと思えた学生の割合が低かった(中央値3.9平均値4.0)。</p> <p>これは、学生が行った模擬授業において、さらに指導案を工夫し教材等の作成の方法などを具体的に示すなどの授業内容の工夫を行っていくことが必要である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「保健・医療関係科目」であり、養護教諭一種免許状取得するための看護臨床実習、養護実習の履修要件科目である。受講動機としては受講動機としては「資格取得に必要な」84.4%、「必須科目である」31.3%、「関心のある内容である」6.3%であった。また、学生の授業評価においては、思考・判断において自分が学ぼうとしている専門分野において課題を解決する力を得ることができた(平均値4.3中央値4.0)と答えている。また、技能・表現においては自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた(平均値4.3中央値4.0)と答えている。</p> <p>学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て知識理解に関する達成度が比較的低かったが、基礎知識を活用し、応用問題に適切するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業にが取り組んだこととして、授業内容をもとに復習に取り組んでいた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価においては、「模擬授業、良い経験ありがとうございました。」「とても分かりやすく、実践的なものでした。そして、すごくためになる授業でした。」という意見があった。また、「もっと早くからこんな授業を受けたかった。」「という意見があった。授業では、講義でしっかりと基礎知識を身につけ、グループワークなどを取り入れ、学校現場で授業を実践できるような力を身につけることができるように授業を改善していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、学校現場では保健教育の中心となり活躍することが求められる。基礎的な知識を定着させ、学んだ知識をさらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
看護学	2	後期	選択	いいえ	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は養護教諭一種免許状取得に必要な科目であり、看護臨床実習、養護実習の履修要件を満たすための科目である。受講動機としては「資格取得に必要である」89.3%、「必須科目である」32.1%、「関心のある内容である」17.9%であった。このことから、資格取得や必須科目であるが、関心が低い科目であることがわかる。これらのことから、講義を通して基礎的な知識が定着できるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。</p> <p>②授業では、看護理論の基礎を学び、実践に生かすことができるように疾患についてグループワークを行った。また、課題についてプレゼンテーションを行い発表した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な平均値は80.9点(±6.7)であった。理想的レベル(80点以上)は23名であった。目標別の達成度は知識理解に関しては、76.4%、思考判断79.3%、関心意欲87.0%、技能表現79.0%であった。知識理解では、基礎的な問題の正答率は高かったが、基礎的な知識を応用した論述問題の正答率が低かった。このことは、基礎的な知識の定着とそれを応用しての理解が不十分であったと考えられる。授業では基礎的な問題の定着を確認しつつ、復習問題を課題に出すなどの工夫を通して、応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては思考・判断において、自分が学ぼうとしている専門分野において課題を検討する力を得ることができた(平均値4.2、中央値4.0)、関心・意欲において、自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.0中央値4.0)であった。一方で、自分なりの目標を達成することができたか答えた学生の割合が低かった(中央値3.6平均値4.0)。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「保健・医療関係科目」であり、養護教諭一種免許状取得するための看護臨床実習、養護実習の履修要件科目である。受講動機としては、「資格取得に必要である」89.3%、「必須科目である」32.1%、「関心のある内容である」17.9%であった。このことから、資格取得や必須科目であるが、関心が低い科目であることがわかる。また、学生の授業評価においては、思考・判断において自分が学ぼうとしている専門分野においてさまざまな課題を検討する力を得ることができた(平均値4.2中央値4.0)と答えている。また、関心・意欲においては自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた(平均値4.0中央値4.0)と答えている。また、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て最終の平均値は高かった。さらに基礎知識を活用し、応用問題に適切するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業にが取り組んだこととして、授業内容をもとに教科書とレジュメを読み、復習に取り組んでいた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価においては、「演習が多く、楽しく学ぶことができた。」という意見があった。授業では、講義でしっかりと基礎知識を身につけ、グループワークなどを取り入れ、学校現場で実践できるような力を身につけることができるように授業を改善していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、学校現場では医学的な知識を持った専門職として臨機応変な対応が求められる。基礎的な知識を定着させ、学んだ知識をさらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎演習	1	通年	必修	いいえ	86

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「必修科目である」が100%であった。この科目は、6名の教員のオムニバス形式(7回1クールで行うので、実際に学生が受講する教員は4名)で行う科目であることから、各教員の専門性を重視しつつ、大学における学びで必要不可欠である「調べる」「聞く」「読む」「書く」「発表する」「討論する」ための技能を身につけることを目的として授業を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>成績評価について、理想的レベル(80点以上)に達した学生は74名、再試験対象者は0名であった。到達度自己評価をみると、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値がともに3.8、「自分なりの目標を達成した」「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」の平均値がともに3.7であり、平均値が3.3であった「職業選択の選考になった」を除き、その他の項目もほぼ3.5-3.6の範囲内にある。学習量については、授業の準備を1回も行わなかった学生が18名にとどまる一方、3～6回行った学生は26名、7～10回行った学生は10名、11回以上行った学生は19名であった。また、図書館の図書、雑誌を利用した学生は46名、インターネットを利用した学生は48名と、いずれも過半数に達している。ゆえに、半数以上の学生について、大学における基本的な学習の技能が会得できていると評価できよう。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「必修科目」、「福祉基礎科目」であるが、実際には、大学における学習の技能を身につけるための科目である。当然福祉の専門領域を学ぶための技能を身につけるための科目でもあり、内容的には妥当であると考えられる。②DP,行動目標から見ると、すべてのDPの基礎となる内容を網羅しているともいえる。よって、内容的妥当性には問題ないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;  「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価について、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均値が4.0、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が3.9であった。これらの数値について、2016年度よりいずれも上回っている。学習量について、授業の復習を全くしなかった学生が33名いる一方、授業の課題以外の学習に取り組んだ学生は10名にとどまった。授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習は「新聞を読みました」「レポートづくり」「インターネットで調べ、レジュメを作成した」などが挙げられていたが、これらはいずれも授業の課題と密接に関連する学習でもある。他方、授業の課題以外の学習に取り組まなかった理由については、「時間がなかったから」「することがなかった」「何をしたら良いか分からなかったから」「課題だけで精一杯」「授業で十分だった」などの意見がみられた。大学での学習の技能は、振り返り、繰り返しながら徐々に身につくものでもあり、学生が積極的な学習姿勢をとるための動機づけが今後の課題であると言えよう。学生の意見については「レポートの書き方の基礎を学ぶことができた」「普段の私なら絶対にしないであろうことばかり体験できました」との意見が寄せられた。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>2018年度からはこの「基礎演習」に代わって総合人間科学科目の全額共通科目として「初年次セミナーI」「初年次セミナーII」が開始される。「初年次セミナーI」では「調べる」「聞く」「読む」「書く」技能の習得に重点を置き、「初年次セミナーII」ではIに培った各技能を基に、「発表する」「討論する」技能の習得を目指す。これらの目標は基礎演習と同様であり、大学での学び方、研究倫理などの全学共通の内容のほか、福祉学科では6回1クールの演習を実施し、様々な学習内容に触れる楽しさを損ねることなく、基礎技能について、さらなる向上を目指すことを目的とする。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
基礎実習	1	通年	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は1年生を対象とした福祉基礎科目(選択)であり、学生が現場実習を通して体験的に学びを得るものである。学生の受講動機を見ると「関心のある内容がある」(85.7%)となっており、学生の準備性は比較的高いと言える。したがって、今後の学生の実習・学習等に向けた動機づけに深くかかわる科目と認識し、授業運営を行った。具体的には、実習前の学内講義では対人援助職の理解や実習への動機・関心が高まるよう個別指導を行った。また、実習後には個別面接や報告会を行い、実習体験から得た学びや課題を深めさせた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された			やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>授業評価アンケートにおける各DP項目から教育目標の達成状況を見ると、「意欲関心」(DP3)については「自分が学ぼうとしている専門分野について学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う33.3%、かなりそうだと思う46.7%)となっており、ある程度達成できたと考えます。「態度」(DP4)は「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う20.0%、かなりそうだと思う53.3%)で、これについてもある程度達成できたと考えます。「技能表現」(DP5)は、「コミュニケーション能力や表現力を高めることができた」(わりにそうだと思う40.0%、かなりそうだと思う46.7%)であり、ある程度達成できたと言える。また、学生との実習後の面談や実習報告会等のおいてもこれらの項目に関する学びが多数見られた。</p> <p>上記に加え、本講義におけるインターネットの利用状況(「利用した」60.0%)の結果から、学生の主体的学習態度が見られることから本科目におけるある程度教育目標は達成されたと考えます。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 意欲関心 (DP3)、態度 (DP4)、技能表現 (DP5) のすべてにおいて教育目標をある程度達成しており、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 既述の通り、本科目は福祉基礎科目として学生の実習や学習動機を高めることを目標の1つとしている。学生の到達度自己評価や図書館利用(インターネット検索)、実習報告会・レポート等の学びからもCP及びカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>既述の通り、学生の到達度自己評価からは、本科目における教育目標はある程度達成されたと言える。授業運営においては2016年度以降、実習期間中に帰校日(1日)を設け、実習中間の振り返りや面談を実施している。2018年度も引き続きこうした取組を実施したい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目を履修する学生の学習意欲・関心は総じて高いと言えるものの、1年生86名のうち履修者数は14人とどまっている。本科目の教育効果は非常に高く、今後、履修人数をさらに増やす働きかけが必要と考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育課程論	2	後期	選択	はい	31

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教育課程論は前期に教職概論を受講した学生が教職への道を一步踏み込む科目になる。教員として知っておくべき諸課題についての基礎理論および新しい動向などについて教師のまなざしで見ることが出来る資質の習得を心がけた。</p> <p>②既に教職への関心を深めている学生なので、具体的な資料に基づいて思考を磨くことを試みた。</p> <p>③新学習指導要領の内容に踏み込んだ講義を試みた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績の平均値は78.74であり、全体の平均値79.86を1.12ポイント下回る。学生の自己評価も3.1～3.3と高くはない。だいたい3分の2程度(20名前後)が「まあまあ思う」としており、1～3名が「層でない」という低い評価をしている。しかし、知識を得たということ及び視点や考え方をえたという点についてはやや高い数値を示しており、知識理解というところはまずまずの成果を得たと言える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職科目であるため、受講動機も圧倒的に資格取得・必修というものが多い。カリキュラム上の位置づけに問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価も3.0～3.2と高くはなかった。講義の内容が多くて積み残したりした要素が課題である。シラバスの見直しも必要かもしれない。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>学生の自主的な学修がまだまだできていない。教職課程は将来の職業選択にかかわるものであるから、主体的な学修活動を支援する工夫が必要だ。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	新谷 恭明

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育原理	1	後期	選択	はい	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①教職をとる学生が初めて学ぶ科目であるため、教育に対する関心及び基礎的な思考力を育てることを目標とした</p> <p>②受講動機は基本的に教職課程の必修科目であるため、基本的に学生は真面目に受講していたが、講義は全学科共通のため120人という規模なので一部からは私語が気になるという声も聞かれた。その学生には私語についての説明を行うとともに、将来的に教職に就く人間を育てるのであるから自主的に私語を控える姿勢を身につけさせることを意図し、私語についても教材化して議論させた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>試験成績の平均は79.11であり、全体の平均点79.23と0.12ポイントしかがわかない。理想的と言える80点以上の学生は36名中18名(50.0%)おり、おおむね悪い成績ではなかったと言える。記述式の試験をおこなったので、この数値は期待した知識理解に関してなんとか目標の水準に達しており、目標はやや達成されたと言える。</p> <p>学生の自己評価でも、各項目に於いて半数以上の学生が「まあまあそうだと思う」というところに記入しており、その平均値は3.4～3.6であって、学生の達成感はあまり高くない。全体に「やや達成された」という評価が妥当であると言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>教職科目であるため、受講動機も圧倒的に資格取得・必修というものが多い。カリキュラム上の位置づけに問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業評価については3.4～3.6の評価ではあった。昨年更0.2ポイントほど下がっているのは1年生には消化しきれないようであったのかもしれない。説明が理解しにくいとの回答が3名ほどいたが、1年生にはかなりハードルの高い質の内容なので、もう少し配慮が必要なのかもと思う。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>知識の修得についてはやや達成されたと言えることができるが、それは満足できる数字ではない。また、対話的な学びの要素を含む授業改革に努めたいが、それには受講生が全体でも多すぎる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育原理	2	後期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○学生にとってわかりにくい授業のひとつであり、授業において教育を本質・文化・制度など多面的に理解するためのフックを工夫した。</p> <p>○保育士という専門職にとっての教育の意味をイメージできるようつとめた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>○知識理解については基礎的なことを修得できたものとそうでないものの差がみられた。</p> <p>○意欲関心についてはある程度の成長がみられた。</p> <p>○「人間社会にとっての教育の意味」「日本や諸外国における教育の歴史的展開」など教育哲学や教育史的な切り口についての反応が鈍かった。</p> <p>○「いじめ」「不登校」など身近な教育課題に対する反応はよく、学生の準備状況によって達成状況が大きく異なった。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>ODP, CP, カリキュラムマップ上では保育士に必要なものとして位置づけられており、内容妥当性について問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○授業の進め方をテキスト通りに行くと教育哲学的な切り口が最初にくることが多い。学生の興味関心を刺激するという意味では、現代的状況と結びつけた教材研究が必要となる。</p> <p>○今回は不登校やいじめの定義の変更やゆらぎに焦点をあて、学生のイメージと現状が必ずしも一致しないことを手がかりとして一定の成果が上がった。今後も学生の知識や経験との差異を意識させるようなアプローチを工夫したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>○例年学生の意欲があまりたかい科目ではないため、いかに興味をもってもらうかに注力してきた。今後も実物教材や視聴覚教材など比較的反応のよい教材開発を行いたい。</p> <p>○一方で教育という文化現象そのものについて考える機会となるために、歴史や制度の比較を通じて現代日本の教育の意味、課題などに焦点を当てたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教育社会学	2	後期	選択	はい	35

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○教職課程の科目であり、学生の参加意欲はある程度みられるが、教職教養科目であるため教師の専門性との結びつきは明確でないことが多い。</p> <p>○教育の現代的課題などと結びつけながら理解させることで、科目の意味を理解できるよう意識した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>○秀5.7%、優17.1%、良40%、可37.1%、不可0%であった。</p> <p>○不可がならず、合格者もある程度の成績を修めているが、英語学科と比べると秀が少ない。</p> <p>○きちんと学習に取り組めば得点できる問題の正答率は高く、学習態度など基本的な部分は満足できる。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容の妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>○教職課程の科目であり、DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置付けからみた内容妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン ターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○次年度以降は教職コアカリキュラムに対応した授業への変更が予定されている。 ○上記との関係から、総花的な知識の習得の割合が増加することが予想されるため、それらの知識を教職イメージとどのように結びつけるかという、授業以外での 教職課程履修指導との連動が求められるだろう。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>○今年度の福祉学科は成果を上げた者の割合が比較的高かった。次年度以降も秀優の割合を増やし、できるだけ二極化しないよう全体的な底上げを図りたい。特 に学級経営など生徒との直接的かかわりが強い免許であることを意識させ、自分の問題として受講できるようつとめたい。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
教職実践演習(養護教諭)	4	後期	選択	はい	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①本科目は教職課程における、養護教諭になるための学習として位置づけられ、さらに教職実践の進化を図るための科目として位置づけられている。受講動機としては「資格取得に必要である」78.6%、「必須科目である」39.3%、「関心のある内容である」10.7%であった。このことから、資格取得や必須科目であるが、関心が低い科目であることがわかる。本科目では、養護実習を通して学んだことを通して、自分が目指す養護教諭像や学校現場での実践についてより具体的にイメージできるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお願いします。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な平均値は86.0点(±7.4)であった。理想的レベル(90点以上)は12名であった。目標別の達成度は知識理解に関しては、85.0%、思考判断76.0%、関心意欲83.0%、技能表現86.5%であった。授業では、養護実習の実践を通して個人で振り返り、個人の課題を把握しグループワークを通して課題に取り組み、学校現場での実践に生かすことができるように授業内容を工夫した。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.3中央値4.0)、また関心・意欲が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.3、中央値5.0)、であった。また、コミュニケーション力や表現力を高めることができた(平均値4.4中央値5.0)、職業選択の参考になった(平均値4.4中央値5.0)と答えていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「教職課程科目」であり、養護教諭になるための学習、教職実践の深化を図る科目として位置づけられている。受講動機としては受講動機としては「資格取得に必要である」78.6%、「必須科目である」39.3%、「関心のある内容である」10.7%であった。また、学生の授業評価においては、思考・判断において知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均値4.3中央値4.0)、関心・意欲においては自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた(平均値4.3中央値5.0)、コミュニケーションや表現力を高めることができた(平均値4.4中央値5.0)と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容的妥当性 教職課程の深化を図るための科目として位置づけられ、授業において養護実習の経験を通して、学校現場で実践できる力を養成するために、講義と演習のバランスを考慮した。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業にが取り組んだこととして、「教員採用試験の振り返りもかねて学習に取り組んだ」、「勉強を頑張ろうと思う」などがあつた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の担当教員への意見においては教員採用試験の振り返りの授業として取り組んだ意見があった。また、学習量の評価として、図書館等を利用し課題を積極的に取り組んでいた。さらに授業では、学校現場で臨機応変に活躍できるような実践できるような力を身につけることができるようにグループワークなどを積極的に取り入れ、授業を改善していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、教職実践の深化を図る科目である。学校現場では、医学的知識を身につけた専門職としての活躍が期待されている。学んだ知識をさらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
健康科学実習Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、からだを動かすことが中心のスポーツ実技の授業であり、学生が積極的に自律心をもって楽しく行えるように、指示は必要最小限にした。また、カロリーカウンターを用いることによって、授業中の歩数や消費カロリーを把握させ、からだを動かすことへの動機づけを図った。</p> <p>ラケットスポーツ(バドミントン、卓球、テニス)では、練習によって各種スポーツにおける技能を高めさせると同時に、ルールを理解させることによって、学生自身が積極的に試合ができるようにした。また、ダブルスのゲームでは毎回ペアを入れ替えるなど、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとることができるよう工夫した。試合後には反省点や次回に向けての改善点(課題)などを実習記録にまとめさせることによって、各種スポーツ技能のさらなる向上を意識させた。</p> <p>ウォーキングやジョギングについては、自分に合ったペース、友達と会話ができるペースで行わせることによって、無理なく運動が続けられるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された			達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は80.8(±8.1)点であった。成績分布別にみると、90点以上が10%、89～80点が60%、79～70点が17%、69～60点が13%であった。すべての学生が標準的レベルに達しており、70%の学生は理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が21%、「わりにそうだと思う」が48%、「まあまあそうだと思う」が31%、「無回答」が1%であり、すべて学生が肯定的に捉えていた(平均値3.9)。</p> <p>「知識・理解(DP1)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目2と3)についても、「かなりそうだと思う」が3～13%、「わりにそうだと思う」が28～39%、「まあまあだと思う」が46～61%、「少しそうでないと思う」が2～7%、「全くそうでないと思う」が0～2%であり、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた(平均値3.2～3.6)。</p> <p>「態度(DP4)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目9)についても、「かなりそうだと思う」が10%、「わりにそうだと思う」が36%、「まあまあだと思う」が49%、「少しそうでないと思う」が5%、「全くそうでないと思う」が0%であり、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた(平均値3.5)。</p> <p>「技能・表現(DP5)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目7と8)についても、「かなりそうだと思う」が10～16%、「わりにそうだと思う」が16～39%、「まあまあだと思う」が44～59%、「少しそうでないと思う」が0～3%、「全くそうでないと思う」が0%であり、ほとんどの学生が肯定的に捉えていた(平均値3.4～3.7)。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>総合人間科学の「心身と健康」領域に含まれる科目である。ラケットスポーツ(バドミントン、卓球、テニス)の技術練習およびゲームを行った。「全体を通した」学生の到達度自己評価では、ほとんどの学生が肯定的な回答を行っていた。また、「知識・理解(DP1)」、「態度(DP4)」、および「技能・表現(DP5)」に関する学生の到達度自己評価でも、ほとんどの学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP, CP, カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;</p> <p>「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が3.5～3.8であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。</p> <p>本科目では、ラケットスポーツおよびウォーキング・ジョギングを実技として行うため、講義の時のような予習・復習を必ずしも必要としていない。そのことを反映してか、ほとんどの学生は予習・復習を行っておらず、その必要性もないと考えている学生も数人いた。このことに対しては、ラケットスポーツのルールや練習方法などを調べさせ、レポートとして提出させるなどしたいと考えている。</p> <p>また、日常生活を活動的に過ごすことが、健康や体力の維持・増進につながることを考えれば、学生自身に日々の歩数や消費カロリーを記録させ、それを提出させることは、運動することへの動機づけになると考える。すでに学生の中には授業以外でランニングやストレッチなど、体力づくりを行っていた者もいた。来年度は、このような活動的な学生が更に増えるように工夫したいと考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>概ね目標は達成できたと考える。</p> <p>今後の課題としては、本実習以外でも積極的にからだを動かす学生の数を増やすことである。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
権利擁護論	3	後期	選択	いいえ	76

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機を見ると、「資格取得に必要である」76.2%であった。社会福祉士・精神保健福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、相談援助に必要な成年後見制度とその知識の前提となる民法・行政法の内容を中心に、なるべく理解しやすく伝えるよう努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成されなかった		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>後期試験の平均点は67.99点であった。再試対象者は21名、理想的レベル(80点以上)に達した者も同じく21名であったことから、理解できた学生とそうでなかった学生とで成績が二極分化している。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が3.9、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値は3.6(中央値4.0)、そのほかは3.2-3.6の範囲内にほぼ収まっている。ただ、学生の欠席率は14.04%であり、平均すると10名の学生が毎回欠席していることになる。とくに1月20日の講義(補講)の欠席率は63%にのぼった。学生の意欲関心に関する自己評価と実際の講義の出席との間に乖離がみられ、成績の二極分化の原因の一つであると考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは高い。試験の平均点が60点台とやや低いが、これについては、学生の授業以外における学習量の問題であると考え。国家試験受験のために必要な最低限度の内容となっているため、内容的には妥当であると考え。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績の分布に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」の平均値はともに3.8、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値は3.7であり、昨年度より高い評価を得ている。また、授業以外の学習をしていない学生が約7割に上っているが、授業の課題以外に学習していない理由として「テスト前にしようと思った」、「ほかの課題で忙しかった」との意見が見られた。成年後見制度を中心とする権利擁護に関する制度およびこれらの前提となる民法等の法律は非常に複雑であり、授業以外で学生が学習する量を、教員に過重な負担を掛けない程度でいかに増やすかが課題となろう。また、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均は3.4であった。学生の意見について、「DVDで学びが深まりよかったです。また先生の補足がわかりやすく、私は見れてよかったです」という意見があった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、思考判断、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えている。授業以外の学習を増やすこと、および意欲関心を高めることについての課題が若干あるものの、その他の改善すべき点は特にないと考えている。</p>
------------------------------	---

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
高齢者支援学 I	2	前期	選択	はい	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、本学、九州歯科大学、西日本工業の3大学(5学科)による合同授業である。学生の受講動機には「関心のある内容である」(83.3%)が見られ、本科目への期待や学習意欲の高さが伺える。授業内容はアクティブ高齢者の支援について講義(4コマ)とPBL(事例検討4コマ)を行うものである。講義では介護保険制度について教授したが、福祉学科以外の学生が内容を理解しやすいよう解説や提示資料を工夫した。また、3大学の学生が多職種連携の視点から議論を深められるよう事例作成を工夫した。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う16.7%、かなりそうだと思う83.3%)であり、達成したと言える。思考判断 (DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う50.0%)であり、達成できたと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う50.0%)であり、達成できたと言える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う66.7%、かなりそうだと思う33.3%)であり、達成できたと言える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要とする技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う33.3%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う100.0%)となり、ある程度達成できたと考え、以上、授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価を見ても、本科目の教育目標は達成できたと考え。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP上の位置づけ 授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価の結果からも、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。 ②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は3大学(5学科)の学生が各分野の専門性に基づき協働でPBLに取り組むものであり、本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業評価アンケートにおける「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」の回答は「していない」(100%)であった。一方で、「この授業ではインターネットのホームページを検索し、利用した」の回答は「利用した」(83.3%)であった。本科目はPBL形式であり、特に学生の主体的学習態度が求められる。今後はPBLで活用できるネット情報を具体的に提示することで、学生の学習意欲をさらに高めることができると考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の教育目標は達成されたと考えるが、学生の主体的学習態度の涵養という点では課題があると言える。本科目は大学の枠を超えて複数の教員が担当しており、教員間の連携が特に重要になる。今後も授業内容や展開方法等について教員間で十分に共有し、より教育効果の高い授業を目指したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
高齢者福祉論	2	通年	必修	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次を対象とした福祉専門科目(必修)である。また社会福祉士指定科目の1つでもある。授業は教科書を中心に展開し、単元ごとにレジュメを作成するなど学生の理解を助けた。特に法制度改正など国家試験で出題が予想される部分については入念に解説を行うとともに、コメントカードを通じて学生の理解度の把握に努めた。また、新聞記事等を活用し、高齢者福祉に関する最新情報の提供を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な試験結果の平均は77.2点であり、本科目の教育目標はある程度達成されたと考える。授業評価アンケートでの学生の到達度自己評価においても「自分なりの目標を達成した」(まあまあと思う49.1%、わりにと思う35.8%、かなりと思う13.2%)、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(まあまあと思う39.6%、わりにと思う50.9%、かなりと思う20.8%)などが示された。</p> <p>一方で授業評価アンケートからは、本科目を通して知識の修得はできたものの、学生の主体的学習態度を引き出すと言う点では課題があることが明らかとなった。例えば、学生が授業の課題以外に学習に取り組んだ割合は「していない」(84.9%)であった。また、授業参加のための準備学習をしていない学生が58.5%、授業の復習をしていない学生が60.4%見られた。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 試験結果(平均77.2点)や学生の達成度自己評価結果からも教育目標は概ね達成しており、DP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は福祉専門科目(必修)であり、社会福祉士指定科目でもある。3年次の相談援助実習の領域の1つに高齢者福祉領域があることから、本科目の配当年次に問題はないと考える。また教育目標も概ね達成しており、CP・カリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>既述したように、本科目の教育目標はある程度達成したと判断できる。一方で、授業評価アンケートからは学生の自発的学習を十分に引き出すことができなかったことが示された。また予習・復習についても十分に取組んでいない現状が明らかとなった(上記の他に、授業での図書館利用率1.8%、インターネットの利用率5.6%)。この点では昨年度同様に毎回の授業ごとに予習・復習のポイントを的確に提示し、学生の学習量を担保していく必要があると考える。また課題を課すことも検討する必要があると考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目の教育目標はある程度達成したと判断できる。しかし、再試験対象者が6名存在していることや(このうち再試験不合格者は2名)、最終成績の差が大きいこと(最高点91点、最低点30点)から、学生の理解度に差があることが推察される。この点、毎回提出させるコメントカードの内容を踏まえた復習や小テストの定期的実施も必要と思われる。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	西崎 緑

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
国際社会福祉論	4	後期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>4年後期の選択授業であるため、4年前期までの学習が終わっている学生が、世界の福祉を知ること、国際協力を知りたいという動機を持って授業を選択していたため、それに沿って授業を組み立てるようにした。特にグローバル化が進む現代において、人々の生活がどのように影響を受けているかを意識できるように努めた。具体的には、1)福祉先進国における社会的コストの負担と社会の安定の関係や、日本社会、政治、人々の意識との比較検討を行えるようにした。2)アジアやアフリカにおける経済発展と格差の拡大、さらに貧困問題について学生の視野を広げ、考察を深めるようにした。3)難民問題や国連の救援活動、平和維持活動への理解を深めるようにした。4)滞在外国人の生活困難や、それに対する支援を理解できるようにした。これらをその都度、ミニペーパーに書かせ、学生の理解や感想を確認して評価に活かした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>集中講義ではあったが、1コマごとにミニペーパーを課して学生に記述させた。それを通して、これまで関心がなかった発展途上国の問題や、医療保障の問題にまで関心が高まったことがわかった。また、滞在外国人の苦労については、日本人として無関心ではいられないことや、就職後のケアに活用したいという意見も見られた。以上のことから学生の目標は達成できたと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>4年次の選択ということ、社会福祉士国家試験受験資格取得のための科目より、高度な社会的問題を取り扱う科目として位置づけられていた。そのため学生たちの受講への関心はもともと高く、世界の人々の考えや生活の現実に向けられる機会となった。就職後の滞在外国人支援や国際協力の視点をはぐくむことができたので、DP, CP, カリキュラムマップでの位置づけにおいて妥当であったと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>集中講義であったため、動画を使って、学生たちの関心を喚起する努力を行った。また、ミニペーパーを課したので、1テーマごとに授業の振り返りができたと考える。ペーパーの例「私は、日本から出たことがなく、権利や人権は当たり前にある暮らしをしてきたので、アフリカの現状を知っておどろきました。勉強する事が権利を主張することにつながるのであれば、一人ひとりの教養を身につけることで国民の権利を守ることが必要であると感じました。」「難民は世界全体の問題であり、様々な国が協力していかなければいけないことは大事であるが、難民が発生する元凶をどうするのか、行動しない限り難民は故郷へ帰ることはできない。生まれ育った故郷を離れて何も知らない異国の地で生活することは私たちの創造をはるかにこえて大変なことだと思う。難民が発生してしまう元凶を世界の問題としてとらえていくことも重要なのだと感じた。」授業の目的は達成したと考えるが、今後、さらなる改善をすれば、世界の政治課題や平和構築について考察を深められるように、ルポルタージュを読んでディスカッションするなどの工夫を行いたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>国際社会福祉論の課題として、世界の福祉の水準を知ることや、その仕組みがどのようにしてできているのか、については学習が進んだと考える。また、発展途上国の問題について、歴史的考察や紛争との関連性についても理解できたと考える。しかし、具体的政治状況や日本政府の協力のあり方について、もう少し加えてもよいのではないかも考えた。</p>
------------------------------	--

学科	福祉学科
氏名	川原 富紀枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの食と栄養	3	通年	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①この科目は選択科目であるにもかかわらず、受講動機を見ると「必須科目である」との回答が84.6%、また「資格取得に必要である」との回答が53.8%とこの数値にかなりの差がある。選択したという意識もなく、必修でもなく、資格取得を目指すわけでもないと言えるのだろうか。持っていれば一般企業でも有利な条件として仕事につくことができるからと授業前アンケートで答えていた事に繋がることなのかも知れない。さらには「関心のある内容である」との回答が7.7%と、この授業に関する関心度の低さが課題のひとつとしてあげられる。通年なので間延びしないよう授業内容を考えていきたい。 ②シラバスの活用においても「参考にした」との回答は23%と低く、予習0回が46%1～2回が23%3～6回が31%また復習に至っては0回が61%と半数を超え1～2回が23%3～6回が20%と前年度よりも上がったもののやはり低い結果であった。③今年度は学習状況の把握のために、調理自習やレポート課題に関するノート作りに取り組んだが「主に配布資料に記録した」とする項目に92%回答し自分なりのノート作成には0回答であったことに意識の無さを感じている。それぞれに実習の内容が異なり楽しませて貰ったのだが、資料プラスでもあったのでそうした結果になったのであれば、ちがった角度からの取り組みを考えてみようと思う。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された				やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は79点で再試験対象は0であった。理想的レベル(概ね80点)に達したのは37.5%ではあったが、70点以上の点数に達したのは全体の75%である。また、目的別にみると知識理解に関する平均値は82.8点であり、技能的平均値は75点であった。到達度の自己評価を見るとほとんどの項目が平均値、または平均値を上回っており問題はないのだが、(9)職業倫理や行動規範(守るべきルール)について学ぶことができた。この回答が0.3中央値を下回っていた。演習授業の中グループでの調理実習であったり、グループ別のプレゼンテーションで、欠席者の事や意見を語らずにいる学生の中で、その授業における採点方法はどうなるのかなどと質問が上がったことがあった。前期と後期でグループを替えてみたりするなかで話し合い、進めていった。しかし、みんなで作って食べるという実習の中で少しずつ打ち解けていったように思われる。一年間の授業の結果やリフレクションカードにも様々な結果が出てくるのだと思うと、今後もしっかりと次年度のに向けて授業内容を見直して改善されなければならないと思った。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP, カリキュラムにおける本科目の位置づけからみでの内容的妥当性 科目は「必須科目である」84.6%「資格取得に必要である」47.6%といったことから学生が必須科目であるとしている。また、保育士という資格取得のための必要性として学生も受講していることから、位置づけ、動機づけ一つとしている。こうした課題に応えるためにも受講内容を工夫し、学生も一定の成績を収めていることから内容的妥当性はあると思われる。 ②DP、行動目標から見ての内容 成績評価について、知識理解については目標を達成できたが、技能的表現に関する達成度が少し下回り、全体を通して理想的レベルも少し下回る結果となった。しかし、学生自身が自分なりの目標は達成したと、知識を確認、修正したり、新たに得ることができたとしている中であって、その部分に関しては学生に伝わりにくかった可能性を示しており、方法的妥当性の問題であると言える。理想的レベルまではあと一歩といったところであることから内容的妥当性はあると思われる。 ③まとめ ら、内容的妥当性には問題はないと思われる。
--	--

以上のことが

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価の項目では「説明は理解しやすいものであった」とする項目は中央値をわずかに0.1下回ったものの、他の4項目は中央値を上回っていた。しかし、シラバスの記載を利用したについては25%、しかし活用したのは7.8%と低く、授業の計画を立てたも同じく7.8%、図書館の利用は25%、インターネットのホームページを検索し利用したのは46%だという結果であった。予習や復習に関しても、シラバスに表記しているにも関わらず、説明したにも関わらず低い。しなかった(0回)が予復習の半分を占め、1, 2, 3回が合わせて半数という結果であった。自分自身で授業計画を立てたとする学生はたった一人であった。予復習やたの自発的学習まで進めていけるように、事前に課題を提示し検討を加えて授業に参加するように促していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>基礎的な知識の形成は教科書で概ねできたとしても、標準的なレベルに達していない。まずは授業の最初に学習準備状況の確認をし、アンケートを実施する。また、前期には学生への予復習への意識を高めるような学習準備状況の確認をしていきたいと思います。また、シラバスに沿ってテキストはテキストとして利用しながらも、各回のテーマと具体的な事例や情報についても表示し、図書館からの利用できる学術データベースを検索利用できる旨伝えたり、ネット等の利用などもその都度促していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	田中 沙織

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
子どもの保健 I	2	通年	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートから、資格取得に必要な科目のため受講している学生達であり、その中で1名だけは科目内容に関心があるという結果であった。そのため、専門職として「必要な知識・技術」を獲得できるよう、具体的な事例の提示、教科書の内容の実演を行い、机上の知識とならないよう配慮した。非常勤という立場から、受講学生の普段の様子は開講まで正確に把握することはできないが、興味関心の有無、学習準備状況と合わせて毎時間の授業目標の到達確認を行うことを心がけた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された			やや達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の「達成度自己評価」から9割以上が目標を達成できていると捉えており、成績評価においても概ね良好な結果であった。特に、受講態度についても積極的であり、意欲的に参加していたことが伺える。「図書館利用」の結果からは、幅広いソースから学習の準備をしていたとは言いがたい結果であったが、「学習量の評価」からは、予習・復習をしている姿も確認できる。毎授業ごとの小テストを行うことで、前回の授業の重点ポイントを整理したり、学生のこれまでの生活の経験から授業内容が理解しやすくなるように事例を用いての理論の解説を試みたが、全体として目標達成できたと思う。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は資格取得に必要な科目であり、具体的な「知識・技術」の取得を目指す科目である。そのため、DPの知識理解、技能表現に合致するものであり、CP、カリキュラムマップ上の位置づけにおいても妥当であると思う。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方については、今後の課題として学生と教員間でさらなる評価の共有を行うことで目的の共有が達成されると考える。一部成績下位の学生については、授業開始時に実施する小テストが全く回答できていなかったり、回答する意思がないこともあり、「学習量の評価」の復習時間の短さの通り、学習習慣が身につけていない学生が一部存在すると考える。これらの学生に対しては、教科書の内容解説や専門職としての事例提示ではなく、大学生である現在の状況に即した事例提示や学習意欲を高める授業導入が必要であると考え、一方で、科目教授内容の過密さから困難な側面もある。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>資格取得に係る専門科目で知識理解、技能表現を身につけることを目標にしている本科目で、学生が目標達成に向け取り組んだ結果が自己評価・成績評価からも確認できることから、概ね目標は達成できたと考える。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
事前及び事後の指導	3~4	三期	選択	いいえ	28

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は教職課程における、養護教諭になるための学習として位置づけられている。また、受講動機としては「資格取得に必要である」88.0%、「必須科目である」32.0%、「関心のある内容である」8.0%であった。資格取得や必須科目であるが、関心が低い科目であることがわかる。</p> <p>これらのことから、養護実習に向けての準備や実習後のカンファレンスを通して、自分が目指す養護教諭像や学校現場での実践についてより具体的にイメージできるように、講義と演習のバランスを考え授業計画を立て、関心を高めるように心がけた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な平均値は84.0点(±7.8)であった。理想的レベル(80点以上)は19名であった。</p> <p>目標別の達成度は知識理解に関しては、75.0%、思考判断80.0%、関心意欲83.0%、技能表現96.0%であった。授業では基礎的な問題の定着を確認しつつ、復習問題を課題に出すなどの工夫を通して、応用力の定着を図るように授業構造を改善していきたい。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.6中央値5.0)、また関心・意欲が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.5、中央値5.0)、であった。また、職業選択の参考になった(平均値4.4中央値5.0)と答えていた。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,CPカリキュラム上の位置づけから見ての内容の妥当性 本科目は「教職課程科目」であり、養護教諭になるための学習として位置づけられている。 受講動機としては受講動機としては「資格取得に必要である」84.4%、「必須科目である」31.3%、「関心のある内容である」6.3%であった。 また、学生の授業評価においては、思考・判断において知識を確認、修正したり、新たに得ることができた(平均値4.6中央値5.0)と答えている。また、関心・意欲においては自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた(平均値4.5中央値5.0)、職業選択の参考になった(平均値4.4中央値5.0)と答えている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p> <p>②DP,行動面から見ての内容の妥当性 成績評価から見て知識理解に関する達成度が比較的低かったが、基礎知識を活用し、応用問題に適応するように授業構造を検討していくことから、内容的には妥当であったと考える。また学生の授業にが取り組んだこととして、「教員採用試験に向けての学習に生かした」、「授業以外のこともたくさん調べた」、「図書館で本を見て学習した」などがあつた。</p> <p>③まとめ 以上のことから、内容妥当性には問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の担当教員への意見においては、「将来とても役に立つと思います。とても良い授業だと思いました。」「教員採用試験の内容に役立つことを、学ぶことができました。」「発表や実技が多くて、とても勉強になりました。」「学生のために思った授業でした。」という意見があった。授業では、講義でしっかりと基礎知識を身につけ、グループワークなどを取り入れ、学校現場で臨機応変に活躍できるような実践的な力を身につけることができるように授業を改善していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>本科目は、養護教諭一種免許状を取得するために必要な科目である。基礎的な知識は概ね達成できたが、学校現場では、医学的知識を身につけた専門職としての活躍が期待されている。学んだ知識をさらに活用できるような実践力が身につくように授業構造を改善していきたい。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉谷 修一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会学概論	1	後期	選択	いいえ	87

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>○高校時代までに経験したことのない授業であり、いったい何を学ぶのかという戸惑いが大きい科目である。それを興味関心に結びつけることができるよう、様々な事例を準備した。</p> <p>○社会福祉士国家試験に対応した授業であるが、受講学年が1年生であるため、学習意欲との直接的な結びつきはないと考えられる。</p> <p>○抽象的概念が多く出てくるため、それを具体的に考えるトレーニングを行う旨を初回授業で説明し、学生が意識的な授業参加をできるよう促した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>○秀10%、優17.7%、良16.5%、可49.4%、不可6.3%であった。</p> <p>○不可は多くなかったが、合格者中に占める可の割合が多く、学習内容の修得という意味ではもう少しであった。</p> <p>○不可のものは出席状態に問題が多い者が多く、授業以前に課題があった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>○社会福祉士国家試験の受験科目と対応しており、DP、CP、カリキュラムマップにおける位置付けからみた内容的妥当性に問題はないと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>○抽象的概念を以下に理解するかというのが例年の課題であるが、本年度は社会事象の事例だけでなく、機械的モデルなども併用した。社会システムにおけるフィードバックを理解するためにこたつのサーモスタットを取り上げたが、これを面白いと感じた学生も多かった。 ○テキストの説明を学生が自己学習で読んでもそれだけで理解することが難しい。そのためレジュメを毎回準備したが、教科書との対応がわかりにくいという意見が出ていたため、該当ページを示す、適宜教科書とレジュメを行き来するなどの工夫を行った。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>○およそ28%の学生がこちらが期待したレベルでの学習成果をみせていたが、この層を全体の3割程度まで増やしたい。 ○可の学生が半分いることから、理解の度合いが二極化していることが予想される。理解が不十分な学生が授業中の説明自体がわからないのか、定着に問題があるのかを検討する必要がある。一年次の社会学の授業内容を四年次の採用試験準備中の学生に改めて説明したときに、「初めて聞いた」というような反応があり、また受験生の立場から真剣に学び直してみると「理解できた」という者もいる。3年後まで学習効果を継続することは難しいが、土台作りとしての役割を考える必要がある。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会心理学	3	後期	選択	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「資格に必要である」22.2%、「関心のある内容である」44.4%、「単位数を確保する」66.7%であった。選択科目であり、認定心理士資格取得希望者には必要な科目であるが、それ以外の学生はそれぞれの自主的な判断により選択、受講されている科目と考えられる。</p> <p>本科目は、個人と環境との関係を重視する心理学の領域を取り上げており、身近な現象を研究により理論としたものが多い。講義のなかでも身近な例を取り上げて、研究方法やその理論について解説を行うが、学生が日常生活や今後の専門性を生かした働き方と重ねて学ぶことができるよう、小レポートにて学生から具体的な例を提案させることにより、専門性のある概念や言葉に親しみ、関心を深めるようにしている。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は91.1点であった。受講者全員が80点以上であったことから、理想的レベルの知識理解が進んだと考えられる。</p> <p>学生の自己評価においても、知識習得や意欲の側面を尋ねる(スキルや職業倫理、職業選択を除く)項目で3.7～3.9点と、殆どの学生が十分な学びの到達度を実感することができていた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「選択科目」であるが、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験に頻出の内容である。また、それらの資格に加え、養護教諭、保育士など対人援助職として個人と環境との問題を検討するためには基礎となる学問である。心理学概論、発達心理学、臨床心理学等の心理学の各領域の知識を獲得し、さらに専門性を高めようとする3年の時期に学ぶことは、適切であると考えられる。</p> <p>受講動機では、「単位数を確保する」が66.7%と最も高かったが、学習到達度の自己評価からは、期待以上の成果が得られたのではないかと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度は、授業中に配布したレジュメへの学生の意見がみられたが、今年度は指定テキストを変更し、授業を進めた結果、特に学生からの意見はなかった。学生の理解度に沿った授業展開ができたと考えられる。</p> <p>学生アンケートによると、学習準備を30分程度1回以上行った者が5名だった。また、復習を30分程度1回以上行った者が6名だった。また、授業以外の学習に取り組んだという学生は1名であった。授業は、社会心理学の基本的な内容であったため、成績を鑑みると、授業を受けていれば十分にその知識を獲得することができたのだと考えられる。また、授業内容から「積極的に、身近な出来事と専門知識を結びつけて理解してほしい」というメッセージを伝えているため、授業以外の学習や図書館やインターネットの利用は重視されなかったと考えられる。試験では十分な結果が得られていることから、日常生活の中で知識の定着が促されたのではないかと。この点は推測にすぎないため、今後確認していく必要がある。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の目的とする基礎的知識の形成および関心意欲の向上について、概ね達成できた。 今後も継続して学生の知識と意欲の向上に努めていく。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会的養護	3	後期	選択	はい	26

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学習準備せいについては、やや不十分さは否めません。</p>
---	----------------------------------

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成されなかった	どちらともいえない		どちらともいえない
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業理解を測定するために最終的所産物である小テストを実施したが、十分なレベルまで到達していない。テキストを使用せず、教員が作成したパワーポイントによる教授や、DVD教材などを使用した。参加度が低かった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容の妥当性はあると考えられます。</p>
--	--------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に  
お示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し  
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン  
ターネット利用」学生の意見など

準拠できるテキストを使用し常にh学習の範囲を広げることができるように、授業を構成したいと考えています。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

十分なレベルまで到達できていないので、次年度は課題一つ一つが十分に理解できるようにテキストを使用し、参加度を高めていきたい。

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会福祉概説	1	通年	必修	いいえ	86

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は1年次を対象とした福祉基礎科目(必修)である。しかし本科目の内容は主に福祉政策論に関するものであり、初学者である1年生にとってはやや難易度が高いと思われる。したがって、授業は教科書を中心に展開し、単元ごとにレジュメを作成した。また図表・イラスト等も積極的に用いて学生の内容理解を助けるよう配慮した。その他、新聞記事やDVD等を活用し、学生が今日の福祉問題・課題を身近に感じ、関心を高められるよう工夫した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な試験結果の平均は76.8点であった。昨年度の77.3点をやや下回るものの教育目標はある程度達成したと考える。授業評価アンケートでの学生の到達度自己評価においても「自分なりの目標を達成した」(まあまあそうだと思う36.1%、わりにそうだと思う49.4%、かなりそうだと思う14.5%)、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(まあまあそうだと思う25.3%、わりにそうだと思う51.8%、かなりそうだと思う22.9%)が示されている。</p> <p>一方で授業評価アンケートからは、本講義を通して学生の自発的学習を十分に促すことができなかった事実も明らかとなっており(「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」)について「していない」が71.1%、「授業の予習」をしていない38.6%、昨年度同様の課題が明らかとなった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 試験結果(平均76.8点)や学生の到達度自己評価結果から本科目の教育目標はある程度達成されたかと判断でき、DP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP, カリキュラムマップ上の位置づけ 上記で述べたように、本科目は初学者である1年生にとってやや難易度が高いと思われる。その理由の1つとして本科目におけるキー概念が「福祉政策論」(マクロレベルの福祉)となっている点が挙げられる。学生(特に1年生)にとっては対個人への福祉・支援(ミクロレベルの福祉)の方が具体的にイメージしやすく、内容等の理解も容易であると思われる。したがって、CP・カリキュラムマップ上の位置づけという点では配当年次の検討が必要であると思われる。</p> <p>※2018年度カリキュラムより配当年次(3年次開講)及び科目名称の変更が行われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>上記で述べたように、学生の授業評価アンケートからは自発的学習を十分に促すことができなかったという結果が示された。本科目に関わる図書館の利用も昨年度と比較するとやや改善された面はあるものの、総じて低調であり(この授業では図書館の図書、雑誌を利用した)について「利用しなかった」(87.9%)、インターネットの活用もできていなかった(授業に関してインターネットを「利用しなかった」84.3%)。授業で提供する福祉の時事的内容や情報提供のあり方に検討が必要と考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>1年生にとってやや難易度が高いと思われる本科目であったが、教育目標はある程度達成できたと考える。これにはレジュメの作成、図表・イラストの積極的活用、コメントカードによる理解度の把握等が有効であったと考える。引き続きこうした取り組みを行いたい。</p> <p>一方で、学生の自発的学習の促進という点では昨年同様の課題が示された。授業を通して抱いた福祉への興味・関心について、学生自らが主体的に深めていく学習態度をどう培っていくか今後も考えていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会保障論	2	通年	必修	いいえ	73

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機を見ると、「必修科目である」93.8%、「資格取得に必要である」33.3%であった。本学科における必修科目であるとともに、社会福祉士・精神保健福祉士指定科目であることから、国家試験の出題傾向を念頭に置きつつ、法改正が頻繁に行われる社会保障制度について、最新の情報を提供することに努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	どちらともいえない		やや達成された		
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>試験は前期・後期の2回実施した。前期試験の平均点は67.15点(福祉・心理・養護教諭コース2年68.08点、子ども家庭福祉コース2年65.00点)、後期試験の平均点は57.45点(福祉・心理・養護教諭コース2年58.46点、子ども家庭福祉コース2年55.62点)であった。試験範囲が異なるとはいえ、前期試験より後期試験の平均点が10点近く低下したことは前例がない。このため、後期試験について得点調整を行なった結果、再試験対象者は24名、理想的レベル(80点以上)に達した者は12名となった。学生の授業欠席率について調べたところ、前期の平均は4.29%であったが、後期の平均は8.22%に倍増した。特に後期は10名以上欠席している回が3回あったことから、後期の成績の急落の原因の一つであると考えられよう。到達度自己評価について、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値が3.7であるが、他の項目の平均値は3.3-3.5の範囲内に収まっている。</p>					
<p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけから見ると本科目は「必修科目」、「福祉専門科目」であり、社会福祉士・精神保健福祉士の指定科目でもある。国家試験を受験する予定の学生が多く、学生の講義に対する動機付けは高い。試験の平均点が60点台とやや低いが、これについては、学生の授業以外における学習量の問題であると考え。国家試験受験のために必要な最低限度の内容となっているため、内容的には妥当であると考え。②DP行動目標から見ると、自己評価と成績の分布に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考え。よって、内容的妥当性には問題ないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」の平均値はいずれも3.5であった。前2者については、ともに2016年度より平均値が低下している。また、予復習など、授業以外の学習をしていない学生が、2016年度の6割から、今年度は7割前後にやや増加している。前期の講義の冒頭で、予復習の仕方について説明をしているが、社会保障制度は非常に複雑であり、授業以外で学生が学習する量を、教員に過重な負担を掛けない程度でいかに増やすかが課題となろう。学生の意見について、「試験前の授業でまとめをしてほしい」という意見が複数の学生から寄せられたが、直前のまとめより、日々の予復習をきちんと行う方が学習効果が高いことから、日々の予復習の重要性を講義内で強調したいと考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>福祉専門科目であり、かつ社会福祉士・精神保健福祉士指定科目である本科目の位置づけから、知識理解、意欲関心のいずれもある程度は達成できたと考えている。今後は授業以外の学習(とりわけ予復習)の重要性を学生に伝えることが課題となろう。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
就労支援サービス論	3	後期	選択	いいえ	53

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の展開」をねらいとした福祉専門科目である。受講動機を見てみると、「必修科目である」が26.0%、「資格取得に必要である」が84.0%、「関心のある内容である」が12.0%となっており、資格取得のための履修であることがうかがえる。本科目は社会福祉士指定科目であるため、授業はできるだけテキストに沿う内容で進めると同時に、就労支援の実際がイメージ化できるよう、新聞記事で時事的な問題を提示したり、DVDなどの視聴覚教材を用いたりした。加えて、生活困窮者への就労支援の場で実践を行っている講師を招き、就労支援の具体的内容について事例などを提示してもらい、就労支援への意欲関心を高められるようにした。</p> <p>また国家試験も意識化できるよう、過去問を適宜提示し、授業内容と国家試験問題の内容が結びつくようにした。また毎回のコメントカードにより学生の質問や意見等を求め、次回の講義の冒頭で質問等に答えるなどのフィードバックを行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均点は74.4点であり、再試対象者は8名であったことから、標準的なレベルであったと考えられる。ただ評価割合はA評価11.3%、B評価34.0%、C評価18.9%、D評価20.8%、E評価15.1%となっており、D評価、E評価が35%を占めていた。さらに制度内容等をわかりやすく伝えていく工夫を行い、底上げ図っていく必要がある。</p> <p>学生の「自分なりの目標を達成した」の自己評価では、平均値3.5、中央値3.0であった。またDP1に関わる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「事象を理解する視点や考えを得ることができた」の平均値はそれぞれ、3.9、3.8であり、DP2に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値はそれぞれ、3.8、3.7であった。これらの点からやや達成されたと判断した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性</p> <p>4. で記したとおり、学生の成績、自己評価からは内容的には妥当であったと考えられる。ただし学生の成績には点数の開きがあった。本科目は社会福祉士の国家試験科目であるため、さらに学生の理解を高めるようなわかりやすい講義内容を工夫していく必要がある。事例等を用いた学習や、課題への取り組みを通して、さらに学生の理解をうながしていきたい。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性</p> <p>上記にも記したとおり、概ね内容は妥当であったと考えられるが、学生の理解を高めていくような取り組みや、自発的学習を促すさらなる工夫が必要である。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。</p> <p>また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価では、各項目とも平均値3.6-3.8、中央値4.0となっており、概ね妥当であったと考える。ただ「説明は理解しやすいものであった」の項目に対し、「少しそうではないと思う」と回答した学生が1名いた。より噛み砕いた説明ができるよう工夫をしていく必要がある。学習量の評価では、2, 3回の予習をした学生は12%、4, 5回の予習をした学生は2%、2, 3回の復習をした学生は10%、4, 5回の予習をした学生は2%にとどまった。自発的学習についても4%にとどまり、図書館利用についても、1割に満たなかった。課題等を提示することにより、学習を促していきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「社会福祉実践の展開」をねらいとした福祉専門科目である。制度論が中心の科目ではあるが、就労支援の実際をできるだけイメージ化できるよう工夫し、学生の意欲関心を高めて、自発的学習をうながしていきたい。またわかりやすい説明を心がけ、学生の理解を促して、成績の底上げを図ってきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
障害児保育	3	通年	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の能動的な学習を深めるために、一定の時間を担当者を決め「課題」を提示し、事前準備、報告等を組み合わせて授業を構成した。また、授業で十分に言及できない内容で、かつ重要な考え方・方法論が示された、テキストについて各章ごとにノートを作成し、定期的に提出することを義務付けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>課題発表やノートの作成について学生間でのばらつきがあるが、学期ごとの最終レポートは一定の水準にあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的に妥当であると考えられる。</p>
--	-------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

受講者数の変動が学年ごとに異なるが現在の形態が内容理解へのアプローチとして有効であると考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示ください。

臨床現場での測定以外に所産物について評価が困難であるが、大学期間中の学習としては、やや達成できたといえる。本科目での学習方法が、将来の現場での実践への礎となるよう、次年度の授業にも取り組みたい。

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
障害者福祉論	2	後期	必修	はい	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>一昨年の、相模原での障害者の大量殺人事件は、多くの課題を私たちに突き付けています。ソーシャルワーカーとして、専門職の視点からだけでなく、一人の個人としてです。授業は勢い制度面の解説に重点がおかれませんが、常に人とは何でありどのように支援していくかについての哲学観も保持する必要があります。制度が確立されてきた今日までの歴史を念頭に置きながら、一人の個人として障害者の支援のありかを学生に問うこと姿勢で授業を組み立てた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない	どちらともいえない		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>制度面や知識付与については、定期試験の所産物で評価する限り一定の到達点にあるかと考えられるが、授業アンケートの結果を見ると、全体として意図したレベルに到達したかははっきりとは確認できない。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容についてはおおむね妥当であると考えられる。</p>
--	--------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>障害者の福祉の個々の課題について学生に常に問うていきたいと考えている。その中で現行の制度を支える背景、基盤について洞察を深めることができるように授業を展開した。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>知識についての最終所産物では、一定のラインをクリアしているが、将来各々の実践現場で出会い可能性があることからさらに洞察・探求を深めることができるように、動機づけを工夫したいと考えている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	野井 未加

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
心理学概論Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	83

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>福祉の領域の専門職を目指す学生が、総合的な人間理解の基盤を確立するための1つの学問領域として、心のメカニズムを究明する心理学を学ぶことは極めて重要であると位置づけている。内容的には理論的要素の強い学問領域であり、特に脳の働きと人間の行動との関連に重点が置かれているために、文系の学生には理解しにくい学問と言えるであろう。また高校までに生物を学んできたかどうかで、学生間の学修準備性は大きく異なると考えられた。従って第1回目の講義において「生物を学んだことがあるか」について口頭で問うたところ、半数以上の学生が生物を学んできていないようであった。そのため脳の働きを説明する前に、ニューロンの役割など基本的なところを細かく解説し、対応した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成されなかった	やや達成されなかった				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本試験の成績の平均値は69.2(±16.0)であり、最終的に単位を取得できなかった者は受験不適格者及び追再試験欠席者を含め5名であった。追再試験受験者数が20名と昨年度の同一内容であった心理学概論Ⅰと比べると14名減、平均値は9.0点上昇した。これは学生の学習準備性を踏まえ、本科目の開講時期を前期→後期へと変更し、大学での学びになれたことが関係していると考えられる。本試験の回答内容及び追再試験合格者数を検討する限り、本試験にあたって準備不足の者が多かったと考えられる。また何度も「分からないところはそのままにしておかないこと」「レジュメや教科書で分からない場合には心理学の他の教科書などを読んで復習に努めること」等指示を行ったが、学習量の評価を見る限り復習を行った者の人数、及び回数共に十分ではなかったと言えるのではないかと。試験範囲が広い事を指摘する声もあったが、まずは日々の復習から力を入れてもらいたいと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉学を学ぶ上での基礎科目として位置づけられており、学科のCPとも合致する科目であるといえるであろう。学生も「必修科目である(実際には選択科目であるが)」、「資格取得に必要である」、「関心のある内容である」と考えている者も多いため、内容的妥当性があるものとする。一方DP及び行動目標から検討するとDP1.1について達成されているとは言えず、方法的妥当性の問題があると考えられる。昨年度に知識理解を向上させるように復習を促していく事を課題として提示したが、それが十分に伝わっていなかったものと考えられるため、さらに復習を推奨していく事が必要であろう。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において「説明は理解しやすいものであった」という項目の平均値が3.5と比較的高かったことから、講義内容そのものに対する評価はそれほど悪くなかったと考える。しかしながら復習機会が少ないために授業で理解したことが定着しておらず、再試験を受けた学生の話聞く限りでは、「試験間際になって急いで勉強したが間に合わなかった」と答える者が少なくなかった。理解を定着させるためには復習が必要であることを何度も指示していくしかないと考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>昨年度の評価として「本科目の内容を1年前期に実施するようになり、後期に実施していた頃と比べると明らかに成績の平均値が低下している。これは学修準備性と大学での学びや試験範囲の広さに慣れていないためと考えられる。」と考えた結果、心理学概論ⅠとⅡの講義内容を入れ替えた。授業後の感想においては「〇〇について十分理解できていないので、復習しておきます」等の記述が多くみられるものの、それが行動に結びついていないようであるため、それが行動として定着するよう促していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	谷川 弘治

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
心理統計学	2	後期	選択	いいえ	7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>基礎となる統計量を体感できるように、データを扱い、検討をしていった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
		やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>・記述統計、分散分析の基礎、ノンパラメトリック検定について、各自ガイドがあれば計算を行って、判断を行うまで到達した。成績の平均値は76.3であったが、計算の習熟に課題が残ったと言える。</p> <p>・学生の到達度自己評価における知識理解は学科平均を0.4～0.5ほど下回っていた。</p> <p>・全般に、習熟の課題、統計量の意味についての理解など、講義として触れることができなかつたことがらが反映していたと推察された。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>・認定心理士のための科目であり、心理学実験等の準備を考えると時期的には妥当である。</p> <p>・内容的に統計的資料を扱う科目は多いものの、データを批判的に検討する(あるいは統計に親しむ)科目はこの前にはないため、消化不良を起こしやすい。その意味で内容的妥当性に課題があるように思われる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・今回は学生数が少し増えたため、お互いに意見を述べ合う状況が見られた。</li><li>・計算が得意でない場合、ついて行きにくさがあったようだ。</li></ul>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・思考過程を客観化し、意思決定をする上での統計学の意義をじっくり考える構成を目指したい。</li><li>・統計量の意味を理解することが中心であるため、計算の習熟よりも、内容理解を確認できるような構成を目指し、もう少し達成感を味わえるように進めたい。</li><li>・統計量の意味と限界を検討するような演習を入れていきたい。</li></ul>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	後藤 宇生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生活と経済	2	後期	選択	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ミクロ経済学の中でいくつかのトピックスを選択して授業を行った。ゲーム理論とその応用、マッチング理論、社会選択です。ノートする時間を減らし、ハンドアウトを配ることで、思考の時間を取れるように工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		やや達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体的に、試験で高得点を取り、単位を取得していた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>経済学を中心トピックスで、身の回りに関係あるものを選択した。コメントを踏まえて、DP1, DP3の基準を満たしていると考えている。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>もう少し、small stepsで進むように心がけたいと思います。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>全体的には、目標を達成できたと考えている。より現実的な具体例をあげたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生物と生命科学	1	後期	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 興味関心をもってもらうことを一番とした。特に講義では”生活のなかで気づく体の正常なしくみと異常(疾患)”に焦点をあて説明した。</p> <p>② 身近な疾患に関連した課題を提示し、図書による調べ学習をした上で、グループディスカッションを行い、知識の共有と理解度アップを図った。</p> <p>③ 講義途中で、内容の理解度を把握するため、学生に質問を投げかけ、不十分と思われるところは繰り返し説明、また、質問を受ける機会も作った。</p> <p>④ 講義に関連するミニ課題を出し、主体的に学ぶ姿勢を促すようにした。</p> <p>⑤ レポート課題については、評価項目と点数配分を口頭と文書で説明した。評価項目に複数の参考図書の利用を明示し、図書館の利用度を上げる工夫をした。ミニ課題を出すなどし学生に調べ学習を促すような工夫をする。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>① 総合評価の平均値は77.5点で学生全員が標準的レベルに達し、理想レベル(80点以上)に達した学生は33.3%であった。課題レポートの平均点は15.4/20点(77.1%)であった。</p> <p>② 学生の知識理解の到達度自己評価の平均値は4.6と昨年より高く、新しい知識など得ることができたと回答している。学生の知識理解の達成度は75.2%であった。意欲関心の達成度は70%で、専門分野について学びを深めたいと意欲をもつことができたとする自己評価平均値は4.0、また、専門分野の課題を検討する力を得ることができたとしたのは4.1であった。</p> <p>③ 学習量の評価をみると1回30分の予復習を4、5回以上した学生は67%、1回も予復習をしていない学生は0%と、昨年に比較し学習量は増えた。</p> <p>④ 課題レポートの評価基準は文書にて配布、また、課題についても事前にグループディスカッションの時間を設け事前準備を促すなどしたためか、評価基準と課題の明確さなど授業の質評価平均値は全て4.3だった。また、グループディスカッションを通じ、自分の意見をまとめる、話し合うなどの機会が作られていたとする自己評価平均値は4.7だった。</p> <p>⑤ 図書館での図書・雑誌の利用率は100%、学術データベースの利用率は58%と昨年に比較し図書館の活用率が上がった。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は一般教養科目であり選択科目である。社会人としての一般教養、さらに人体に関する基礎知識を学び専門科目へとつなぐ科目として、講義内容は妥当であると考えられる。</p> <p>② DP、行動目標からみても内容的妥当性 福祉学科の学生にとり、ややハードルが高い科目とは思われるが、100%の学生が標準レベルに達しており、「知識を深めると同時に意欲的に取り組もうと努めることができた」「授業で関心を持った疾患を調べ理解した」との自由記述もあり、内容自体は妥当であると考えられる。</p> <p>③ まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①早期の授業から講義とグループディスカッションを組み合わせ、内容の理解を深める工夫をしたためか、昨年より学生の成績・到達度が上がってきた。この取り組みは継続し行なっていく。 ②また、上記に記載した授業改善策により、図書・雑誌利用率と学術データベース利用率は、アップしてきた。図書館との連携がうまく稼働しており、この試みを継続して実施する。 ③学生の学習時間も増えており、レポート課題とは別に、定期的にミニ課題を出し調べ学習を促すよう指導する。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>・人の体に焦点を当て一般教養としての知識と専門教育に向けての基礎知識を培うという本科目の目標は概ね達成できた。学生の学習時間も増えており、今後も今までに実施してきた授業改善を継続し行う。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡部 明仁

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
生理学	2	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>生理学は、細胞の機能から生命体の維持の基本となる主要臓器の働きについて学ぶ学問である。福祉学科、特に養護教諭を目指す学生にとっては必要な科目であることから、内臓機能や神経系の働きについて理解することに重点を置いた。高等学校で学んだ生物基礎の知識をもとに、対象を認識するための感覚器の働き、中枢での情報の統合、運動神経による骨格筋の制御の仕組みなど、基本的な事柄が理解できるように努めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価のすべての項目において、「まあまあさうだと思ふ」以上の肯定的な意見が80%以上で、中でも「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と回答している学生の平均値が3.4、中央値が4.0であったことをみると、本科目で意図した教育目標はある程度達成できたと考えている。しかしながら、「少しさうでないと思ふ」以下の否定的な意見も20%弱あることから、専門用語などより丁寧な説明を行うべきだったと考える。評価はレポートで行ったが、レポート内容からは将来の自分の夢に対して非常に真摯に向き合っており、そのために「生理学」の内容が少なからず重要であるという認識を持っており、講義に対して大変真面目に且つ積極的な姿勢がうかがわれた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、社会福祉士国家試験の中の「体の構造と機能及び疾病」において必要な生理学分野の科目である。受講生の7割が資格取得を目指して受講を決めている。カリキュラムマップの中では、「解剖学」、「医学総論」などと連携して、人体の構造と機能と疾病の成り立ちについての正しい知識を身につけるための科目である。</p> <p>近年の国家試験問題は、極めて難易度の高い設問も含まれており、本科目の授業内容では不十分な点もあるかと考える。時間数が限られる中で、国家試験問題のレベルに合致した授業内容となるよう、創意工夫が必要と考えている。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>講義で使用したスライドや資料は全て大学ホームページ内にある「講義資料配布」にアップロードし、学生がいつでもアクセスできるよう環境を整えた。これは自宅での復習や次回の予習に役立てられるよう配慮したつもりである。しかしながら、予習・復習を全く行わなかった学生が半分以上おり、インターネットの利用などほとんどの学生が行っていなかったことから、周知が足りなかったと考えている。</p> <p>学生の能動的な学習意欲を引き出すためにも、「実感・体感する生理学」を目指してみたいと考えている。具体的には、実習器具を持ち込み、実際に短時間ではあるが実習を体験したり、NHKスペシャル「人体」のビデオ鑑賞を通して、生理現象について考える機会を設けてみることも必要であると考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>限られた時間内に、人体のすべての臓器について基本的事項を講義することは不可能である。生理学で学ぶ事象については、身近な現象や病態などをできるだけ多く例示したつもりであるが、必ずしも学生にとって理解できる内容ではなかったのかもしれない。「生物基礎しか高校の時習っていなかったから」という文言がレポートで多く見られたのは、説明が飛躍しすぎていたことのアカシだと考えており、反省すべき点である。</p> <p>今後の課題としては、より丁寧な説明を行い、教科書全ての項目を網羅しようとするのではなく、学生に興味を持ってもらえるような事例をもっと多く提示する必要があると考えている。そのためには、2年前期で開講されている「解剖学」とも連携を強める工夫が必要である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神障害者地域生活支援論	4	後期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士や精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目ではないが、精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、他の精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更なる考慮をして講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、精神保健福祉士の過去の国家試験問題等を利用したりしての解説等を行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、最終レポート、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が殆どを占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の試験対策にとっても役に立ったや、幅広く地域での福祉全般の関連分野まで理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、両福祉士の国家資格を取得するための専門科目ではないのにも関わらず、その関連性の高さから、講義に対してのモチベーションは非常に意欲的なものを感じられた。また、受講の全学生が、精神保健福祉士の国家試験受験者であり、精神障害者福祉や医療福祉領域に興味があるということで、高い関心を感じられた。学生も成績評価からみて、一定の到達領域に達しており、内容的には十分に妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性についても、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均点が低かった。座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討を行い、次年度以降の課題としたい。学術データベースの利用に関しても残念ながら殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、引き続き具体的に指導を行いたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格の科目ではないが、その関連性が強く、全員が精神保健福祉士養成レーンの学生であった。今までの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、4年後期の開講科目という点から、前半部分は今までの復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、後半部分は両福祉士の国家試験が近付くということも考慮して、その試験に関することに関係性を持たせて講義を行った。更には、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、多くの事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めたと感じられる。次年度は予習復習に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	平田 健太郎

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健学	3	後期	選択	はい	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 受講生を見ると、受講動機としては資格取得に必要なものである75%、必須科目である43%、関心のある内容である6%、単位数を確保する3%と大多数の学生の受講動機はかなり高く、積極的に授業に臨んでいるものと考えて講義を進めた。その際、過去の国家試験問題を参考にして合格水準に必要なレベルは維持することに努めた。また、意欲を高めるために、随時、過去の国家試験問題を提示した。</p> <p>② 「学生の質問を受け付け、それに答える機会」として、毎回授業終了時に、「講義の感想、質問、意見など自由に書いてください」と記入した「自己学習記録」を受講者から提出してもらい、次回授業の冒頭で質問には出来るだけ答えたり、知識の足りないところを補ったり、修正したりした。このことは、知識を深め、授業への参加意欲をさらに高めることにつながったと考える。</p> <p>③ 代表的な精神疾患に関しては、講義の初めに模擬患者のイメージVTRや、疾患を紹介する画像DVD等を5～10分間程度提示し、そのうえで講義を行うように努めた。</p> <p>④ 毎回の講義の終了時には、「本日の講義の要点、キーワード」として4～5項目を板書し、学習の一助とした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された			
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>① 成績をみると、平均点 79.8点であり、再試対象学生2名の試験結果も合格水準に達したと判断できたことなどから、目的はほぼ達成されたと思われる。</p> <p>② 上記の「自己学習記録」における学生の記載内容からも毎回の講義の理解度が確認された。</p> <p>③ 学生の「学習到達度の自己評価」は全員が肯定的回答であったことから裏付けられた。</p> <p>④ 「学習準備性」は、予習に対しては否定的回答47(73%)に対して肯定的回答は17(27%)であった。</p> <p>⑤ 履修に際して、シラバスを活用し立案したかどうかとの問いでは、否定的回答47、肯定的回答17と73%が否定的であった。また、計画を立案してもシラバスに沿って受講計画を立てたものは10/63と16%に過ぎなかった。</p> <p>⑥ 図書館の利用に関して、図書・雑誌の活用およびデータベースの活用いずれも全員が否定的回答をした。わずかにホームページの検索では肯定的回答10(16%)、否定的回答52(84%)となっており、大半の学生が極めて消極的姿勢であった。</p> <p>⑦ これらの回答結果を検討した結果、単に学生の要求に応じて資料提供することは適度に抑えて、学生自身が積極的に理解を求めて努力するような方向での教育、すなわち課題を提示することが必要であることが明らかとなった。ちなみに、学生の自由記述から「1年間ありがとうございました。とてもわかりやすかったです」「コメントカードの1つ1つの質問に対し、いつも丁寧な回答をしてくれていた。先生から学んだことを活かし、専門家になりたい」など、在職最後の年となることを伝えていたことで、多くの学生たちが例年以上に授業に集中していたのではないと思った。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は、「専門科目」であるが「専門基礎科目」と「専門応用科目」の両者にまたがる科目である。この役目を果たすべく講義では工夫をしたが、学生も一定の成績を収めているところから内容的には妥当であると考え。</p> <p>② DP、行動目標からみた内容的妥当性 「受講動機」等を検討した結果、内容的にも妥当であると考え。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①4. で触れたことであるが、かつて、「学習のための情報利用」「図書館、インターネット利用」を自主課題としたことがあるが、ほとんどの学生は手つかずのままであった。今後は、必須課題として提示し確認するような作業が必要であるとする。</p> <p>②教科書は日本精神保健福祉士養成所協会の編集したものを使用しており、必要十分な情報が記載されている。講義は、まず、その日の対象テーマについてビデオ画像を提示したり、スライドと配布資料を用いて要点を説明したりした後に、教科書を用いて全般にわたって知識を再確認した。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>①1年半後の国家試験の成績結果でも部分的には評価されるが、ほぼ達成されたと考える。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	嶋村 美由紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉に関する制度とサービス	1	後期	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は、選択科目にも関わらず「必修科目である」が7/24人おり、「資格取得に必要」が20/24人と、なっている。精神保健福祉士の国家試験受験資格の指定科目であるため、必修であると回答したと考えられる。学生は資格取得に必要な科目であることを意識しての受講であることがわかる。</p> <p>②資格取得のための指定科目という意識づけをオリエンテーションでの目的として、講義の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。</p> <p>③授業の実施に当たっては、できるだけ具体的な内容を含めて、説明を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	やや達成された		達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は78.2点であった。再試対象は1人だった。理想的レベル(80点以上)に到達した学生は14/27名と、全体的な到達度は達成されたと考えている。意欲関心に関しては、毎回の授業の振り返りシートの記入により、高まっていたことがわかるため、達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の中の精神保健福祉関係科目であり、1年後期から始まる精神保健福祉士コースの最初の科目である。精神保健福祉士国家試験受験科目として、受講する学生がほとんどであるが、他の資格と迷っている学生も受講していた。精神保健福祉に関する興味関心を広げるように講義の前半は意識して行った。そして資格を取得した後の専門職になった時に必要な法律や制度に関して、また、精神保健福祉士としての視点や役割が理解できるように授業を進めて、2年次の精神障害者の生活支援システムや援助技術系の科目へとつながっていく入口の役割がある。学生も一定の成績を取めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業評価においては、授業の質評価の中で、期間内に行うべき学習の範囲や課題が明らかであった項目で、少しそうではないと思うと回答した学生が1名いた。もう少し時間をかけて、また頻回に説明する機会を設けることとしたい。また文献紹介や具体的な勉強方法について、一方向での説明に終わらずに、学生とやりとりをしながら双方向の情報提供を組み込んで行こうと思う。授業の質評価に関しては、授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた、の項目が平均点3.6で、他の項目に比較して低かった。講義系科目であるため、話し合ったりする機会を多く作れないのが現状ではあるが、事例を考えたり、現状の課題について扱うコマの中で、話し合う機会を作っていくようにしたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>精神保健福祉士を目指す学生がほとんどの受講生をしめる本科目において、学生の勉強への動機づけはある程度学生自身でできていると思われる。授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができるのではないかとと思う。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	3	後期	選択	いいえ	38

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であることから、他の受験資格科目との関連性を考慮して講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、1、2年次での開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、定期試験の件、社会福祉士の実習に伴う補講の件、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、関連キーワードの確認テストを行ったり、後期のみ講義で、30コマあること(週に2回)から学習状況確認のために、16回目に中間的な小テストを行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が約3割を占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけでなく、幅広く福祉全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、精神保健福祉士の国家資格を取得するための専門科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、精神保健福祉士の受験資格は取得し国家資格も取得するけれど、精神方面には進まないという学生の受講もあったが、障害福祉や医療福祉領域に興味があるということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができることができる」の平均点が低かった。座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討していきたい。次年度の課題としたい。学術データベースの利用についても殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、指導を行いたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目ということで、精神保健福祉士養成レーンの学生の受講が多かった。2年次での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、2年次に受講していない学生（進路変更者等や、障害福祉領域、医療福祉領域に関心を持つ者）受講していることから、前半部分は2年次の復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととしたい。また、上記に示したように、よりリアリティを習得すすために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めたと感じられる。次年度は予習復習に関して具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助演習 I	2	後期	選択	いいえ	18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であり、受講学生は、全員が精神保健福祉士レーンである。精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、1年生時や2年生前期において受講済みの精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更には精神保健福祉士レーンで初めての演習グループであることも十分に考慮して講義を展開させた。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、北九州市における精神保健福祉社会資源マップの作成をグループ化して行うことを事前に知らせ準備させた。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、演習参加協力度、リアクションペーパー、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が殆どを占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、初めての精神グループでの演習で、仲間との理解も深まったし精神に進んでよかったと思ったや、とても楽しい15回でした、次年度からも精神保健福祉関連の講義が楽しみです等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、受講の全学生が、精神保健福祉士のレーン選択の学生であり、精神障害者福祉や医療福祉領域に興味があるということで、講義に対してのモチベーションは非常に意欲的なものを感じられ、高い関心を感じられた。学生も成績評価からみて、一定の到達領域に達しており、内容的には十分に妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見での内容的妥当性についても、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均点が、比較的に低かった。その場面設定は行い、実際にグループ化して社会資源マップを作成する作業を行ったが、2年生になって初めての自分の専攻の演習であったので、なかなか慣れていないということもあったかもしれないが、可能な限り今以上に展開できるように、次年度以降の課題としたい。また、調査の作業を課したのでインターネット上での検索は多かったが、残念ながら学術データベースの活用が殆どなされてなく、次年度は利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、忙しかったという回答があった。時間の作り方に関しても、引き続き具体的に指導を行いたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士国家試験受験資格の必須科目であり、全員が精神保健福祉士養成レーンの学生であった。1年次や2年前期での精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、初めての専攻のグループであるので、前半部分は相談援助の基本的なことの復習も含めて講義を進めていくこととした。また、後半部分は、実際に援助支援をする時に必要なものに理解を深めさせるために、地元の精神保健福祉社の社会資源マップの作成をグループ化して分担で課した。更には、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、ロールプレイを取り入れ実際に演じてみるという演習を行って、良い意識づけはできたと思う。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めたと感じられる。次年度は予習復習、学術データベースの利用方法に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	嶋村 美由紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助演習Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①受講動機は、選択科目にも関わらず「必修科目である」が16/32人おり、「資格取得に必要」が27/32人と、なっている。精神保健福祉士の国家試験受験資格の指定科目であるため、必修であると回答したと考えられる。学生は資格取得に必要な科目であることを意識しての受講であることがわかる。 ②資格取得のための指定科目という意識づけをオリエンテーションでの目的として、講義の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。 ③授業の実施に当たっては、できるだけ具体的な内容を含めて、説明を行った。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	学生の自己評価を見ると、概ね達成したと答えた学生が多い。医療実習前後の演習という位置づけであるため、コミュニケーション力や表現力を高めることができたと思えた学生も多く、概ね全体的には達成できたと思う。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。  <授業評価の指標> 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	3年次の通年の演習であり、医療機関実習に出る事前指導及び実習後の指導も含めた演習である。精神障害者の理解や法律及び制度の理解を含めて精神保健福祉的課題へのアプローチを行うものである。精神保健福祉援助実習Ⅰへの準備と事後指導という位置づけであり、内容として妥当である。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価に関しては、授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた項目について平均点3.8だった。できるだけ主体的に学生が取り組めるように環境を整えていき、事例を考えたり、現状の課題について扱うコマが多く、グループワークが展開できるような演習を意識して行っていたための評価であると考えている。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士を目指す学生がほとんどの受講生をしめる本科目において、学生の学習への動機づけはある程度学生自身でできていると思われる。授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができるのではないかと思う。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助演習Ⅲ	4	通年	選択	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であり、精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、他の精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更なる考慮をして講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を文書で提示した。シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職団体の研修会案内の件、リアクションペーパーの件等々を詳細に説明した。さらには、理解度を深めるために、精神保健福祉士の過去の国家試験問題等を利用したりしての解説等を行うことを事前に知らせ実施した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、演習参加協力度、リアクションペーパー、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全体的に80点以上が殆どを占め、理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の試験対策にとっても役に立ったや、幅広く福祉全般の関連分野まで理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、受講の全学生が、精神保健福祉士の国家試験受験者であり、精神障害者福祉や医療福祉領域に興味があるということで、講義に対してのモチベーションは非常に意欲的なものを感じられ、高い関心を感じられた。学生も成績評価からみて、一定の到達領域に達しており、内容的には十分に妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性についても、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均点が低かった。座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討を行い、次年度以降の課題としたい。学術データベースの利用に関しても残念ながら殆どなされてなく、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、引き続き具体的に指導を行いたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士国家試験受験資格の必須科目であり、全員が精神保健福祉士養成レーンの学生であった。今までの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授を行ったが、4年後期の開講科目という点から、前半部分は今までの復習とその関連性も含めて講義を進めていくこととした。また、後半部分は福祉士の国家試験が近付くということも考慮して、その試験に関することに関係性を持たせて講義を行った。更には、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、ロールプレイを取り入れ実際に演じてみるという演習を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回資料配布しその説明を行い、理解を深めたと感じられる。次年度は予習復習に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	平田 健太郎、今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助実習指導 I	3	通年	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の国家試験受験資格に関する科目であり、精神保健福祉士との関連性が十分ある科目であることから、他の精神保健福祉士受験資格科目の内容を踏まえた上で、更なる考慮をして講義を行った。具体的には、第一回目の講義の時に、受講についての詳細な説明を、また、シラバスに記載していることを前提として、今までの開講科目の精神保健福祉士受験資格関連科目との関係性を説明した。更には、実習指導の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。他には予習復習の件、欠席遅刻の件、理解をしておくべきキーワード、理解を深めるための専門職能団体の研修会案内の件等々を詳細に説明した。毎講義ごとにレジュメを作成して配布し、理解度を高めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の資格取得に課せられた精神保健福祉援助実習 I (医療機関実習)の事前事後指導の科目である。3年次の医療機関実習での実習に向けた各自の目標設定や課題の確認等しながら医療機関実習に臨むことができている。実習終了後のグループワークの中でも、自身の実習中のことを振り返ることができ、更には次年度の実習 II の目標も、ある程度立てられるようになっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>3年次の精神保健福祉援助実習 I に対しての、事前事後指導という位置づけである。精神保健福祉援助実習 I を通して学んだことを、個別体験から総合的包括的な理解へと広がるための科目設定である。従って、内容的には妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価に関しては、授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていたの項目と、質問の受付答える機会の提供の項目については高得点だった。できるだけ主体的参加によるグループワークが展開できるような、演習形式を意識して行っていたための評価であると考えている。実習事前事後指導については、具体的実習先を早い段階で決定して、各自の実習目的を明確化することを進めていった。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士を目指す学生のみが受講生をしめる本科目において、学生の学習への動機づけはある程度学生自身でできていると思われる。実習に向けての職業倫理や行動規範などにより時間をかけるとともに授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができるのではないかと思います。次年度は、この点を取り入れて授業を組み立てていこうと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	平田 健太郎、今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4	通年	選択	はい	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は、精神保健福祉士の国家試験受験資格の指定科目であるため、必修であると回答した学生が多いと考えられる。また、学生は資格取得に必要な科目であることを意識しての受講であることがわかる。</p> <p>②資格取得のための指定科目という意識づけをオリエンテーションでの目的として、実習指導の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。</p> <p>③授業の実施に当たっては、できるだけ具体的な内容を含めて、説明を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉士の資格取得に課せられた精神保健福祉援助実習Ⅱ(地域実習)の事前事後指導の科目である。3年次の医療機関実習での学びを通して4年次の実習に向けた各自の目標設定や課題の確認等をしなが地域実習に臨むことができている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>精神保健福祉援助実習Ⅱに向けた、事前事後指導という位置づけである。精神保健福祉コースの総括としての実習Ⅱを通して学んだことを、事後指導の時間を多く設けて個別体験から総合的包括的な理解へと広がるための科目設定である。内容的には妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価に関しては、授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた、及び質問の受付答える機会の提供の項目についても高得点であった。できるだけ主体的参加によるグループワークが展開できるような演習形式を意識して行っていたための評価であると考えている。 実習事前事後指導については、具体的実習先を早い段階で決定して、各自の実習目的を明確化することを進めていった。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士を目指す学生が受講生をしめる本科目において、学生の学習への動機づけはある程度学生自身でできていると思われる。実習に向けての職業倫理や行動規範などにより時間をかけるとともに授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができるのではないかと思う。次回から、この点を取り入れて授業を組み立てていこうと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	嶋村 美由紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2	後期	選択	いいえ	21

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は、選択科目にも関わらず「必修科目である」が7/17人おり、「資格取得に必要」が11/17人と、なっている。精神保健福祉士の国家試験受験資格の指定科目であるため、必修であると回答したと考えられる。学生は資格取得に必要な科目であることを意識しての受講であることがわかる。</p> <p>②資格取得のための指定科目という意識づけをオリエンテーションでの目的として、講義の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。</p> <p>③授業の実施に当たっては、できるだけ具体的な内容を含めて、説明を行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	やや達成された		達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は81.8点であった。理想的レベル(80点以上)に到達した学生は14名と、全体的な到達度はやや達成されたと考えている。意欲関心に関しては、毎回の授業の振り返りシートの記入により、高まっていたことがわかるため、達成されたと考えている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「専門教育科目」の中の精神保健福祉関係科目であり、1年後期から始まる精神保健福祉士コースの制度系科目履修後の相談援助技術の総論である。精神保健福祉士国家試験受験科目として、受講する学生がほとんどであるため、資格を取得した後の専門職になった時に必要な知識や理解、興味関心を広げ、精神保健福祉士としての視点や役割が理解できるように授業を進めて、3年次開講の援助技術系の科目への橋渡しとなっている。学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>より多くの機会を設けて、文献紹介や具体的な勉強方法について、一方向での説明に終わらずに、学生とやりとりをしながら双方向の情報提供を組み込んで行こうと思う。図書館の利用に関して利用しなかった学生がほとんどだったため、考える題材を提示するなどして、授業外での学習の機会を増やしていく必要があると思う。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>精神保健福祉士を目指す学生がほとんどの受講生をしめる本科目において、学生の勉強への動機づけはある程度学生自身でできていると思われる。授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができるのではないかと思う。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	金谷 めぐみ

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
西洋の音楽と文化	4	後期	選択	はい	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は「単位数を確保する」が90%、「関心のある内容である」が10%であった。保健福祉学部4年生が履修するこの授業は、おそらく学生の大学生活において、キリスト教音楽に触れる最後の貴重な機会となるため、キリスト教の基礎知識を、馴染みのある讃美歌の曲のルーツと関連させて獲得できるよう、授業を計画した。西洋音楽の起源であるキリスト教音楽の発展について学び、その知識をもとに日本における西洋音楽文化の浸透について考える。受講する学生のキリスト教音楽の基礎知識は様々であることから、学生がチャペルを通して歌ったことのある讃美歌や身近な音楽から西洋音楽のルーツを探るという授業計画を立てた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は80点であり、全員が単位取得に至った。少人数の授業であったため、コミュニケーションをとりながら授業をすすめることができた。学生による授業評価において、知識理解では達成されたという評価であった。これはキリスト教音楽について、これまで詳しく学ぶ機会がなかったため、新しい知識と理解が学生自身の達成感に結びついたと思われる。とくに関心を持って授業に参加していた学生は、熱心にノートを取り、講義を聞く姿勢がみられた。次年度の授業達成目標には現在の知識理解、意欲関心の目標達成度を充実させ、さらに思考判断を加えられるよう、検討を進めたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性:本科目は、学科横断的科目であり、キリスト教は、本学の教育の根幹をなすものである。学生は「音楽と文化」という科目名からも様々な視点からこの授業への興味関心をもつことができると考える。キリスト教音楽の根源である西洋の音楽と文化の歴史について概説し、さらに日本における西洋音楽の受容を解説することで、異文化について多角的に理解し、総合的・分析的視点で学ぶことができるよう工夫しているため、内容的には妥当であると考えられる。②DP.行動目標からみでの内容的妥当性:この講義に関心を持って履修した学生と、単位確保の目的で履修したことが主な履修動機であり、後者の意欲関心を引き上げることが課題であった。知識理解だけに偏らないよう授業内容の改善を検討したい。③まとめ:以上から、内容的妥当性には問題はないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>毎回、授業の感想および質問を書いて提出させたことで、学生の理解度を確認し、次回への授業の準備に反映させることができた。数名の感想および質問を、匿名で公開し、全員で共有した。その結果、学生からの質問が徐々に増え、質問に回答することで、相互により深い学びを展開することができた。授業評価では「興味を持った本を読んだ」、「もっと知りたいと思うようになった」などの記述があり、学生の自主的な学習を促すことができた。今後も、授業中に参考文献などを紹介し、学生の自主的な学びをサポートできるよう、工夫を行いたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目において、全体的な目標はやや達成できた。次年度は、知識と思考の能力をより養うことができるよう、検討していきたい。また、内容の充実を図り、毎回の授業のねらいを具体的に示していくよう、改善を行いたい。さらに、今後も毎回授業内容についての感想および質問を書かせることで、学生ひとりひとりの理解度を把握できるよう検討したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業を受講者は、養護教諭を希望している学生8名や保育士・幼稚園教諭を希望している学生が2名であった。この授業では、個人あるいはグループで興味のあるテーマに関するキーワードを手がかりに文献検索を行わせ、得られた原著論文の要旨を読ませることによって、研究におけるオリジナリティー、方法論の重要性を理解させるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は87.1(±5.5)点であった。成績分布別にみると、90点以上が40%、89～80点60%であり、全員が理想的レベルに達していた。学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が10%、「わりにそうだと思う」が40%、「まあまあそうだと思う」が50%とすべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.6)。</p> <p>「知識・理解 (DP1)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目2と3)についても、「かなりそうだと思う」が10～20%、「わりにそうだと思う」が40～70%、「まあまあそうだと思う」が20～40%と、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.8～3.9)。</p> <p>「思考・判断 (DP2)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目4と5)についても、「かなりそうだと思う」が10%、「わりにそうだと思う」が50%、「まあまあそうだと思う」が40%と、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.7)。</p> <p>「意欲・関心 (DP3)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目6)についても、「かなりそうだと思う」が20%、「わりにそうだと思う」が40%、「まあまあそうだと思う」が40%と、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.8)。</p> <p>その他、「技能・表現 (DP5)」(質問項目7と8)、「態度 (DP4)」(質問項目9)に関する学生の到達度自己評価についても、平均値はそれぞれ3.7～3.8、3.8であり、すべての学生が肯定的に捉えていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>専門教育科目の「専門研究科目」に含まれる科目である。授業では、個人あるいはグループで興味のあるテーマに関するキーワードを手がかりに文献検索を行わせ、得られた原著論文の要旨を読ませることによって、研究におけるオリジナリティー、方法論の重要性を理解させるようにした。すべてのDPおよび「全体を通して」に関する学生の到達度自己評価では、すべての学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP, CP, カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価は、平均値が3.6～4.2であったことから、授業の進め方は概ね良かったと考える。 学習量の評価についてみると、1回30分程度以上の予習を行った学生の割合は、4,5回が10%、2,3回が50%、0回が50%であった。 1回30分程度以上の復習を行った学生の割合は、1回が10%、0回90%であった。 また授業課題以外の学習に取り組んでいなかった学生の割合は90%であったことから、学生の学習意欲をさらに高める工夫をする必要がある。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>目標は概ね達成できたと考える。 今後の課題としては、学生の興味関心をさらに高め、積極的に研究する姿勢を身に付けさせるために、具体策を考えることである。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修		7

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必修科目である」100%である。具体的に学びたい方向性が決められていない為、今日、何が社会的に問題となっているか、どのような方向性で社会が動こうとしているかについて、資料を基に考えさせるようにした。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DPの上では、平均値を下回っていたが妥当な評価であると考えている。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に  
お示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し  
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン  
ターネット利用」学生の意見など

全般的に学生の到達度に関する評価が得られたものと理解する。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」と評価されていることで次年度につなげる期待が持てた。

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉専門職を目指す学生、特段メンタルヘルス分野(精神保健福祉領域)に興味を持つ学生を対象としたゼミである。可能な限りリアリティを重視し、現場実践学を学ぶ機会の提供を行うことに重点を置いている。ゼミで、司法施設や福祉施設の見学を積極的に行ったり、社会福祉士会や精神保健福祉士協会の研修会にも積極的に参加した。本ゼミを選択するに当たり、事前に全員と面談を行い、趣旨説明やゼミの学習内容を説明した。外部活動を行ったら、必ず振り返りを行い、レポートにまとさせた。更には、4年次につながる様に、最終的に卒業研究である「ゼミ論」のテーマの選定が行えるよう、アドバイスをを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全員合格領域に到達しており、標準的レベルには達成した。また、参加意欲、態度、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全学生が80点以上であり、理想的レベルに達している。レポート等の内容から、幅広く福祉全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容的妥当性については、卒業するための必須科目であり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものが感じられた。また、メンタルヘルスや障害福祉、医療福祉領域に興味がある学生が選択しているということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、理想的な到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学術データベースの利用に関しても殆どなされていない状況であるので、次年度の卒業研究にもかかわる重要事項でもあり、利用の仕方からのインフォメーションを行うことを早急に検討したい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。最終学年になることも考慮して、時間の作り方に関しても、引き続き指導を行いたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>メンタルヘルスについて興味関心がある学生が多いということで、精神保健福祉士養成レーンの学生の受講が多かった。これまでの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授した。次年度には専門研究Ⅱが設定されているので、それに引き継ぐような関連性を持って講義を行った。また、上記に示したように、よりリアリティを習得できるように、実践現場の見学を行ったので、現状と課題を追求できるように、さらなる内容を吟味していく必要があると感じた。次年度は予習復習に関しても、引き続き具体的な指示を出すことにしたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機としては、「必須科目である」88.9%、「資格取得に必要な科目である」22.2%の学生が答えている。しかし、「関心のある科目である」11.1%であった。このことから目標ははっきりしているが、関心が低いという結果であった。</p> <p>専門研究では個人で設定したテーマやグループで設定したテーマをもとに演習形式で行った。オリエンテーションではお互いを知るために、他已紹介等のグループワークを取り入れた。さらに、個人の興味のあるテーマについてディスカッションを行い、各自がテーマを設定しテーマについて、プレゼンテーションを行い、その後そのテーマについてグループワークを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な平均値は83.0点(±8.6)であった。</p> <p>授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.3中央値5.0)、また思考・判断が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができ(平均値4.3中央値5.0)、また、自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた(平均値4.3、中央値5.0)と答えていた。</p>					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.3中央値5.0)、また思考・判断が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができ(平均値4.3中央値5.0)、また、自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた(平均値4.3、中央値5.0)と答えていた。</p> <p>学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の担当教員への意見においては、学習量の評価について、図書館での学習などを通して、半数近くが学習準備をしていた。また、本ゼミに入って養護教諭になりたいと強く思うようになった等の意見があった。 本科目を通して養護教諭として専門性を深めていけるよう、グループ討議などを取り入れ授業構造を改善していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目を通して養護教諭としての専門性を深め、学校現場において活躍できるような実践力を身につけることができるように授業構造を改善していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	嶋村 美由紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>前半はソーシャルワークの理解を深めて、人と関わることについて考えることができるようにプログラムをしている。後半は、相談者に会おう場面を想像し、ソーシャルワーカーは支援にあたってどのような情報が必要であり、どのように面接していくことが求められるのかを考えていくロールプレイを行っている。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業外の学習について取り組んでいる学生は1人で、時間内に与えられた中に限られている。図書館利用に関しても半数にとどまっている。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>3年次の専門研究の位置づけとしては、3年間の学びを通じた知識と技術をどのように結び付けたいのか、事例について考える中で気づくことができることを目指して設定している。内容的妥当性はあると考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の課題以外に学習に取り組んだ学生が1人であり、図書館利用について利用しなかった人の方が多い。次回以降は、より課題設定を工夫して、学生の自己学習の動機づけができるようにしたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>漠然としているソーシャルワークの知識や技術をつなぎ、より職業意識を高めて将来につなげていくことができるように、課題を設定する機会をより多く設けて、事前事後の自己学習への動機づけができるようにしていきたいと思う。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究 I	3	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると「必須科目である」100%、「資格取得に必要である」14.3%であった。授業開始時において、本科目受講生は、専門研究のテーマを検討している状況であった。そのため、福祉に関する文献や新聞を用いて、我が国における福祉に関する課題について理解を深めることにより、各自の専門研究のテーマを決められるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>再試験対象者は0名であり、全ての学生が標準レベル以上に達した。到達自己評価において、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」と「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身に付けることができた」は、約6割の学生が「わりにそうだと思う」と回答していた。また、約9割の学生は、図書館から利用できる学術データベースを検索していたことから、主体的に学ぶことが出来ていたと考えられる。これらのことから、学生の目標達成状況は、「達成された」と判断した。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP・カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、カリキュラムマップにおける専門教育科目である。全ての学生が標準レベル以上に達したことから内容は妥当であると考えられる。</p> <p>②DPにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目の受講動機は「必須科目である」が100%であった。しかしながら、到達度自己評価をみると、「知識理解 (DP1)」「思考判断 (DP2)」「意欲関心 (DP3)」「態度 (DP4)」「技能表現 (DP5)」は教育目標を達成されたと考えられることから、DPにおける内容は妥当であると思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目では、個人作業、グループディスカッション、プレゼンテーションをする機会を設けるようにした。授業の質の評価では、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」平均値は4.3点、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」平均値3.9点であった。しかし、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」の平均値は3.4点であった。評価基準を示すことや分かりやすい説明方法を検討することが今後の課題である。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>すべての学生が標準レベル以上に達したと考えられる。予習時間が0回および1回の学生はおらず、前年度と同様に予習する学生がみられた。具体的な課題を提示することにより、講義外の学習時間を確保できると考えられるため、今後も学生が学習に取り組みやすい課題を提示していく。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	稲木 光晴

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>この授業では、専門研究Ⅰで学び、得た知識をもとに、学生自身がさらに興味関心をもったテーマを決定させ、それについて調べ、まとめさせた。学生各自がテーマに沿って調べてきた内容を定期的に提出させ、その進捗状況をチェックするとともに、内容についての改善ポイントなどコメントすることによって、研究レポートを作成させた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>最終的な成績の平均値は69.3(±7.6)点であった。成績分布別にみると、89～80点7%であり、79～70点が50%、69～60点が43%であった。全員が標準的なレベルに達しており、そのうち7%が理想的レベルに達していた。</p> <p>学生による到達度自己評価をみると、「自分なりの目標を達成できた」では、「かなりそうだと思う」が14%、「わりにそうだと思う」が71%、「まあまあそうだと思う」が14%とすべての学生が肯定的に捉えていた(平均値4.0)。</p> <p>「知識・理解(DP1)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目2と3)についても、「かなりそうだと思う」が14～29%、「わりにそうだと思う」が43～86%、「まあまあそうだと思う」が0～14%と、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値4.1～4.2)。</p> <p>「思考・判断(DP2)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目4と5)についても、「かなりそうだと思う」が43%、「わりにそうだと思う」が29～43%、「まあまあそうだと思う」が14～29%と、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値4.1～4.3)。</p> <p>「意欲・関心(DP3)」に関する学生の到達度自己評価(質問項目6)についても、「かなりそうだと思う」が43%、「わりにそうだと思う」が43%、「まあまあそうだと思う」が14%と、すべての学生が肯定的に捉えていた(平均値3.9)。</p> <p>その他、「技能・表現(DP5)」(質問項目7と8)、「態度(DP4)」(質問項目9)に関する学生の到達度自己評価についても、平均値はそれぞれ3.9～4.1、3.7であり、すべての学生が肯定的に捉えていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>専門教育科目の「専門研究科目」に含まれる科目である。この授業では、専門研究Ⅰで学び、得た知識をもとに学生各自が設定したテーマに沿って調べ、その内容を定期的に提出させ、その進捗状況をチェックするとともに、内容についての改善ポイントなどコメントすることによって、研究レポートを作成させた。</p> <p>すべてのDPおよび「全体を通して」に関する学生の到達度自己評価では、すべての学生が肯定的な回答を行っていた。これらのことから、本科目はDP, CP, カリキュラムマップの位置づけからみて内容的に妥当であると考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生による授業の質評価では、平均値が4.3～4.6であり、授業の進め方は概ね良かったと考える。 学習量の評価についてみると、1回30分程度以上の予習を行った学生は、6回が57%、4.5回が14%、2.3回が29%であった。また、1回30分程度以上の復習を行った学生の割合は、6回が14%、4.5回が29%、2.3回が14%、1回が29%であった。授業課題以外の学習に取り組んでいなかった学生は43%であった。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>目標は概ね達成できたと考える。 今後の課題としては、学生の興味関心をさらに高め、積極的に研究する姿勢を身に付けさせるために、具体策を考えることである。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究 II	4	通年	必修		18

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必修科目である」が94.4 %である、3年次の専門研究 I から継続し、学生自らが研究領域、テーマを決め主体的、積極的に研究の成果を各自がまとめる取り組みをした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「到達度自己評価」にもあるように「自分なりの目標を達した」とする学生がほとんどであったことは評価できる。また、「専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」と評価している者が3.7と最も高い点であったのは成果として考えられる。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「到達度自己評価」にもあるように「自分なりの目標を達した」とする学生がほとんどであったことは評価できる。また、「専門分野のさまざまな課題を検討することが出来た」と評価している点も成果として考えられる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>卒業研究のテーマは多彩であった。専門職に就いた者、一般に就職した者といったが、指導領域において5名の社会福祉士国家試験に合格し、医療機関に就職することもできたことは学生の努力の成果だと考える。</p>
------------------------------	---

学科	福祉学科
氏名	古川 敬康

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>① 学生の授業評価アンケートにより受講動機を見ると、「必須科目である」ことが77.8%、「関心のある内容である」ことが33.3%、そして「単位数を確保する」ことが11.1%であり、動機が高いことが伺える。専門研究Ⅱの内容では、専門研究Ⅰで学んだ諸概念を前提に、受講生が自分の研究テーマを見出し、徐々に自ら資料を集め、テーマとする研究内容に親しみ、問題を深めてさらに新たな問題を提起し、自ら新たなテーマの研究をし、それを繰り返しながら論文を書けるように指導することを務めた。</p> <p>② 専門研究Ⅱの諸先輩の残した卒業論文の内、受講者の研究テーマと関連するものを取り上げ、先輩からの研究を引き継ぐべきものは引き継ぎ、発展させるものは発展させる、という意味での継承的意識の育成に留意した。</p> <p>③ 常に、受講者の主体性を第一とし、その研究内容の新たな問題の所在を見出し、テーマを拡大あるいは深化することができるように指導した。</p> <p>④ 受講者が研究の方法論と研究論文執筆の方法論を身に着けることができるように指導した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は、88.89点であり、全員が80点以上であった。到達度自己評価によると、「自分なりの目標を達成した」ことにつき「かなりそう思う」「わりにそう思う」「まあまあそう思う」順に「3、3、3」、すべて33.3%であった。非専門分野の&lt;知識&gt;&lt;理解する視点や考え方&gt;に関しては、いずれも「4、3、2」で全体は100%であった。しかし専門分野では&lt;課題を検討する力&gt;は「2、5、2」であり、&lt;判断する力&gt;に関しては、「3、3、3」ですべて33.33%であり、専門に関しての&lt;意欲&gt;は、「5、2、2」と高く、&lt;技術を身につける&gt;に関しては、「1、6、1」の外に、否定的回答の「少しそうでない」「全くそうでない」が「1、0」であった。これとは対照的に&lt;コミュニケーション・表現力&gt;と&lt;規範習得&gt;ははすべて肯定的な回答で「4、3、2」と「3、5、1」の順であった。しかし&lt;職業選択&gt;に関しては肯定的な回答は「3、3、2」の順であったが、否定的回答が「1、0」とあった。つまり、&lt;技術&gt;と&lt;職業選択&gt;に関しては否定的回答が、11.11%あったということであり、それ以外に事項は肯定的回答が100%か88.88%であったということである。その他の項目では図書館の利用とホームページの利用は、77.78%であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>① CPの位置づけにつき検討すると、専門研究Ⅱは、内容的には専門研究Ⅰと同様であり、意味論から「人間の生」「人間関係」を通して「人間への支援」を探索するものである。言い換えると、意味論からこれらを捉えて、実現するものである。その意味論を専門的に研究するものであるから、内容的に妥当であると考え</p> <p>② DPの位置づけから検討すると、DPの項目のいずれにも、「全くそうでないと思う」というものは皆無である。前項の欄に述べたように、「かなりそうだ」「わりにそうだ」「まあまあそうだ」という評価が圧倒的に多い。したがって、内容的に妥当であると考え</p> <p>② 以上から、内容的妥当性は認められる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>専門研究Ⅱでは、受講生が専門研究Ⅰで関心を持った事柄から自分の研究テーマが見出せるように工夫した。具体的には、テーマの探求のために図書館のどこにどのような書籍群があるのか、どの本のどの箇所を読むべきかを、素早く見つける技術を指導することを心掛け、資料探しに欠かせない実践的内容を盛り込んだ。さらに、その資料の収集の際、焦点化することと、先行研究を見出す大切さを指導した。「資料からテーマにそった論文へ」という執筆の指導に当たり、受講生の主体性を尊重し、アドバイスの指導を心掛けた。研究の課題は、受講生が自分の研究テーマの研究を進める段階で、自ら研究を深めることができるように指導した。また、テーマに対し、これまで専門研究で学んだ研究成果を生かすことができるように指導した。互いに学び向上させるためのグループでの研究ができるような体制作りを工夫した。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>先述したように、CPとDPとしては内容的妥当性を有していると考え。受講生の「自分なりの目標を達成した」ことでは「かなり」と「わりに」と「まあまあ」が各33.33%の割合で達成した。しかも既述したように、受講生は、成績に表れているように指導したことを実践したことであるが、それは専門研究が知識や技術の伝達に留まらず、研究の方法論が身につくように指導した結果であると考え。また、先に述べたように、&lt;技術&gt;と&lt;職業選択&gt;に関しては否定的回答が、11.11%あったが否定的な回答はこれに留まり、それ以外に事項は肯定的回答が100%か88.88%であった。しかし、今後は、さらに「かなりそうだ」の割合が多くなるように努力し工夫していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	9

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	3年次からの引き続きで、社会福祉専門職を目指す学生、特段メンタルヘルス分野(精神保健福祉領域)に興味を持つ学生を対象としたゼミである。可能な限りリアリティを重視し、現場実践学を学ぶ機会の提供を行うことに重点を置いた。ゼミで、司法施設や福祉施設の見学を積極的に行ったり、社会福祉士会や精神保健福祉士協会の研修会にも積極的に参加した。3年次に設定した、自分の卒業研究の課題を「ゼミ論」としてまとめさせ、それに伴う文献研究や実践現場でのインタビューや調査等の指導を行った。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績評価については、全員合格領域に到達しており、理想的レベルには達成した。また、ゼミ論、参加意欲、態度、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。全学生が80点以上であり、理想的レベルに達している。ゼミ論、レポート等の内容から、幅広く福祉全般の関連分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	内容的妥当性については、卒業するための必須科目であり、講義に対してのモチベーションは非常に高いものを感じられた。また、メンタルヘルスや障害福祉、医療福祉領域に興味がある学生が選択しているということで、高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、理想的な到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解はある程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に          単にお示しください。          また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し          ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt;          「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、          インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>ゼミ論をまとめるために、学術データベースの利用に関して指導をおこなったのであるが、あまり利用がなされていない状況であるので、次年度からは、利用の仕方からのインフォメーションを行うことを早急に検討したい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。就職活動や国家試験対策で時間を取ることも考慮して、時間の作り方に関しても、引き続き指導を行いたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>メンタルヘルスについて興味関心がある学生が多いということで、精神保健福祉士養成レーンの学生の受講が多かった。これまでの精神保健福祉士関連科目とのつながりを考えて教授した。卒業研究のゼミ論完成に向けて、それに引き継ぐような関連性を持って講義を行った。また、よりリアリティを習得できるように、実践現場の見学を行って、現状と課題を追求できるように指導できた。最終的には、一昨年同様に、全ゼミ生が、社会福祉士、精神保健福祉士ダブル合格をして、就職が決定した。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	はい	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門研究Ⅰの継続として、前年度の各個人の課題を把握し、個に即した課題を準備した。個別の指導に加え、授業外学習の必要性が増すため、他の課題と時期が重ならないよう配慮した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「到達度自己評価」は概ね高く、学生の自己評価としては、学習目標が達成されたと考える。成績評価も全受講生が8割以上の成績であり、良好な結果であったと考える。学習量や図書館、インターネットの利用も充分になされており、各学生が課題意識をもって臨んだと考えられる。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>卒業のための必須科目であり、学内の学びを総合的に学び自己課題をもって研究を行う科目であるため、DP、CP、カリキュラムマップにおける位置づけにおいては妥当であるとする。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>各個人が研究課題を明確にもって臨んでいたため、個々に対して必要な課題提示を行った。 「授業の質の評価」や「学習量の評価」「図書館、インターネット利用」についても課題提示の際に誘発されるよう組んだため、それを反映した結果となっている。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>総合的に授業目的は概ね達成できたと考える。他の授業との兼ね合いから、極端に課題が重なる時期があったことから、他の授業も含めた学生の利用可能時間の年間を通した均一化が必要であると考えている。</p>
-------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	西丸 月美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機としては、「必須科目である」100%、「資格取得に必要な科目である」40.0%、「関心のある科目である」20.0%であった。オリエンテーションではお互いを知るために、他己紹介等のグループワークを取り入れた。さらに、個人の興味のあるテーマについてディスカッションを行い、各自がテーマを設定しテーマについて、プレゼンテーションを行い、その後そのテーマについてグループワークを行った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>最終的な平均値は85.8点(±6.6)であった。</p> <p>授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.7、中央値5.0)、また思考・判断では、自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた(平均値4.7、中央値5.0)、また、関心・意欲においては、自分が学ぼうとする専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことができた(平均値4.8中央値5.0)、職業選択の参考になった(平均値4.8、中央値5.0)と答えていた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。</p> <p>学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.7中央値5.0)、また思考・判断が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができ(平均値4.8中央値5.0)、また、思考・判断において、自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた(平均値4.3、中央値5.0)と答えていた。</p> <p>学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業では興味のあるテーマについて個人が発表し、そのテーマについてグループ討議を行い、テーマの深化を図った。 学生の授業評価においては知識・理解において知識を確認したり、修正したり新たに得ることができた(平均値4.7中央値5.0)、また思考・判断が高く、自分が学ぼうとしている専門分野において学びを深めたいと意欲を持つことができ(平均値4.3中央値5.0)、また、自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた(平均値4.8、中央値5.0)と答えていた。 学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当と考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目を通して養護教諭としての専門性を深め、学校現場において活躍できるような実践力を身につけることができるように授業構造を改善していきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	嶋村 美由紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
専門研究Ⅱ	4	通年	必修	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>専門研究Ⅱは、4年生で社会に出る前の最終学年であることから、卒後の職業人としての活動を意識しながら、ソーシャルワーク技術に関する内容を含めて行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の到達度自己評価において、平均値4.3だった項目は課題を検討する力、学びを深めたい意欲、必要となる技術を身につける、コミュニケーション力や表現力、職業倫理や行動規範についてだった。全体を通して達成できていると考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>最終年次の専門研究の位置づけとしては、4年間の学びを通じた知識と技術を統括しながら、事例について考え、援助計画を立てていく技術の修得を目指して設定している。内容的妥当性はあると考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の到達度自己評価において、知識の確認や修正、事象を理解する視点や考え方を得る、的確に判断する力を得る、職業選択の参考についての項目は少し平均値が低かった。この部分については、次回以降より機会を増やして行っていこうと考えている。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>漠然としているソーシャルワークの知識や技術をつなぎ、より職業意識を高めて将来につなげていくことができるように、課題を設定する機会をより多く設けて、事前事後の自己学習への動機づけができるようにしていきたいと思う。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助の基盤と専門職	1	通年	必修	いいえ	87

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験に関する科目である。特段、社会福祉専門職になるための基盤となる科目であり、本学科で非常に重要な科目であることから、動機付けを大切に講義している。第一回目の講義時に受講に関する詳細の説明をし、シラバスに則って講義を進めた。講義の最初には、新聞等から毎時間必ず時事に関する話題を提供し、それが社会福祉専門職としてどのように捉えたらよいかを考えさせる時間を設けた。予習復習の内容の説明、理解しておくべきキーワード、実践につなげがるように専門職団体の研修会案内等々も随時行った。リアクションペーパーに関しては、予習復習の時間の記入や、その方法、また本日の自己採点点数記入などを導入し、学習意欲の向上に努めるよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、全受講学生が合格領域に到達しており、標準的レベル以上に達成したものと考えられる。定期試験、確認テスト、リアクションペーパー、レポート、出欠状況を十分に踏まえた上で、最終的に判断した。また、遅刻や欠席がほとんどなく、定期試験の結果も理想的レベルに達している。リアクションペーパーからは、国家資格の受験資格を取得するためだけではなく、幅広く社会福祉専門職としての現状や考え方、障害福祉、精神保健福祉、貧困等々の多岐にわたる分野までの理解が深まった等の内容の記載もあった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性については、社会福祉士の国家資格を取得するための専門科目でもあり、講義に対してのモチベーションは非常に高いのが感じられた。また、社会福祉を学ぶための1年生で開講する基礎的科目であることから、福祉専門職に興味があるということで、非常に高い意欲を感じられた。学生も成績評価から、一定の到達領域に達しており、内容的には妥当であると思われる。DP、行動目標からみた見ての内容的妥当性については、成績評価から、知識・理解は一定程度できていると感じられる。以上のようなことから、内容的妥当性には、問題が無いと思われる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価の「コミュニケーション力や表現力を高めることができることができる」の平均点が低かった。必修科目であり、多くの人数が受講する座学であるがゆえ、なかなか困難かとは思いますが、可能な限り今以上に事例等の導入を検討したり、アクティブな活動を入れ込む等を検討していき、次年度の課題としたい。学術データベースの利用に関しても殆どなされていない現状であり、利用の仕方からのインフォメーションを行うことも検討としたい。学生の意見として、授業の課題以外に学習していない理由として、時間が無いという回答が複数あった。時間の作り方に関しても、指導を行いたい。毎時間、予習復習の具体的情報提供を行うことも続けていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得するために必要な科目ということ、福祉学科に入学して初めての福祉の専門科目ということで、非常にモチベーションの高さを感じられた。また、今から開講される、社会福祉士や精神保健福祉士の関連科目とのつながりを考えて教授を行った。次年度も、それらに引き継ぐような関連性を持ちながら講義を行いたいと考える。また、上記に示したように、よりリアリティを習得するために、事例を提供して検討を行ったが、さらなる検討方法の内容を吟味していく必要があると感じた。毎回福祉業界の時事に関する資料配布し、その説明を行い、福祉専門職としての理解を深められたと感じられる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助の理論と方法 I	2	通年	必修	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機をみると「必須科目である」が93.9%、「資格取得に必要である」31.8%、「単位数を確保する」4.5%、「友人が履修している」1.5%であった。本科目は、社会福祉士国家試験受験科目のひとつであり、社会福祉士等の実習とも関連する科目である。講義では、「ソーシャルワークについて学生の関心が高まるように、テキストだけでなく事例や時事問題を活用した。相談場面に関するビデオ教材も活用し、相談場面のイメージを抱くことができるようにした。また、講義内で確認問題を実施し、理解度を学生本人が確認できるようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された		達成された	
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「知識理解」の平均値が約28点(30点満点)であり、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均値3.9点であったことから「知識理解(DP1)」は、「達成された」と考えられる。また、成績が80点以上であった学生は、全体の約46%であった。また、再履修者は0名であった。これらのことから、全ての学生が標準レベル以上であると考えられ、教育目標は「達成された」と判断した。今後も、学生が取り組みやすく、関心が高まるような教材などの活用について検討していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP・カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性: 本科目は、カリキュラムマップにおいて福祉専門科目のひとつであり、社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格の必須科目であると同時に、卒業に関わる必須科目である。再履修者もなく、多くの学生が標準レベルに達していることから、内容的には妥当であると考えられる。</p> <p>②DPにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性: 全ての学生が標準レベルに達していたことからDPIにおける内容の妥当性に問題はないと考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」平均値3.9点、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「説明は理解しやすいものであった」「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の3項目の平均値は3.8点であった。しかし、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の平均値が3.6点と他の項目に比べ低かった。今後、講義内において学生が取り組むことが出来る課題を提示し、学生が主体的に授業に参加できるように工夫する。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>再履修者は0名であり、全ての学生が標準レベル以上に達したと考えられる。次年度の講義では、学生が主体的に授業に参加できるように工夫することが課題である。また、約7割の学生が予復習の時間を確保しておらず、図書館の利用については9割以上の学生が利用していなかった。予復習および図書館利用については、前年度と同様の課題であり、予復習として取り組むべき課題を具体的に提示していくことが必要である。</p>
-------------------------------	--

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助の理論と方法Ⅱ	3	通年	必修	いいえ	90

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については、「必修科目である」84.1%、「資格取得に必要である」40.2%、「関心のある内容である」2.4%、「単位数を確保する」3.7%であった。本科目は1年次の「相談援助の基盤と専門職」、2年次「相談援助の理論と方法Ⅰ」での学習内容の理解を前提とした科目であると同時に、「相談援助の理論と方法Ⅱ」では難度が高くなり、これまでにこの科目に関心があった学生でさえ学習意欲の低下、理解が困難になるなどのおそれが予想される科目である。ソーシャルワークを学ぶ上でなぜこのような内容の理解が必要であるのかということ、今学んでいることがソーシャルワーク実践にどのように位置づけられるかということ伝えることに努めた。また、そのための手法として、実践事例を用いた解説や視聴覚教材の活用、時事や身近な話題などと関連させた解説などを多く取り入れるように努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>前期試験の平均点77.9点、後期試験の平均点81点であった。学習到達度の自己評価においては、「知識・理解」(DP1)において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う18.3%、わりにそうだと思う57.3%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う19.5%、わりにそうだと思う45.1%)、「思考・判断」(DP2)においては、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う18.3%、わりにそうだと思う52.4%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う15.9%、わりにそうだと思う48.8%)、「関心・意欲」(DP3)においては「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う15.9%、わりにそうだと思う52.4%)であった。これらのことから、本科目における教育目標はある程度達成できたと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記載したように、試験の結果、学生の学習到達度自己評価から、DP1における本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。</p> <p>②CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は1年次「相談援助の基盤と専門職」および2年次「相談援助の理論と方法Ⅰ」での学習内容の理解を前提とした科目であると同時にこれら2科目と比較して難度が高くなるため、これら2科目での学習内容を振り返りつつ、他の関連科目での学習内容も取り入れつつ、総合的かつ包括的にソーシャルワークを実践するための視点と求められる知識を培うことを意識した授業内容と展開を心掛けた。相談援助に関わる関連科目での学びの統合が求められる科目という点から、適切な位置づけである。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均値3.5～3.8であり、おおむね高い評価を得たと考える。一方、1回30分程度以上の予習、復習を74.7%～75.9%の学生が一度も行っていないことは反省点である。学生が学びを深めたい意欲をもち、自発的学習につながるような授業の展開を工夫していきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の教育目標はある程度達成できたと考えるが、学生の学びを深める意欲を引き出し、主体的自発的に学ぼうとする態度の形成につながるよう、さらなる改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習 I	1	後期	必修		17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>入学し半年が過ぎ、基礎的な学習を経て来てはいるものの、社会事象を見聞きすることがこれまでとは随分と違って来ていると思われる。グループで、個人で調べる作業をさせたため「学習の準備」としてインターネットの活用を積極的に行っていたことが伺えた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「到達度」はいずれも高い評価であった。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「受講動機」は「必須科目である」が93.8%の評価であった。</p>
--	---------------------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>考えさせることを主眼においていた。「授業以外に具体的に取り組んだ学習」として紹介した書籍を読んだと意見を出している者がいたことは評価したい。情報の取り方は結論だけを得ることに積極的だが、インターネットの活用をうまく利用させるなど今後の指導課題と思う。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>達成状況の総括的評価としては達成されたと考える。</p>
------------------------------	---------------------------------

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	今村 浩司

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習 I	1	後期	必修	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>相談援助(ソーシャルワーク)の専門家として基礎的に必要とされるスキルについて、1年生が教員別グループに分かれ、参加型、体験型の演習プログラムを中心として行う講義である。毎回小テーマを設定して、そのテーマを習得できるように演習を通じて学ばせる。1年生として、相談援助の基本としての、対人接触サービス業を目指すものとしての、必要なものを習得できるよう工夫した。特に自分を表現し、人との関係性を作ることを目的として、とりわけロールプレイ的な要素を導入して、個人や集団になってかかわりを持たせるように工夫した。初回講義の時には、この講義で何をするかということ、15時間分毎にまとめ、ペーパーにして配布し説明した。ヒューマンサービス基礎演習と同様に、心構えと題してのペーパー(内容は休まない、協力する党の再確認)を配布して関心をもたせた。また、毎回、リアクションペーパーの記入で、自分が何をどんな風に学んだかを振り返る時間を設け、文章にて表現させた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>まずもって欠席が限りなくゼロに近いということで、学生の意識をしっかりと受け止めたと考えられる。また、リアクションペーパーの中でも、前期のヒューマンサービスと少し違うけど、楽しい講義の一つという内容のものが多かった。当然それだけではいけないので、毎回振り返りを教員と学生と一緒にやって、必要性を高めた。最終的には全員が学んだことをまとめることができ、理想的レベルまで達成できたものとする。講義時間内だけのものになった感じが見受けられるので、更なる工夫として、現実社会の中でのリアルな状況設定を取り入れることも検討したいと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみての内容的妥当性については、専門基礎科目でもあり、1年生の福祉、とりわけ対人接触サービスを行う専門職としての相談援助職を目指すものとしての導入的講義として、関係性の重要性を理解すること、そのことを体験として学習していくことを考えていけば、学生からの評価や、最終報告から見ても、内容としては十分に妥当と考えられる。DP、行動目標から見ての内容的妥当性に関しても、コミュニケーションスキルの重要性、協力するためのスキルの獲得もできていると感じることから、内容的には妥当であったと思われる。以上のことから、内容的妥当性に関しては問題ないと思われる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価について、「テスト、レポートの評価基準が明らかであった」の項目が、唯一中央地より低い点数であった。初回講義時にインフォメーションしているのだが、幾度か評価についての確認を講義途中で入れていくということをしていきたいと思う。また、「授業の課題以外に学習していない理由」で、「何をすればよいかわからなかった」という回答が複数あった。具体的に社会の中での状況を話して行き、リアルに伝わるようにして、講義以外の時間でも振り返ることができるような意識付けを引き続きしていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>繰り返しになるが、大学に入って1年目に開講する、ヒューマンサービス基礎演習と同様に、相談援助職を目指していくものとしての理解と能力を高めるための、非常に重要な講義だと思う。本講においては、学生からの自己評価やリアクションペーパーや、最終講義のときに個別報告によって、その達成は理想的レベルであると考えられる。講義内容もシラバス通りに進化した。次年度も同様な内容で進めていこうと考えるが、時代と共に求められる相談援助の力量も変遷をしていくと考えられるので、時代をキャッチした内容の講義を展開していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	山本 佳代子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習 I	1	後期	必修	はい	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、1年生の必修科目であり、社会福祉士としての必要な価値や視点、態度等を理解するとともに、社会や地域で起きているさまざまな福祉的課題の実情や背景、当事者について理解することをねらいとする。これらの課題について、DVD教材を通し現場の実際を知ることや、新聞記事から身近に起こっている話題を題材としたワークを取り入れ、より実践的に一人ひとりがそれらの課題について考えられるよう組み立てた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価を見ると、「知識理解」(DP1)は、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」において、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」が73.3%で目標をやや達成したと考える。「意欲関心」(DP3)は、「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」において、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」が73.3%で目標をやや達成したと考える。「態度」(DP4)は、到達度自己評価のすべての項目において、中央値が4.0以上であることから、目標をやや達成したと考える。「技能表現」(DP5)は、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」において、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」が66.6%、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」において、「わりにそうだと思う」、「かなりそうだと思う」が80%であることから目標を達成したと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価の中央値から、内容的には妥当であると考えている。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>図書館、インターネットの利用について、学生自身が取り組みやすいよう、今年度は図書館ガイダンスも実施した。その影響かは明らかではないが、昨年より図書館の図書、雑誌、インターネットの利用者が増加している。次年度以降も継続して図書館ガイダンスを取り入れていきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>到達度自己評価において、平均値が高い項目で多くの学生が身につけることができたと感じていても、「少しそうでないと思う」と回答している学生もいた。どのような点が達成できず、そう判断したのかを知る手がかりを得るためにも、毎回の授業でふりかえりを実施していくことを今後の課題とする。</p>
-------------------------------	--

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅰ	1	後期	必修	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は1年次の必修科目であるが、社会福祉士指定科目でもあり、3年次の「相談援助実習」に向けた最も基礎的な知識・援助技術を学ぶ演習科目である。初年次の学習のため、社会福祉や社会福祉士の仕事への関心を高めることと、社会福祉にかかわる課題や課題を抱える人々に向き合う際の姿勢や考え方を身に付けることを目標に授業を展開した。学生の受講動機を見ると、「必修科目である」が100%、「関心のある内容である」が0%であり、社会福祉を学ぶモチベーションの低さがうかがえる。このことから社会福祉や社会福祉士の仕事への学生の関心を高めるため、できるだけ社会福祉実践に携わっている人の話や社会福祉現場に直接触れる機会を設けることにしている。 前年度には、社会福祉への関心を高めるため、より実践的な内容を取り入れたり、学生が身近に感じられるようなタイムリーな話題を取り入れたりしながら授業を展開していくことを改善計画としてあげた。そこで今年度は地域における子ども家庭支援をテーマに、子ども食堂の実践者を講師に招き、また子ども食堂での現場体験を取り入れ、福祉的な関心を高めることを試みた。
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績の平均値は81.6点、中央値81点であった。最低点67点、最高点95点と点数の開きが大きかったものの、目標は概ね達成されたと考える。学生の学習到達度の自己評価をみると、目標の1つである福祉的関心を高めるという点については、DP3に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値3.9、中央値4.0であり、目標はおおむね達成されたと考える。基礎的な援助技術を身に付けるという点では、DP5に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値3.9、中央値4.0、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値4.1、中央値4.0と高く、グループワークやコミュニケーションの演習の効果があったことがうかがえた。また「職業選択の参考になった」の平均値3.9、中央値4.0となっており、社会福祉士の仕事への関心を高めることもおおむね達成されたと考える。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は社会福祉士の指定科目であると同時に社会福祉の基礎を学ぶ専門科目として位置付けられている。4.にも記したように社会福祉・社会福祉士への関心を高め、社会福祉に関する基礎的な知識や考え方を身につけるという目標をある程度達成できたという点で内容的に妥当であったと考えられる。 ②DP、行動目標からみた内容的妥当性 4.に記したように内容的妥当性には問題がなかったと考えられる。
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価では、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」と「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」について、「全くそうでないと思う」と回答した学生が1名いた。今後は全員に課題や評価基準が周知できるよう努めていきたい。また自由記述には、教員によって内容が違いすぎるとの意見があった。全教員が共通のテーマ設定のもとで演習を行っているが、個別の内容については教員の裁量に任せられている。このことについて学生に周知するとともに、他の教員の演習内容についても情報収集を行い、改善を図っていきたい。</p> <p>学習量の評価をしてみると、2、3回の予習をした学生は13%、4、5回の予習をした学生は6%、6回の予習をした学生は20%、2、3回の復習をした学生は13%、6回の復習をした学生は20%にとどまった。また「図書館の図書、雑誌を利用した」学生は26%、「インターネットのホームページを検索し、利用した」学生は47%であり、さらに自己学習をうながす努力が必要である。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は社会福祉士の指定科目であると同時に社会福祉の基礎を学ぶ専門科目として位置づけられている。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価より、概ね授業の目標は達成されたと考える。受講動機に記したように、初学者に対する社会福祉への関心を高める取組みは今後も重要であると考え。より実践的な内容を取り入れたり、学生が身近に感じられるようなタイムリーな話題を取り入れたりしながら授業を展開し、そのことが自己学習につながるよう努めていきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	嶋村 美由紀

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習 I	1	後期	必修	いいえ	17

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機は、必修科目にも関わらず「必修科目である」が16/17人である。また「資格取得に必要」が3/17人となっている。②主体的参加を求める演習科目という意識づけをオリエンテーションでの目的として、演習の進め方や目的、到達目標について具体的に示した。③授業の実施については、できる限り毎コマにグループワークを設定して、話し合いや具体的場面を設定してのロールプレイなどを導入した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績評価については、平均85.7点と高めだった。最低点74点、最高点95点である。授業への参加状況は欠席した学生で3回、半数以上はすべて出席という状況であり比較的積極的な参加ができていた。提出物も、全員が満たしている。発表の評価も全員が標準に達していて、6名が理想的レベルに達していた。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>相談援助演習の入口としての位置づけである。対人援助にかかわる援助技術の理解と必要性について、社会福祉士の活動の場や職域の理解、面接技術の理解についての内容を含んでいる。内容的妥当性があると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価の中で、自分の意見をまとめる話し合う、発表するなどの機会、学生の質問を受け付け答える機会の項目が4. 5、4. 4と高い評価だった。こちらの教育目標が学生へも伝わり、機会を設けて主体的参加を促すことができていることだと評価している。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>図書館の利用、課題以外の学習への取り組みを行った学生がほとんどいなかった。インターネットの検索を利用した学生は7人いた。もっと授業外での学習を促したり、勉強方法の具体的提示を行うことで、より継続して勉強することへの動機づけができるのではないかと思う。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択		24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>事例集を読ませ行間に隠れる当事者の思いや援助者の考え方についてを学生一人ひとりに想像させる形式を用いた。「受講動機」は「必修科目」であるからが70.0%、「資格取得に必要」と答えた者が60.0%であった。医療の事例であったことで関心が薄かったのか自分の進む方向性が違うと判断したものなのかかわからないが、「分からないことを、直接質問ができた」とコメントをする学生がいた積極性は評価できると思われる。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	学習到達度はいずれも高い値を示していた。					
<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>DP達成度はいずれも3.5以上の高い評価で、学習の成果だと判断する。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に  
お示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し  
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン  
ターネット利用」学生の意見など

レポートの評価について「基準が明らかでない」とする者がいた。今後は学生の納得の行く基準としたい。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

一応の成果はみられたと判断する。実習や将来の就職に役立ててもらいたい。

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目(2年次対象・選択)の1つであり、相談援助演習Ⅳ(3年次前期)及び相談援助演習Ⅴ(3年次後期)と連動し、5人の教員がオムニバス形式で担当している。主な教授内容は各担当教員の専門領域(障害福祉、高齢福祉、児童福祉、医療福祉、地域福祉)における事例を活用し、支援内容の検討やグループディスカッション、ロールプレイ等を行っている。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「資格取得に必要である」(50.0%)や「必修科目である」(55.5%)が見られ、学生の約半数が社会福祉士取得を意識した受講であることがうかがえる。一方で「関心のある内容である」(10.0%)と低い状況であり、授業内容や展開等を工夫し、学生の関心・意欲を高める必要があると考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p> <p>全体の成績は平均77.7点であり、この点では教育目標を達成したと言える。各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う40.0%、かなりそうだと思う60.0%)であり、達成したと言える。思考判断(DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う45.0%、かなりそうだと思う45.0%)であり、達成できたと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う45.0%)であり、達成できたと言える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う30.0%)であり、ある程度達成できたと言える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要とする技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う55.0%、かなりそうだと思う35.0%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(わりにそうだと思う30.0%、かなりそうだと思う40.0%)となり、これもある程度達成できたと言える。</p> <p>以上の他、授業評価アンケートにおける学生の自発的学習や図書館利用の状況からは、今後、学生の関心・意欲を高め、主体的学習態度を引き出す必要があると考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 全体の成績(平均77.7点)や授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価の結果からも、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は相談援助の専門的視点や態度、知識・技術を実践的に修得するものである。これらの学びは3年次開講の相談援助実習の展開において不可欠であり、本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>上記で述べたように、学生の自発的学習や図書館利用の状況から、学生の主体的学習態度を十分に引き出せていない現状が明らかとなった。具体的には授業評価アンケートにおける「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」との問いでは「していない」(90.0%)が見られた。また「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用した」との問いについては「利用しなかった」(90.0%)が見られた。学生の関心・興味を引き出す授業展開について、さらに各教員の教授内容や方法の現状を見直し・改善する必要があると考える。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>既述の通り、全体成績という点では本科目の教育目標はある程度達成されたと考える。しかし一方で、学生の到達度自己評価の結果からは各DP項目の達成について課題があると言える。本科目は教員5名によるオムニバス形式の授業形態となっており、教員間の連携が特に重要になる。今後も授業内容や展開方法等について教員間で共有しながら、より教育効果の高い授業を目指したい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	はい	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>演習科目であることから、学生が事前に提示した課題について調べてプログラムを作り、他の参加学生と当該課題について意見交換等を通して理解を深めることを重点に授業を考えた。二年生であることからプログラム内容については十分とは評価できないが、学生が能動的に学習する機会にしたいと考えた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	2年次開講科目でありやや不十分な側面は否めないが、今後の学習の進行で補完されていくものと考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容については妥当であると考えている。</p>
--	----------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>上述したが、能動的学習として一定の成果はあったと考えられるが、さらなる深化を期待したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>2年次後期の科目として、不十分ながら次への準備になっていると考えられる。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は2年次の社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみてみると、「必修科目である」が63.6%、「資格取得に必要である」が59.1%、「関心のある内容である」は0.0%であり、資格取得のための履修であることがうかがえる。本科目では、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を活用し、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。演習ではできるだけ多くの事例を用い、「相談援助実習」で実践的に用いられる社会福祉の視点や職業倫理、援助技術を習得できるような内容となるよう工夫した。また相談援助の実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを通して課題解決を導く演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次回の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は、82.3点で、86%の学生が8割以上の成績を修めていた。また学生の学習到達度の自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」の平均値が3.9であった。これらの点から概ね目標は達成されたと考える。DP1にかかわる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値はそれぞれ、4.4、4.1であった。DP2にかかわる「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」の平均値はいずれも4.3、DP3にかかわる「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値4.1であった。DP4にかかわる「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値4.3、DP5にかかわる「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」の平均値4.4であった。これらの結果より、概ね目標は達成されたと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本演習は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置づけられている。4.に記したように、専門的知識の習得、課題解決能力、判断力、学びへの意欲、コミュニケーション力に関して、学生が十分な自己評価を得られているため、内容的妥当性には問題がなかったと考える。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 上記同様、内容的に妥当であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価では、「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」と回答した学生はおらず、平均値4.2-4.6点であった。特に「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は平均値4.6と高かった。学習量の評価をみると、2、3回以上の予習をした学生は7割を超えており、課題等により予習を促すことができたと考えられる。一方2、3回以上の復習をした学生は3割以下にとどまり、さらに自発的学習をうながしていく必要がある。また図書館利用については、少数にとどまった。文献等の利用をうながす工夫が必要である。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価により、概ね授業の目標は達成されたと考える。今後は文献利用等の自発的学習をさらにうながしていく取組みが必要である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅲ	2	後期	選択	いいえ	25

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必須科目である」40.9%、「資格取得に必要である」72.7%、「単位数を確保する」9.1%、「友人が履修している」4.5%であった。本科目は、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得を目指している。具体的なイメージを抱くことが出来るように、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を活用し、グループワークも実施した。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	やや達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>達成度自己評価では、全ての項目において平均値が4点以上であった。特に、本科目における学生が到達すべき行動目標と関連する「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は、平均値が4.0点以上であった。また、平均点は、76.1点であり、約8割の学生が70点以上であった。再履修者は1名であった。これらのことから、多くの学生が標準レベル以上に達していることから、教育目標はやや達成されたと判断した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP・カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、カリキュラムマップにおける専門教育科目である。全ての学生が標準レベル以上に達したことから内容は妥当であると考えられる。</p> <p>②DP1における本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、社会福祉士受験資格取得のための必須科目であるとともに、ヒューマンサービス専門家に必要な知識(DP1)、思考判断(DP2)、意欲関心(DP3)、態度(DP4)、技能表現(DP5)を習得する科目である。学生の目標達成状況からDP1における内容は妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価については、全ての項目の平均点が4.1点以上であった。特に、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は、平均値4.6点、「説明は理解しやすいものであった」平均値4.3点であった。本年度は、インターネットからの情報だけでなく、図書や雑誌などを学生が活用できるような課題を提供したが、利用した学生は約4割であった。次年度も図書や雑誌などを学生が活用し、学生が積極的に学ぶことができるような課題を検討、実施する。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>1名の再履修者があったが、多くの学生が標準レベル以上に達したと判断される。授業の質評価の全ての項目において平均値が4.0点以上であったことから、本年度の内容を継続して実施し、さらに、学生の習得状況に応じた課題を提示していくことが課題である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習 V	3	後期	選択		30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>後期実習を挟み実践場面を経験したところから援助の視点が拡がりを感じられるが、更に気づき足りない点を構造化できればと演習を進めた。受講動機で「必修」だからとするものは60.7%であったが、「資格取得に必要」と答えた者が67.9%と学生が実習などでの経験を通して援助の必要性に気づいてくれているものと「学習準備」にも図書館の利用やインターネットの活用などに多くの回答をしていることで伺うことができた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」に高い評価が得られた。また、図書館利用においても評価は少なかったものの自主的な取り組み姿勢が伺えた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>「到達度自己評価」「授業の質評価」いずれにおいても高い評価であった。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「図書館、インターネット利用」をする学生が少ないものの、僅かでも自主的な取り組み姿勢は評価できると考える。調べることも含め、課題の提出など事前学習、事後学習に結び付ける改善を行ってきたい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>総じて達成されたと考える。今後においては、一人ひとりからの疑問や質問について何らかの形で関わりを持ちたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅴ	3	後期	選択	いいえ	30

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目(3年次対象・選択)の1つであり、相談援助演習Ⅲ(2年後期)及び相談援助演習Ⅳ(3年前期)と連動し、5人の教員がオムニバス形式で担当している。主な教授内容は各担当教員の専門領域(障害福祉、高齢福祉、児童福祉、医療福祉、地域福祉)における事例を活用し、支援内容の検討やグループディスカッション、ロールプレイ等を行っている。</p> <p>授業評価アンケートにおける学生の受講動機では、「資格取得に必要である」(76.9%)や「必修科目である」(53.8%)が見られ、相談援助演習Ⅲと同様に、社会福祉士取得を意識した受講がうかがえる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない	やや達成された	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成された	やや達成されなかった
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>全体の成績は平均78.9点であり、この点では教育目標をやや達成したと言える。各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う57.7%、かなりそうだと思う23.1%)であり、ある程度達成できたと言える。「思考判断」(DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う19.2%)であり、ある程度達成できたと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う38.5%、かなりそうだと思う30.8%)であり、やや達成されなかったと言える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う34.6%、かなりそうだと思う26.9%)であり、あまり達成できなかったと考える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う61.5%、かなりそうだと思う19.2%)、また、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は「わりにそうだと思う」(53.8%)、かなりそうだと思う(19.2%)となり、ある程度達成できたと考える。</p> <p>以上の他、授業評価アンケートにおける学生の自発的学習や図書館利用の状況から、今後は学生の関心・意欲を高め、主体的学習態度を引き出す必要があると考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 全体の成績は平均78.9点であった。授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、「関心意欲」(DP3)と「態度」(DP4)において「やや達成できなかった」が見られたものの、その他のDPは「ある程度達成された」となっており、DP上の位置づけに問題は無いと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は相談援助の専門的視点や態度、知識・技術を実践的に修得するものである。これらは当該学年で履修する相談援助実習の展開において不可欠となるものであり、本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題は無いと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業評価アンケートにおける「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」との問いでは、「していない」(80.8%)が見られた。また、「この授業では、図書館の図書、雑誌を利用した」との問いについては、「利用しなかった」(96.2%)が見られ、本科目において学生の主体的学習態度を十分に引き出せていない現状が明らかとなった。引き続き学生の関心・興味を引き出す授業展開を検討する必要があると考える。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目における教育目標の達成という点では課題があると考え。本科目は教員5名によるオムニバス形式の授業形態となっており、教員間の連携が特に重要になる。今後も授業内容や展開方法等について教員間で共有しながら、より教育効果の高い授業を目指したい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅴ	3	後期	選択	はい	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>3年後期科目であり、前半グループと後半グループで課題内容が異なることもあり一概に評価できないが、学生の能動的な学習準備・参加のあり方としては一定の成果があったと考えられる。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生のプログラム準備状況や、授業参加度からみて一定の成果があったと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>内容としては妥当であると考えられる。</p>
--	---------------------------

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に  
お示しください。  
また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し  
ください。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン  
ターネット利用」学生の意見など

授業の進め方として、現行の方法が有効と考えている。

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。

3年次後期科目であることから、相談援助実習の経験等も生かされた演習になっており、一定の成果があったと考えている。

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅴ	3	後期	選択	いいえ	29

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は3年次の社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目である。学生の受講動機をみてみると、「必修科目である」が65.4%、「資格取得に必要である」が69.2%、「関心のある内容である」が7.7%であり、資格取得のための履修であることがうかがえる。本演習は相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴと連続しており、学生にとって演習Ⅴは最後の相談援助演習となるため、これまで演習・実習で学んできた援助技術を総括できるよう、地域を基盤として、複数の課題を解決することが求められるような事例を用い、ソーシャルワークの理論と実践を統合化できるような内容になるよう努めた。また相談援助の実践ではチームアプローチが基本となるため、できるだけグループワークを通して課題解決を導く演習となるよう工夫した。毎時間ごとにはふり返りの時間を設け、学生のコメントに対してフィードバックを行ったり、次の演習の冒頭で紹介しながら、専門的視点への理解を深めたり、共有したりできる機会を設けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	達成された	達成された	やや達成された	達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は80.3点、中央値は80点であった。学生の学習到達度の自己評価をみると、「自分なりの目標を達成した」の平均値が3.7、中央値4.0であった。これらの点から概ね目標は達成されたと考える。知識理解、思考判断、意欲関心、態度、技能表現の各項目については、全て平均値3.9-4.2、中央値4.0と高かった。これらの結果より、概ね目標は達成されたと考える。ただ「職業選択の参考になった」との回答は平均値3.7、中央値4.0となっており、「少しそうでないと思う」と答えた学生が1名いた。地域におけるメソレベルでのソーシャルワークの展開は、ミクロレベルの個別援助と比較して、学生には馴染みづらい点もあることから、よりメソレベルでのソーシャルワークの展開の視点と、そこで働くソーシャルワーカーを具体的にイメージ化できるよう工夫していく必要がある。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本演習は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目として位置付けられている。4.に記したように、専門的知識の習得、課題解決能力、判断力、学びへの意欲、コミュニケーション力に関して、学生が十分な自己評価を得られているため、内容的妥当性には問題がなかったと考える。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 上記同様、内容的に妥当であったと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価では、平均値3.9-4.5であり、中央値は4.0-5.0であった。ただ「説明は理解しやすいものであった」の項目に対して、1名が「少しそうでないと思う」と回答していた。よりわかりやすい説明を心がける必要がある。学習量の評価をみると、2、3回の予習をした学生は46%、4、5回の予習をした学生は15%、6回の予習をした学生は8%であり、課題等により予習を促すことができたと考ええる。一方2、3回の復習をした学生は23%にとどまり、自発的学習を行った学生は1人であった。さらに復習や自発的学習をうながしていく必要がある。また「図書館の図書、雑誌を利用した」学生は42%、「学術データベースを利用した」学生は35%、「インターネットを利用した」学生は42%であった。課題への取組みが図書館利用等につながったと考えられる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は「相談援助実習」と連動して行われる相談援助の知識・援助技術を学ぶ演習科目であり、「社会福祉実践の展開」の科目である。4. に記した学習達成度の自己評価、6. に記した授業の質評価により、概ね授業の目標は達成されたと考える。今後は地域におけるメゾレベルでのソーシャルワークの展開をよりわかりやすく提示していく必要がある。また自発的学習をさらにながしていく取組みが必要である。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助演習Ⅴ	3	後期	選択	いいえ	32

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必須科目である」65.5%、「資格取得に必要な」72.4%、「単位数を確保する」6.9%、「GPAをあげる」3.4%であった。本科目は、本科目は、相談援助の展開とそこで活用される専門的な知識・技術の習得を目指している。具体的なイメージを抱くことが出来るように、福祉的課題を抱えた人々への相談援助の事例を活用し、グループワークも実施した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>平均点は、77.5点であった。80点以上が50%、70点以上が37.5%であった。再履修者は0名であった。また、到達度自己評価では、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」平均値4.0点、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」平均値3.8点であった。全ての学生が標準レベル以上であったと考えられる。これらのことから、学生の目標達成状況は「達成された」と判断した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP・カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、カリキュラムマップにおける専門教育科目である。全ての学生が標準レベル以上に達したことから内容は妥当であると考えられる。</p> <p>②DPにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、社会福祉士受験資格取得のための必須科目であるとともに、ヒューマンサービス専門家に必要な知識(DP1)、思考判断(DP2)、意欲関心(DP3)、態度(DP4)、技能表現(DP5)を習得する科目である。学生の目標達成状況からDPにおける内容は妥当であると考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価については、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」平均値4.2点、「説明は分かりやすいものであった」平均値3.9点、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会がつけられていた」平均値3.8点であった。「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」の平均値は、3.6点であった。また、予習をした学生は約4割であり、復習を行った学生は約2割であった。次年度は、評価基準について説明をするとともに、図書や雑誌などを学生が活用し、学生が積極的に学ぶことができるような課題を提示することが必要である。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>再履修者は0名であり、全ての学生が標準レベル以上であったと考えられる。本年度は、到達度自己評価において、「自分なりの目標を達成した」「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」の平均値が他の項目と比べ低かったことから、職業倫理や行動規範についての課題の検討を行うことが必要である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導 I	2	通年	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>実習の領域を選択して受講しているため「必修科目」「資格取得」の回答者が共に6.3であった。実習先やそこで行われることの具体的なイメージが掴めていないため、ビデオ視聴や現場でのことを多く話し、何をするのかを理解できるようにした。「学習の範囲や課題は明らかであった」が4.1と最も高かった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」が4.2と最も高く良かったと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機については「必須科目」「資格取得に必要」がともに63.6。到達度自己評価も達していると判断する。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「授業の質評価」については講義中心であったために低い評価であったことは反省点である。図書館利用について数名の自主的な学習を行っている者もいたことは主体的な取り組みをしていると評価できる。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>実習先についてのイメージが出来ないことを思うあまりに自主的な取り組みをさせることが無かったと反省する。今後は、個人若しくはグループで自主的な取り組みをさせるようにしたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導 I	2	通年	選択	いいえ	20

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目(2年次対象・通年)の1つであり、相談援助実習(3年次)の実施に向けた準備学習として位置づけられる。学生自身も本科目のこうした位置づけを認識していると思われ、授業評価アンケートの受講動機は「資格取得に必要である」(68.8%)とやや高い割合となっている。本科目では高齢者福祉領域及び地域福祉領域を担当した。既述の通り、本科目が実習に向けた準備学習であることから実習領域・施設、利用者理解が深まる教授内容とした。また、授業の展開ではグループワークを多く使い、学生間の相互交流により実習への動機が高まるよう意識した。さらに、視覚教材の活用や見学実習を行うことで、実習のイメージを具体化できるよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>担当した高齢者・地域福祉領域(20名)の成績は平均81.3点であった。各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う44.4%、かなりそうだと思う33.3%)であり、ある程度達成したと言える。「思考判断」(DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う27.8%)となっており、ある程度達成できたと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う50.0%、かなりそうだと思う27.8%)であり、ある程度達成できたと言える。「態度」(DP4)については「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う55.6%、かなりそうだと思う22.2%)となっており、ある程度達成できたと言える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う44.4%、かなりそうだと思う33.3%)、また、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は「わりにそうだと思う」(55.6%)、「かなりそうだと思う」(33.3%)となっていることからある程度達成できたと言える。</p> <p>以上、全体の成績評価が高く、また全てのDP項目において「やや達成された」となっていることから、総じて本科目の教育目標はある程度達成されたと考えられる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、すべてのDP項目において「やや達成された」となっており、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は3年次に実施する相談援助実習の準備学習として、実習に必要な知識・技術や態度を修得するものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>昨年度と比べて教育目標はある程度達成できたと思う。今後も学生個々の理解度や学習の進捗状況の把握を十分に行い、授業を展開していきたい。また、学生が図書館を積極的に利用するなど、主体的な学習態度の涵養と言う点では昨年度同様に課題が残ったと思う。学生の学習意欲を高め、実習への動機が高まるよう取り組みたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>記述の通り、本科目における教育目標はある程度達成された。本科目は実習への準備・事前学習としての位置づけにあり、実習への動機や実習態度に直接関わってくる。今後も引き続き学生個々の状況を踏まえながら授業改善に取り組みたい。</p>
------------------------------	--

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導 I	2	通年	選択	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、3年次の「相談援助実習」に向けた準備学習を行う科目として位置づけられる。授業は、2年次までに修得した相談援助にかかわる基礎的な知識・技術を障害者領域に特化して再度復習、整理し直し、加えて社会福祉士を目指すモチベーションを確認して、実習に向けた自己の準備性や対人援助職への適性を確認していくことを目標にして展開した。受講動機を見てみると、「資格取得に必要である」との回答が72.7%を占め、「関心のある内容である」との回答は0.0%であった。必ずしも社会福祉士取得に意欲の高い学生のみが受講している訳ではないことを踏まえ、将来の進路を見定めていくことも目標に加えて、できるだけ実習やソーシャルワーカーの仕事イメージ化できるように指導内容に反映させていくよう努めた。</p> <p>前年度には、実習に必要な技術の習得とその応用力を高めていくような演習内容をさらに授業に加えていくという改善計画を立てた。そこで今年度は見学実習での体験を意味づけ、技術の定着と応用力を高められることを目指し、見学実習後にふりかえりの時間を設定して、学びを整理し、プレゼンテーションを行う機会を設けた。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>成績の平均値は79.1点、中央値80点で標準的レベルに達したが、最低値60点、最高値90点と成績の開きが大きかった。この結果は、3. に記した資格取得のモチベーションの有無や、また2年次までに修得した知識をアウトプットできる力があるかに関わっていると考えられる。</p> <p>学生の学習達成度の自己評価においては、DP5に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の平均値が3.6、中央値が3.0と低かったが、DP1に関わる「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均値4.1、中央値4.0と高かった。知識理解においては目標が達成されていたと考えられるため、次年度はより実習に必要な技術の習得に力を入れていきたい。またDP4に関わる「職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)」について学ぶことができた」も平均値3.6、中央値3.0と低かった。実習に向けては職業倫理や行動規範は非常に重要な課題となるため、次年度は演習課題等でこれらの内容を加えていきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみた内容的妥当性 本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」という社会福祉実践の展開につながる科目として位置づけられている。学生の資格取得へのモチベーションに課題はあるものの、「職業選択の参考になった」の平均値3.7、中央値4.0という評価をみると、本科目を通して学生が進路を定めていくことに貢献できた点で内容的妥当性はあったと考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみた内容的妥当性 4. に記したように実践に必要な技術の獲得や職業倫理の習得には課題が残った。これについて、次年度は技術演習などをさらに取り入れることでこの課題に取り組んでいきたい。18</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価において、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」の項目については、平均値4.0-4.2と高かった。</p> <p>学習量の評価を見てみると、授業に参加するために準備をした学生は2, 3回が63%、4, 5回は18%であり、授業を振り返るために復習をした学生は、2, 3回が55%であり、復習試験などを行ったことが自己学習につながったと考えられる。また図書館利用では、「図書、雑誌を利用した」学生は64%、「インターネットのホームページを検索し、利用した」学生は55%と比較的高い利用率であり、課題への取組みとして利用していたことが考えられた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」という社会福祉実践の展開につなぐ科目として位置付けられている。本科目を通して「職業選択の参考になった」の評価から、学生が進路を定めていくことに貢献できたと考える。学生の実習への準備性については、基礎的な知識・技術を障害者領域に特化して再度復習、整理し直すという点では、DP11に関わって「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の項目で評価は高かった。しかしDP4に関わる「職業倫理や行動規範(守るべきルールなど)について学ぶことができた」、DP5に関わる「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」の項目での評価が低かったため、次年度は実習に必要な技術の習得と職業倫理を確認できる演習内容をさらに授業に加えていくことを課題としたい。</p>
------------------------------	--

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導 I	2	通年	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目の一つであり、「相談援助実習(3年次)」の実施に向けた準備段階として位置づけられる。児童福祉領域を担当し、実習領域で求められる知識・技術を高めると同時に、実習に向けての動機づけが高まるよう、現時点で取り組むべき課題を明確化するためのグループワーク、その課題に主体的に取り組むためのグループ学習に重点をおいて授業を展開した。見学実習においては、例年2時間程度の見学のみ行う形態で実施してきたが、今年度は現場にて4～5時間活動することを通して、対象者との関わりから学び、自己の課題を振り返る機会を得ることができたと考える。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>各DP項目の達成状況について、学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う46.7%、わりにそうだと思う33.3%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う40%、わりにそうだと思う33.3%)、「思考判断」(DP2)については「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う46.7%、わりにそうだと思う26.7%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う40%、わりにそうだと思う33.3%)、「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う40%、わりにそうだと思う33.3%)であり、目標を達成したといえる。一方で、「態度」(DP4)については「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う46.7%、わりにそうだと思う13.3%)、「技能表現」(DP5)については「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(かなりそうだと思う33.3%、わりにそうだと思う33.3%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う26.7%、わりにそうだと思う46.7%)であり、一定程度には達成されたと評価した。</p> <p>また、図書、雑誌や学術データベースなど図書館利用の状況においては、「いずれも利用した」が33.3%にとどまっており、「学びを深めたいと意欲をもつことができた」と回答している一方で実際の学生の行動に結びついてはいないことが伺えることから、教育目標の達成は十分ではないと考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記述したように、十分とはいえないものの一定程度の達成状況にあると考えることができ、本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える</p> <p>②CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は3年次の「相談援助実習」の実施に向けて展開される科目であり、実習に向けた具体的準備、実習に向けての動機づけを行い、準備学習を深めていくものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均値4.1となっており、比較的高い評価が得られた。本科目においては学生が主体的に学ぶ姿勢が問われるが、授業に参加するための準備を行わなかったものが40%、復習を行わなかったものが53.3%、自発的学習に取り組まなかったものが93%となっており、明確な課題に対しては十分に取組むことができるが、主体的に学びに向かう態度を十分に引き出すことができていない状況であることが明確になった。昨年度も同様の課題があり、主体的な学びへの動機づけを高めるよう工夫したが、回答結果では成果が得られなかったことから、引き続き学生の主体的かつ積極的学習を進めるような姿勢を養うことに取り組んでいきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目における教育目標はある程度達成できたと考えるが、主体的学習態度の形成においてさらなる改善、工夫が必要であるとする。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択		14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必修科目である」が44.4%、「資格取得に必要である」が63.6%であったが、医療における社会的な問題に困る人々の生活課題を解決調整する意味について感じ、考えることを学生らに求めたことから、実習での経験で随分と成長したと評価できる。</p> <p>①医療機関での実習に必要と思われる知識と技術について参考資料の提示と講義を行った。 ②配属については、前・後期それぞれ2週間のストレスを考え、実家若しくは一人暮らしの場所からの通いを配慮した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された		達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>①「到達度自己評価」「授業の質評価」の項目は、平均値が3.6以上であり教育目標は達成されたと考える。「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」の平均値が4.0以上を得ている点は学生自らの成長から伺える。</p> <p>②図書館の利用が少なく、インターネットの利用は高い傾向にあるが、主体的に調べる取り組みは評価できる。</p> <p>配属先の情報については、学生各自で過去の先輩らが同じ施設で実習した時の資料を参考にしたり、インターネットなどを活用し調べさせるように指導した。</p>					
* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。						
<授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>実習先としての医療機関は、他の領域と同じ扱いではあるが、生命を扱う場としての特殊性があると説明し、受験資格を得る為の実習では、他職種の実習生と比較され注意、指摘を受けると注意を喚起し緊張感と積極性持つよう指導した。そのことが「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.2と高く「到達度自己評価」に表れDPは達成できたと考える。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、イン ターネット利用」学生の意見など</p>	<p>実習先としての医療機関は、他の領域と同じ扱いではあるが、生命を扱う場としての特殊性があると説明し、受験資格を得る為の実習では、他職種の実習生と比較され注意、指摘を受けると注意を喚起し緊張感と積極性持つよう指導した。そのことが「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」が4.1と高く「到達度自己評価」に表れDPは達成できたと考える。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>反省点も多いと思うが、学外での環境において実習の経験を行い社会の現状を感じながら学べたことで学生の成長を見ることができ総括として達成できたものと評価する。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	荒木 剛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目(3年次・通年)の1つであり、相談援助実習(3年次)の事前及び事後指導を行うものである。高齢者福祉領域及び地域福祉領域を担当し、実習前指導では実習関連書類の作成指導や実習現場で必要となる知識・技術の教授を通じて実習への動機を高めた。実習後指導では個別面談やケース検討会、実習報告会を通して実習で得た学びや気づきを深めさせた。また、実習期間中は巡回訪問を行い、個別指導及び実習指導者への面談を通して、実習状況の確認を行った。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	どちらともいえない	やや達成された	やや達成されなかった	やや達成されなかった	やや達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>担当した高齢者・地域福祉領域(26名)の成績は平均84.0点であった。各DP項目の達成状況について授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)は「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(わりにそうだと思う0.8%、かなりそうだと思う69.2%)となっており、ある程度達成したと言える。「思考判断」(DP2)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において的確に判断する力を得ることができた」(わりにそうだと思う46.1%、かなりそうだと思う23.1%)となっており、やや達成できなかったと言える。「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野において、学びを深めたいと意欲を持つことができた」(わりにそうだと思う23.1%、かなりそうだと思う46.2%)であり、やや達成できなかったと言える。「態度」(DP4)については、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(わりにそうだと思う38.5%、かなりそうだと思う38.5%)となっており、ある程度達成したと言える。「技能表現」(DP5)については、「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(わりにそうだと思う30.8%、かなりそうだと思う38.5%)であり、また、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」は「わりにそうだと思う」(38.5%)、「かなりそうだと思う」(38.5%)となっていることからある程度達成できたと言える。</p> <p>以上、本科目の教育目標の達成について各DP項目の結果が割れていることから、全体的な教育目標の達成は「どちらともいえない」と考える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP上の位置づけ 全体の成績は平均84.0点であった。授業評価アンケートにおける学生の到達度自己評価では、DP項目の達成は全体として「どちらともいえない」となったが、本科目のDP上の位置づけに問題はないと考える。</p> <p>②CP、カリキュラムマップ上の位置づけ 本科目は相談援助実習の実施に向けた事務手続きや動機づけ、実習で得た学びの整理・振り返りを行うものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本科目における実習前指導では、実習実施に向けた関連文書の作成、実習で必要となる知識・技術の獲得、動機づけ等を行っている。こうした過程において学生には主体的学習態度が求められるが、授業評価アンケートの「授業の課題以外に学習に取り組みましたか」との問いでは、「していない」(72.2%)が示された。一方、授業にあたって「図書館を利用した」(53.8%)、「インターネットを利用した」(84.6%)が見られた。こうした結果から図書やホームページ等のネット情報を具体的に提示することで、学習意欲を高めることができると考える。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目における教育目標の達成は「どちらともいえない」であった。また既述の通り、実習への動機づけや主体的学習態度を引き出す点でも課題が明らかとなった。相談援助実習指導Ⅰと同様に、今後は本科目で修得した知識・技術が実際の実習現場でどのように役立ったか/役に立たなかったか、実習後指導(個別面談、発表、レポート)が知識・技術の修得に十分寄与したかといった点での評価も必要と考える。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	通山 久仁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して展開される科目である。授業は実習前指導、実習配属中の指導、事後指導からなり、事前指導ではソーシャルワークの視点形成、事後指導ではスーパービジョンを通じた実践と理論との統合化を目標に展開した。受講動機を見てみると、「資格取得に必要である」は78.6%となっており、ほとんどの学生は資格取得のための履修であり、「関心のある内容である」が7.1%にとどまった。学生の関心を高めるために、事後指導ではそれぞれの学生が経験した内容に基づいてグループワークを行い、それに関連したソーシャルワークの理論やアプローチを提示できるように努めた。</p> <p>前年度は実践場面における対応力を高めるため、事前学習の中で実習場면을想定した事例等を提示して対応方法を指導したり、事後学習の事例検討などにおいて応用力を高めていくような指導をすることを改善計画としてあげた。そこで今年度は、事前学習において事例から個別支援計画を立案していくグループ学習を取り入れた。また事後学習では学生の司会のもと事例検討を行い、ソーシャルワーカーとしてのファシリテーション力や協働の力を養うようにした。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の最終的な成績の平均値は81.8点、中央値85点で、十分なレベルの達成度であったと考える。成績の最低値68点、最高値92点であった。学生の学習達成度の自己評価においては、「自分なりの目標を達成した」が4.1、その他の項目も4.1-4.6と評価が高く、全員の自己評価が標準レベル以上に達していたことから、達成されたと評価した。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して展開される科目として位置付けられている。4. に記載したような成績の平均値、および学生の自己評価から内容的妥当性はあったと考えられる。</p> <p>②DP、行動目標からみても内容的妥当性 4. に記したように成績の平均値、および学生の自己評価から内容的妥当性はあったと考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>学生の授業の質評価については、すべての項目において平均値4.4-4.9と高かった。学習量の評価を見てみると、11回以上の予習をした学生が57%、7回以上の復習をした学生が21%いた。実習前後の課題も多いためと考えられるが、「自発的学習」をした学生も50%おり、「図書館の図書、雑誌の利用」50%、「インターネット利用」50%にもつながっていた。実習の経験が自発的学習を促したことが考えられる。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目は社会福祉士指定科目であり、「相談援助実習」と連動して展開される科目である。4. に記したように成績および学習達成度の自己評価からは概ね授業の目標は達成されたと考えられる。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	納戸 美佐子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は、「必須科目である」45.5%、「資格取得に必要な」81.8%であった。本科目は、社会福祉士の資格取得に必要な相談援助実習に向けた科目である。そのため、講義内では、実習に関わる具体的な手続き、各種書類の作成、事前訪問の方法、実習先でのマナーや態度、総括レポートについて説明し、実践する科目である。また、実習中は、巡回および帰校日による指導を行った。実習後は、実習体験を踏まえた個別・集団指導を行い、実習の総括として全体報告会を開催した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>到達度自己評価において、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」、「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」は平均値4.0点であった。また、「自分の目標を達成した」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」は、平均値3.8点であった。再履修者は、0名であった。これらのことから、全ての学生が標準レベル以上に達したと判断した。しかしながら、予習や復習を行った学生は約3割であり、図書館やインターネットを利用した学生は、半数以下であった。今後は、実習準備や振り返りにおける図書館やインターネットの活用方法についても伝えていくことが課題である。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP・カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、カリキュラムマップにおける専門教育科目である。全ての学生が標準レベル以上に達したことから、内容は、妥当であると考えられる。</p> <p>②DPにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性:本科目は、社会福祉士受験資格取得のための必須科目である。本科目の行動目標は、「相談援助に係る知識・技術の実際的な理解を深め、実践的に体得する」「相談援助に係る知識・技術を実際に活用し、相談援助職に必要な資質、技能を習得する」「職業倫理を身に付け、福祉専門職としての自覚に基づいた行動ができる」「相談援助実習に向けての準備・手続き、実習後の学習について理解する」「相談援助実習での体験や援助活動を専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていく能力を涵養する」である。行動目標が示すように、本科目は、ヒューマンサービス専門家に必要な知識(DP1)、思考判断(DP2)、意欲関心(DP3)、態度(DP4)、技能表現(DP5)を習得する科目である。学生の目標達成状況からDP1における内容は妥当であると考えられる。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価において、「授業中に、自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」は、平均値4.3点、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」は平均値4.1点であった。しかしながら、「説明は理解しやすいものであった」は、平均値3.5点であった。次年度は、学生に分かりやすい説明方法を検討することが課題である。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>授業評価アンケートの結果および成績から、教育目標を達成することができたと考えられた。授業の質評価において、「説明は分かりやすいものであった」の平均値が3.5点であり、他の項目より低かった。また、図書館利用やインターネットを利用した割合が約半数以下であった。そのことから、次年度は、分かりやすい説明方法を検討するとともに自主的な学習を実施しやすい課題や情報を提供していくことが課題である。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
相談援助実習指導Ⅱ	3	通年	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は社会福祉士指定科目の一つであり、「相談援助実習」のスーパービジョン、及び事前指導・事後指導を行うものである。児童福祉領域(児童養護施設・障害児施設を含む)での相談援助実習を通して、相談援助の知識・技術を実践的に体得し、社会福祉士として求められる総合的に対応する力を高められるよう事前指導、事後指導を展開した。事前指導においては、実習施設で求められる援助技術や知識の習得とソーシャルワークの視点の形成、実習中及び実習後指導においては実践と理論の統合化を学生の主体的な学びと気づきの中から達成できるようスーパービジョンを実施することを心掛けた。
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  *根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	各DP項目の達成状況について、学生の到達度自己評価から見ると、「知識理解」(DP1)については「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う35.3%、わりにそうだと思う52.9%)「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う17.6%、わりにそうだと思う64.7%)、「思考判断」(DP2)については「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う23.5%、わりにそうだと思う70.6%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う17.6%、わりにそうだと思う70.6%)、「意欲関心」(DP3)については、「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う35.3%、わりにそうだと思う52.9%)、「態度」(DP4)については「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う23.5%、わりにそうだと思う70.6%)、「技能表現」(DP5)については「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(かなりそうだと思う17.6%、わりにそうだと思う76.5%)、「コミュニケーション力や表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う29.4%、わりにそうだと思う58.8%)であり、目標を達成したといえる。					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。  <授業評価の指標> 「受講動機」 「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①DP,行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記述したように、学生の到達度自己評価から、DPにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。 ②CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は「相談援助実習」と連動して展開される科目であり、実習に向けた具体的準備、実習に向けての動機づけを行い、事前学習、学びの整理を行うものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては平均値4.3～4.4となっており、比較的高い評価が得られた。しかし、授業の予習(1回30分程度以上)を1度も行わなかった学生が35.3%、復習(1回30分程度以上)を1度も行わなかった学生52.9%は、昨年度の60%～64.4%と比較すると減少しているものの、依然として高い値である。学生が学びを深めたい意欲をもち、自発的学習につながるような授業の展開を工夫していきたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本科目の教育目標はある程度達成できたと考えるが、学生の学びを深める意欲を引き出し、主体的自発的に学ぼうとする態度の形成につながるよう、さらなる改善を行いたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	岡田 和敏

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
地域福祉論	2	通年	必修		72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>地域における具体的な福祉問題をテキストの学習箇所で紹介し、解説を行いソーシャルワーカーとしてどのように理解し取り組むかを考えられるよう説明した。DP上の評価は僅かな回答ではあったが「事象を理解する視点や考え方を売ることができた」と自由記述があり、関心を持つ姿勢を伺え成果として判断する。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>						

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必須科目である」が98.7と高いにも関わらず「資格取得に必要」が26.0である。その差が大きくひらいており、科目の重要性を認識できていないのが不明である。「到達度」についての評価が全般的に低いものの「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」「専門分野のさまざまな課題検討する力を得ることができた」が高い評価であったことはDP1においての成果だと考える。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>「学生の参加」や「質問」などに配慮が足りなかった評価をされていたことから今後においては双方向な講義となるよう配慮して行くことにしたい。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>達成状況は十分とは言えないが、対象者そのものではなく地域に暮らす人々であると認識されるまでには達したと判断できる。</p>
------------------------------	--

学科	福祉学科
氏名	樋口 善之

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
地域保健学 I	3	後期	選択		33

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>授業の実施にあたっては、本科目が養護教諭コースを希望する学生が受講していることから、地域保健の仕組みや実践活動の具体例など、養護教諭として知っておくべき基本的内容を網羅することに努めた。また、授業の準備性を高めるため、適宜、学校保健との関連性について説明を加えた。学修準備性については、養護教諭のライセンス取得に関連する科目であったことから、受講態度もよく、おおむね良好であった。しかしながら、課題以外の学習に取り組んだ学生は1名だけであったため、主体的な学びをいかに実現するかを今後の課題としたい。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は、養護教諭の実践力の育成に関連する科目であり、知識理解に重点を置いた。学習到達度の自己評価として、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均値は3.9であり、知識理解は達やや成でできたと考える。また、思考判断・意欲関心についても「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲を持つことが出来た」が3.8点、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」が3.8点であった。</p> <p>一方、技能表現については、講義形式で座学が中心であったことから、完全に達成されたとは言いがたい。学生の自己評価も「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」が3.7点、「コミュニケーション能力や表現力を高めることができた」が3.4点と他の項目に比べて低くなっていた。次年度以降の課題として検討したい。</p> <p>全体を通して、最終的な成績の平均点は84点、再試験対象者が0名であった。到達度としては概ね良好であったと考える。授業の予習復習や課題への課題については取り組む姿勢が見られたが、前述の通り、指示された課題以外の学習に取り組むものの割合が、30名中1名と少なかった。参考図書などを紹介して、自主的な学びを促していきたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>カリキュラムとして、本科目は養護教諭を希望する学生が受講する選択科目であり、専門教育科目として位置づけられている。学校保健の実践者になる上で必要な関連知識を学ぶ位置づけであることから、講義の内容としては、基礎的な知識の修得と意欲の醸成に重点を置き、成績評価としても記述式の期末試験を課し、地域保健に関する基礎的知識と共に、自己の考えを述べる設問内容としている。カリキュラムの位置づけとしての内容的妥当性に問題は無いと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方については、より学校保健との関連性についての説明を適宜加えていくことが学修意欲を高めることにつながると考える。公衆衛生学的な地域保健に関する高度な内容の解説よりも、学校保健との関連性から地域保健事業の背景や課題などをみることによって、知識だけでなく、積極的な主体的学びにつながると考える。また、講義の中で専門用語や組織などは名称や詳細などは、インターネットなどを活用して自主的に調べることを促すことも検討したい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総合的評価として、おおむね良好であったと思われる。本講義を担当して4年目となるが、昨年度よりも授業評価自体は芳しくなかった。授業者としては、地域保健に関する基礎的な理解に重点をおいて行っているが、より学校保健との関連性について触れるようにする必要性を感じた。授業の進め方については肯定的な評価(説明は理解しやすいものであった・・・4.1点)もあつたところから次年度も継続して授業改善を進めていきたい。特に、基礎的な知識の修得に加え、授業スタイルとして、発言の機会を増やしたり、ブレインストーミングを取り入れたりするなど、双方向的な授業になるよう心がけ、より主体的な学びにつなげていく授業改善は継続していきたいと考える。前段でも触れたが、「地域保健をなぜ養護教諭が知っておくべきなのか」という点について受講生が主体的に考えるようにしていくことが本科目の課題であると考えている。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	木村 茂喜

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1	後期	選択	はい	77

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機を見ると、「資格取得に必要である」52.3%、「必修科目である」32.3%、「関心のある内容である」20.0%であった。教職必修科目であることから、福祉・心理・養護教諭コースの養護教諭志望者および子ども家庭福祉コースの幼稚園教諭志望者が履修者の大半を占めていると思われる。2016年度から選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられたこと、および開講中の2017年10月に衆議院の解散総選挙があったことから、当初のシラバスとは後期計画を変更し、統治機構に関する講義を基本的人権に関する講義より先に行った。また、憲法は学生自身の今後の生活や人生に関係が深い、ということを確認して伝えることを心掛けた。なお、欠席率は平均2%程度であった。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>後期試験の平均点は69.68点であった。成績は後期試験をベースに、コメントの記述内容について若干加点(最高10%)することで総合評価とした。その結果、再試対象者は6名(ほかに放棄者1名)、理想的レベル(80点以上)に達した者は12名であった。学生による到達度自己評価については、「職業規範や行動規範について学ぶことができた」の平均値が3.7、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」の平均値がともに3.6と比較的高い。他の項目の平均値は3.2-3.5の間にあり、全体的に昨年度より上昇している。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP,カリキュラムマップ上の位置づけからみると、本学は「総合人間科学」科目であり、教職指定科目であることに加えて、シラバスにも明記してある通り、福祉専門科目である「権利擁護論」で学ぶ内容の基礎となる。しかし、履修の際にシラバスを参考にした学生が半数以下であることから、学部学科全体で履修登録の際にシラバスを学生に読ませ、理由の際の参考にするよう、働きかける必要がある。将来社会の中で、対人社会サービスの担い手となる学生にとって、援助の対象者を人権の主体たる個人として理解するための基礎を得るためには重要であり、学生も一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考えられる。②DP,行動目標から見ると、自己評価と成績に相関関係がみられることから、内容的には妥当であると考えられる。よって、内容的妥当性には問題ないと考えられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価のうち、「テスト、レポート、提出物などの評価基準は明らかであった」、「期間内に行うべき学習の範囲や課題は明らかであった」、「説明は理解しやすいものであった」の平均値がいずれも3.6であり、昨年度より数値がやや上昇(0.2-0.5)している。加えて、今回から毎回講義終了後に学生にコメントを任意で提出する機会を与え、毎回10名前後の学生が提出していた。そのためか、「学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」の平均値が3.6となり、昨年度より0.8上昇した。他方、講義の冒頭で予習・復習の具体的な仕方について説明したが、予習を全くしなかった学生は54%、復習を全くしなかった学生は47%であった。昨年度よりはやや減少しているものの、今後は予習・復習の必要性と具体的な方法についてより丁寧な説明を心掛けたい。授業以外の学習として「教科書を読む」、「ニュースを見る」などの記述があったが、授業以外に学習していない理由として「授業で事足りると感じたため」、「何をしたらいいか分からなかったから」、「時間がなかった」などの記述が見られた。毎回のコメント提出で十分だったせいか、学生の意見は特になかった。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>総合人間科学科目とする本科目の位置づけから、豊かな教養のもと、社会を多面的に捉える基礎的な知識の形成についてはおおむね達成できたと考える。今後は予習・復習の習慣が定着する方策を検討したいと考えている。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	深堀 和枝

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
乳児保育	3	通年	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①受講動機を見ると「必須科目である」が100%、「資格取得に必要である」が46.7%ということで、できるだけ楽しく学んで欲しいと考え、毎回わらべうたや手遊びなどを取り入れようとした。</p> <p>②講義だけでなく、制作、グループワーク、演習など技術を取得するために必要と思われることを積極的に授業に組み込んだ。</p> <p>③教科書だけでは子どもの発達が分かりづらいと考え、保育現場の映像を活用しわかりやすく説明した。</p> <p>④授業開始時は先週の復讐、終了時にはカードに質問や印象に残ったことなど記入してもらい次回の授業に活かすようにした。</p> <p>⑤保育実習を前に保育所見学やふれあい体験などを勧めたが、前年度以上に興味を示さず参加がなかった。外部非常勤講師のため授業に組み込むこともできなかった。しかし「実習に必要な知識をたくさん学べてよかった。」と意見があったので今後も現場の実態を伝えていくようにする。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>①学生の達成度自己評価では、平均値が4.3と高い数値であった。テストは概ね理解できていたが、コミュニケーションや表現力を高めることはできるだけ多く取り入れたが、目標達成には努力が必要である。</p> <p>②「実習に必要な知識をたくさん学べてよかった」と学生の声があった。今後は知識だけでなく技能の習得のための時間が必要と思われる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機は「必須科目である」が100%のため、意欲的に学ぶ姿勢が有り、内容的には事例を多くあげていき学生も一定の成績を取めていることから学生の達成すべき行動目標は標準レベルに達し、内容的には妥当であったと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質の評価では「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど学生が参加する機会が作られていた」の平均値は4.5と高かった。反対に「図書館、インターネットの利用」は低く、学生が自主的に学ぶ機会を作る授業の工夫が必要と感じた。課題を明確にして、ネットの利用は授業に組み込んでいくことも考えた。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>昨年度の反省を活かし、演習を多く取り入れた。学内の散歩も取り入れ安全面への配慮やわらべうた遊びを多く取り入れることで、「保育実習Ⅰ」に繋いだ。「愛情豊かに」言葉では理解できても実際に子どもと接しないと実感できない部分があるので、次年度はもっとベビー人形を活用し応用していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	野井 未加

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
発達心理学 I	1	後期	選択	いいえ	63

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本学科が養成する資格を取得する上で、胎児期～児童期までの発達過程について心理学的観点から理解することは極めて重要であると位置づけているため、受講者数が昨年度に比べ大幅に増加しているのは喜ばしい事であった。内容的には理論的要素の強い学問領域ではあるが、自らの発達を振り返ることができるためイメージしやすいところがあったと考えられる。またできる限り、具体的な事例などを紹介することでイメージの共有を図った。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。  * 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。  <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	<p>成績の平均値は74.8(±12.9)であり、最終的に単位を取得できなかった者(放棄した者を除く)は3名であった。学生による到達度評価が3.4と高めであり、知識の確認・修正・獲得の領域も3.5と高かった。学習量は低いものの授業の内容の理解は十分であったと評価できる。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目の内容は福祉の専門職(特に児童・障害児・教職・保育)にとって必須の知識であり、学科のCPとは合致していると考えられる。学生の受講動機としては「必修科目である(実際は異なるが)」「資格取得に必要である」「関心のある内容である」がそれぞれ10.7%、46.4%、37.5%と多くを占めており、この点からは内容的妥当性があるものとする。一方DPは標準的水準以上の達成をしていると評価しているものの、学生の学習量は十分とは言えず、授業の内容以上に知識を増やそうという意欲のある学生が少なかったのが残念な点である。人間の発達の複雑さ、面白さに触れ、自発的で発展的な学習を促すよう、参考文献などを適宜紹介していきたい。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においていずれの項目も3.0-3.3と比較的評価が高かったと理解している。学生からの質問については感想に記載されているものもある。以前の授業では感想に書かれた質問に文書で応じたこともあったが、回答だけで4, 5ページに至り先に進めないこと、学生自身が自己学習する機会が減ってしまうことが懸念されたため、2016年度より第1回目の授業の中で、「分からないことがあれば、一度は自分でレジュメや教科書、その他の関連図書を読んで解決する努力をしてほしい。その上で分からないことがあれば、直接質問に来るように。」と伝えることとした。また参考になる関連図書についても提示した。予習・復習の仕方については、一人ひとり理解度や学習方法が異なるため、各自に必要な程度・方法で行ってほしい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>学生自身の到達度評価及び成績も概ね高い値を示していると考えられるため、本科目における授業構成・展開でさほど問題はないと思われる。課題としては、学生が自発的・発展的に学習するように、レジュメに提示されている参考文献を読むなどの注意喚起を行っていく。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	大神 英裕

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
発達臨床心理学	2	後期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本授業では発達障害の地域支援の問題を取り上げた。その理由は学術的にも社会的にも重要視されている今日的課題であるからである。また、このテーマを理解していくためには、発達心理学・臨床心理学・基礎統計学などの習得が必要であるといった気づきの涵養も促したかったからでもある。二年生であることを考慮して、毎回、分かりやすいパワーポイントを提示し、配布資料も用いて解説した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	どちらともいえない	どちらともいえない		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>上記の目標達成状況の判断は、最終試験の成績が平均点73点で、90点以上が4人、70点台が5人、60点以下が3人に分布したことによる。また、授業期間中に小テストを3回実施し、授業の感想文を1回提出させ、これらも目標達成状況の参考にした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は専門応用科目に繋ぐ要の位置にある。そのため心理学の基礎知識や障害児者の発達支援などに関する動機付けを重視すると共に、授業開示前に、国家試験の過去問を実施して本科目の重要性の認識を高める工夫もした。受講生も一定の成績を収めていることから内容的には妥当であると考え。思考判断に関する試験結果からは上位3割は達成度は非常に高かったが、下位の3割はほぼ無回答であったことから能力・関心の個人差は大きく、授業内容に妥当性があったとは言えない。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>受講生の知識・能力・関心などに個人差が見られたことは、授業の進め方に改善課題があることを示している。前期の授業では三十数名の受講者の成績・受講態度も極めて良好であったことを比較検討してみると、今回は工夫が足りなかった。前期は特別支援教育のコーディネーター、障害当事者、NPO障害者指導員など地域の実践者を招聘してオムニバス形式を導入したり、意見交換会などを実践し、絶えず学術的・社会的な関心を促す努力をした。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>本授業の達成状況は普通(やや達成された・どちらとも言えない)レベルであったと評価される。改善策として、①教育力向上の取り組み(FD活動)の一環として、授業相互参観を取り入れて、授業改善に繋ぐ(数年に一度程度:教員が疲弊しないように留意)。②オムニバス方式の導入と大学・地域連携の基礎作り、など。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	目野 郁子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
微生物学	1	後期	選択	いいえ	36

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>①初回、資格取得(養護教諭免許)に必要な必須科目としての位置付けと、福祉の就職現場に必要な知識の習得を目指す科目であることを説明した。</p> <p>②授業内容には、学校現場、保育園、高齢者施設などで流行している感染症をピックアップし、具体的な事例をあげ説明した。講義中に質問をし、理解度が不十分な箇所は繰り返し説明した。</p> <p>③受講動機を資格取得のためとした学生は、60%と昨年より16%低く、学生のモチベーション・学習状況に差が出る可能性があり、講義の最後には必ず質問を受ける時間を設けた。</p> <p>④レポートは、興味関心のある感染症の中から学生自身で課題を決めさせた。また、評価項目に参考図書の利用と文献検索をおくことで、図書及びデータベースの利用を促すようにした。学生には積極的に図書館スタッフに相談するよう指導した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された				
(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>					
	<p>①総合評価の平均値は70点であり、再試対象は4名であった。うち1名が受験し再試験に合格した。89%の学生が標準的レベルに達しており、理想レベル(80点以上)の学生は23%であった。レポート課題の平均得点は7/10点であった。学生の自由記述には、全授業で一番知識を得ることができたとの意見があった。</p> <p>②自由記述から「知識の整理は教科書に記録する、ノートにまとめる」など自身の学習方法を見出した学生がいた。一方で「何をすればいいかわからなかった、しなくていいと思った」などの記述もあり、学習において学生間に顕著に差が認められた。</p> <p>③また、学生の自己点検評価値は、知識を確認し新たに得ることができたは3.7で昨年に比較し低かった。1回に30分以上の予復習の時間を4、5回以上かけた学生が25～30%いる一方、1回もしなかった学生が20%いた。</p> <p>④課題レポートの評価基準は明確に示すよう心がけた。また、レポート課題は興味ある題材から選択させた。これに関する学生の授業の質評価は、それぞれ3.8、3.7であった。レポート作成については、積極的に図書館を活用するよう指導し、評価項目にもあげたためか図書・雑誌の利用率は63%、学術データベースの利用率は54%と、昨年に比較し13%利用率が上がった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 専門教育科目で養護教諭取得免許取得に必要な必須科目である。将来の就職に向けても福祉・医療・学校現場で必要な感染症の基礎知識を身につけるうえで、科目の内容は妥当であると考え。</p> <p>②DP, 行動目標からみても内容的妥当性 養護教諭採用試験や福祉・医療現場で役立つ知識の習得を目指しており、学生の知識到達度からみても内容は妥当であったと考える。</p> <p>③まとめ 上記で述べたように、本科目のCP上の位置づけもDPを達成するための講義内容についても妥当であると考え。</p>
---	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に お示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示し ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、 インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>①総合評価では89%の学生が標準レベルに達しているが、学生間の学習に対する意識の差は明確で、予復習に全く時間かけていない学生が20%もいる。特に、資格取得以外の受講動機の学生に科目への理解を促すため、科目の位置付け・概要を講義中に繰り返し説明する。また、感染症のトピックスを随時紹介し、興味関心を持つように働きかける。</p> <p>②授業改善の結果、学生の参考図書・学術雑誌、学術データベースの利用率があがってきていることから、レポート課題を通した図書館活用に向けた上記改善策は今後も継続し行う。</p> <p>③学習方法がわからないとする学生に対しては、提示したポイントの整理を早期から取り組むよう促し、積極的に質問をするよう働きかける。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示しください。</p>	<p>・養護教諭採用試験や福祉・医療現場で役立つ基礎知識の修得を目指すという目標は、学生の知識到達度からやや達成できたと思われる。</p> <p>・昨年からの傾向として、学生間の学習姿勢・学習量に差が出ている。まずは資格取得以外の受講動機の学生のモチベーションをいかにあげるか課題である。</p>
-------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	谷川 弘治

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉臨床心理演習 I	2	後期	選択	いいえ	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ソーシャルスキルトレーニングと家族療法という2つのテーマについて、理論の基礎をロールプレイや発表を通して学ぶように手順を明確化して取り組んできました。テーマ毎のプロシーチャーは次の通りとし、間に体験を挟んで理論への理解を深める構造を作った。</p> <p>導入(教員による解説)⇒ ロールプレイ・グループワーク ⇒ 理論学習(発表と討論) ⇒ まとめ</p> <p>本年度も、SSTの応用について、災害時のストレスマネジメントを取り上げて検討する機会を設けた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	どちらともいえない	
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。	<p>本年度は資格取得に必要とする学生が多く、「関心のある内容である」という受講動機が41%から27%に減少した。成績評価は全般に低下した。</p> <p>・平均: 72(昨年度82点, 一昨年度79点) (柱別得点割合: ソーシャルスキルトレーニング: 77%, 家族療法: 74%, 最終レポート: 70%)</p> <p>学生の授業評価を昨年度と比較した結果も下記の通り(一昨年→昨年→今年), 昨年より低下していた。</p> <p>・全体: 自分なりの目標を達成: 3.3→3.7→3.1</p> <p>・DP1-1,1-2: 知識を確認, 修正したり, 新たに得る: 3.6→3.9→3.3</p> <p>・DP1-1,1-2: 事象を理解する視点や考え方を得る: 3.7→3.8→3.2</p> <p>・DP2-1: 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力: 3.8→3.8→3.2</p> <p>・DP2-1: 自分が学ぼうとしている専門分野において, 的確に判断する力: 3.5→3.9→3.1</p> <p>・DP3-1: 自分が学ぼうとしている専門分野について, 学びを深めたいと意欲をもつ: 3.5→3.9→3.1</p> <p>・DP5-1,5-2: 自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につける: 3.4→3.9→3.2</p> <p>・DP5-1,5-2: コミュニケーション力や表現力を高めることができた: 3.8→4.0→3.6</p> <p>2名の学生が途中でリタイアした。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>とくに問題ない。</p>
---	-----------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>基本的な取り組み方を昨年度と同じとした。 授業の質の評価は「説明は理解しやすい」3.3、「学生が参加する機会が設けられた」3.5、「質問を受け付け、答える機会」3.5と学科平均より低かった。 学生の受講動機が大きく変化していること、途中リタイアした学生が2名いたことから、出発点からの変化に教員が対応し切れていなかったことが考えられる。 次年度に向けては、当初に受講動機を明確にすること、学習参加状況を常に検討することなど、臨機応変な対応を検討したい。</p>
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>「履修者の状況が変わりつつあることを意識して、従来の方法に拘泥しない」という一昨年の総括が活かさない形となった。記述の通り、学習準備状況の確認等を行い、方法に工夫を加えていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	杉本 有紗

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
福祉臨床心理学 I	1	後期	選択	いいえ	80

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の受講動機は、「必修科目である」37.8%、「資格取得に必要である」45.9%、「単位数を確保する」17.6%に比して「関心のある内容である」23.0%であったことから、課題達成のための知識獲得に加え、意欲と関心の高い学生も2割ほど受講したことが伺える。本科目は、1年後期開講科目であり、初めて臨床心理学に触れる科目であることから、その基礎理論を具体的に分かりやすく伝えること、テキストの内容に加え、適宜参考資料をプリントし添付することで、学生のこの分野への知識理解の深まりと意欲関心の高まりを促している。</p> <p>授業毎に提出させている小レポートに挙げられた質問や疑問は、次回授業にてフィードバックを行い、学生の関心に応じるよう工夫した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された	達成された		達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績（トータル成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>最終的な成績の平均値は82.37点であった。本試験受験者全体75名に対し、80点以上の理想的レベルの者は45名であったことから、半数以上の者が理想的レベルの知識理解と関心意欲を獲得したと考えられる。また、追再試受験者中50%の者については、再度勉強をし直し標準レベルの知識を獲得したことを確認することができた。学生の自己評価においても、「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」の平均点は3.7点と高い。その他項目についても概ね3.6点であり、知識の習得の実感を持ち、意欲的に課題に取り組んだと評価する学生が多かったと考えられる。</p> <p>意欲関心については、殆どの学生が小レポート30点配点中8割を超えており、最も低い学生でも6割であったため、概ね達成されたと言える。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は「選択科目」であるが、社会福祉士、精神保健福祉士、養護教諭、保育士など対人援助職としての専門性を獲得する上で、臨床の心理学を学ぶことは基礎である。したがって、1年次の福祉臨床心理学 I の学習は重要でかつ妥当であると考えられる。</p> <p>福祉臨床心理学 I における臨床心理学の基礎理論は、福祉臨床心理学 II、発達臨床心理学における応用的知識へつながる重要な導入科目として位置づけられる。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業は、スライドを用いてテキストのキーワードや概念を分かりやすく伝えるように工夫した。また、テキストの内容に加え、適宜参考資料をプリントし添付することで、学生のこの分野への知識理解の深まりと意欲関心の高まりを促した。学生のアンケートからは「資料をもらったので読んだ」との意見が出された。学生アンケートによると、学習準備を30分程度1回以上行った者が47名だった。また、復習を30分程度1回以上行った者が48名だった。約6割の学生が予習復習に取り組んでいる。これは、授業内容は新しい概念や言葉など知識獲得を目的とするものであったため、まずは授業内容を理解し獲得していくことに専念した学生が多かったと言える。</p> <p>自由記述欄にも、「何をしたいかわからなかった」という感想の一方で、「テスト勉強」「教科書を見直した」「復習」を主に行ったと述べている者が多く、まずは授業内容を自分のものとして吸収することを念頭に学習をしていることが伺える。</p> <p>毎回、提出すべき課題等を課しているわけではないが、学生が自主的に予習・復習に取り組んでいたことが伺え、また、その結果は試験に反映されたと考えられる。試験前には、個別に質問や確認に来るようにと促していたが、成績の振るわない学生のなかには、授業内容についての疑問や自分自身の学習課題を解決できていない学生が含まれているようであったことから、今後もそのような学生に対し、積極的な学びを引き続き促していく必要がある。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目の目的とする基礎的知識の形成、意欲関心の向上について、概ね達成できた。 一部学生に、自主的な予習・復習を行い、日々の授業内容について行くことが難しい学生がいたことから、そのような学生に対しても十分な学びを促していきたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	谷川 弘治

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の心理学 I	2	後期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>例年配慮している点は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとかかわる機会が少ない学生もいることから、事例をもとに説明を行うこと、学生相互の子どもや保育に対する考え方を共有する。</li> <li>・子どもが「自分らしくあること」と「仲間と共にあること」のように一見、相反する視点を検討し合い、保育士としてより深い見方ができることに気づく。</li> <li>・子どもの個の発達とその支援について、新生児・乳児期、幼児期、学童期に分けて、最新の知見も踏まえて検討する。</li> </ul>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された		
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>受講動機として「必修科目である」73%、「資格取得に必要である」55%が多く「関心のある内容である」は9%と少なかった。最終成績の平均は78点であり、昨年の81点より若干低下した。低下は履修を中断した学生によるものであった。評価対象別にみるとレポートA 80%(昨年並み)、レポートB 69%(昨年88%)、小テスト69%(昨年74%)、期末テスト81%(78%)であった。</p> <p>以上から、全般に例年並みの成績であった。</p> <p>学生の授業評価の結果を昨年度と比較した結果、つぎの通りであった(一昨年→昨年→今年(学科平均))。</p> <p>全体: 自分なりの目標を達成: 3.2→3.7→3.7(学科平均3.5) / DP1-1,1-2: 知識を確認、修正したり、新たに得る: 3.8→3.9→3.6(同3.8) / DP1-1,1-2: 事象を理解する視点や考え方を得る: 3.6→3.9→3.5(同3.7) / DP2-1: 自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力: 3.7→3.8→3.7(同3.7) / DP2-1: 自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力: 3.5→3.8→3.7(同3.6)</p> <p>DP1(知識・理解)領域で減少傾向があったが、アクティブラーニングに軸を置いたことが影響しているかもしれない。</p> <p>知識・理解と思考・判断のバランスについて、さらに検討を進めたい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>とくに問題ない。</p>
--	-----------------

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>本年度は、多くの発言が得られる学年であったが、議論が脱線したり、冗長になる発言が比較的多かった。学生による授業の質評価は下記の通りであった(昨年度→本年度(本年度の学科平均))。全般に昨年度よりも低下していた。</p> <p>内容的に同じであったが、議論が冗長になりがちであったことが影響していたかもしれない。脱線しがちな場合の切り替えの言葉かけや集中を保つ環境構成について検討を加えたい。</p> <p>「評価基準は明確であった」 4.1→3.5(3.7)  「学習範囲、課題が明確であった」4.2→3.5(3.7)  「説明は理解しやすい」 3.3→3.5(3.7)  「参加する機会があった」 4.3→3.5(3.4)  「質問を受け付け答える」 4.0→3.5(3.5)</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>今後も、各種のアクティブラーニングの要素の導入には積極的でありたい。 知識・理解と思考・判断のバランスについても検討を加えたい。 学生の状況に応じた関わりの柔軟な変更については、さらに訓練をしていきたい。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の表現技術Ⅱ	1	後期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>ピアノの演奏技術においては、幼少期から大学入学前までの経験によって大きく異なるものであるが、前期の『保育の表現技術Ⅰ』において、初心者であった学生もある程度は楽譜を読み取り、ピアノを演奏できるようになり、モチベーションは高まってきたことから、各学生の演奏技術の習熟度を見極めつつ、さらにそれを高め、到達目標をより高いところにおいて日々取り組むことができるよう、各自の適切な課題の設定に努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された				達成された	
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>前期より難度の高い曲に挑戦し、弾けるようになる学生が大部分であった。ピアノの演奏のみでなく、弾き歌いという難度の高い課題が加わっての後期試験となったが、一人ひとりが十分に準備をして実技試験に臨み、全員合格で平均点は83点であった。また、授業評価アンケートにおいて、学生が授業時間外にピアノの練習を自主的に行ったことが記述されており、技術習得に向けて各学生が主体的に取り組んだことが示された。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①CPカリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は1年次開講科目であり、保育専門科目の受講に対する動機づけにつながるという点で重要な科目であると考えられる。教育目標においてはピアノ奏法のレベルによる目標設定を行ったが、授業内容としてはピアノ奏法の習得のみでなく、歌唱や人の前に立って表現活動を行うことも取り入れた。また、学習準備性において個人差が大きかったものの、授業への取り組み、達成状況においてはある一定の成果が得られたことから、内容的には妥当であると判断できる。</p> <p>②DP行動目標からの内容的妥当性 それぞれにおいてある程度達成されており、内容的妥当性には問題はないと考える。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>ピアノ奏法の評価基準については昨年度からの改善方策としてより具体的に示し、定期試験に向けての取り組みに生かせるように配慮したが、授業の性質上、「テスト、レポート、提出物などの評価基準」や「期間内に行うべき学習の範囲や課題」は学生にとってわかりにくいと感じられるかもしれない。「学生の質問を受け付ける」「学生同士の話し合いなど参加する機会をつくる」などしてこの点をさらに改善できるよう工夫していきたい。</p>
---	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>達成度自己評価の結果と日々の学生の取り組みの様子から、教育目標は一定程度達成できたと考えられる。本科目は1年時のみの開講であり、2年次以降は個人の努力でさらにピアノ奏法のレベル向上に努めていくことが求められることから、学生の技術習得への意欲を高め、自発的練習につながるようさらに工夫していくことを来年度の課題としたい。</p>
------------------------------	--

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育の表現技術Ⅳ	2	後期	選択	いいえ	13

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	×	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、ほぼ全ての学生の動機がそれに該当する科目である。そのため、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。保育技術に関する教授内容であるが、技術獲得のための課題は授業時間中だけでは実施困難であるため、授業外での学習を要するものであった。そのため、次回授業時までには復習・予習を必要とするものの、実施状況は十分とは言い難い結果であった。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された		達成された	達成された	達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートにおいて、学生の「到達度自己評価」にて概ね目標を達成できたと感じていることが確認でき、シラバスの達成目標を基に作成した、各課題の評価チェックリストにおいても全ての学生が学修効果を実感している様子が確認された。成績評価も良好で、学生の実感と近い結果であったと考える。予習・復習が十分ではない中においては、到達課題の難易度が少し低いのかもしれないため、再考したい。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、特に保育技術に関する内容の教授であることから、関連DPについては妥当であるとする。また、実習に行く前に身につけておくべき内容であることも含めて、CP, カリキュラムマップ上の位置づけも妥当であるとする。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は概ね問題ないと考えている。実演形式で保育の技術について教授し、授業外の学習時間で課題を行うという進め方であったが、それ故に「課題が多い」という意見も一部であったが、また一方でその進め方により、結果的に学生の目標到達や成績状況も良好であったと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>成績評価上も概ね教育目標は達成できていると考える。次の段階として、これ以降の授業で本授業で獲得した技術を発揮できる時間の確保ができればなお良いと考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅱ	4	通年	選択	いいえ	15

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、全学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うというよりは、必然的に受講している科目である。</p> <p>学生の受講動機に関わらず、保育実習に行くための準備科目であるため、社会人としての基礎的なマナーから実習に必要な書類作成、実習の心がけ、基本的な保育技術について教授する準備を整えた。また、2度目の保育所実習ということで、1回目の実習を踏まえて、各個人について必要な保育技術についても事前に聞き取りを行い準備した。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された
<p>(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の「到達度自己評価」においては、概ね目標を達したことが確認できるが、実習後の保育所からの評価から、一部学生においては十分に目標達成できているとは言いがたい学生もいた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、学内の学びを総合的に実践の場で学ぶ機会であるため、上級学年での開講の必要がある。その点を踏まえて、DP、CP、カリキュラムマップにおける位置づけにおいては妥当であると考えます。</p>
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>実習に行くために必要な知識・技術を身につけるための科目であるため、必要な教授内容を系統的に配置し、進化した。特に2回目の保育所実習であることから、高い保育技術を教授できるよう、全受講学生のニーズに個別に合わせ2名の教員で授業時間外にも個別に対応した。</p>
--	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>実習先からの評価、成績評価において、一部評価の低い学生はいるものの、総括として不可の学生はおらず、概ね教育目標は達成できていると考える。</p>
------------------------------	---

学科	福祉学科
氏名	文屋 典子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅲ	4	通年	選択	いいえ	12

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>本科目は保育士養成科目の一つであり、「保育実習Ⅲ」の事前指導、事後指導、スーパービジョンを行うものである。実習前指導においては、実習で求められる専門的知識・技術の確認と実習課題の明確化をはかり、実習中のスーパービジョンと事後指導においては、実践と理論の統合化を学生の主体的な学びと気づきの中から達成できるようスーパービジョンを行い、保育士として求められる総合的に対応することのできる力の涵養に努めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された	やや達成された	達成された	やや達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>*根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>学生の学習到達度の自己評価においては、「知識・理解」(DP1)において「知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(かなりそうだと思う20%、わりにそうだと思う60%)、「事象を理解する視点や考え方を得ることができた」(かなりそうだと思う20%、わりにそうだと思う50%)、「思考・判断」(DP2)において「自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた」(かなりそうだと思う30%、わりにそうだと思う50%)、「自分が学ぼうとしている専門分野において、的確に判断する力を得ることができた」(かなりそうだと思う30%、わりにそうだと思う40%)、「関心・意欲」(DP3)において「自分が学ぼうとしている専門分野について、学びを深めたいと意欲をもつことができた」(かなりそうだと思う20%、わりにそうだと思う50%)、「態度」(DP4)において「職業倫理や行動規範について学ぶことができた」(かなりそうだと思う20%、わりにそうだと思う60%)であり、一定程度は教育目標を達成できたと考える。また、「技能・表現」(DP5)においては「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」(かなりそうだと思う40%、わりにそうだと思う40%)、「コミュニケーションや表現力を高めることができた」(かなりそうだと思う30%、わりにそうだと思う50%)であった。</p>					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>①DP,行動目標からの内容的妥当性 4(2)に記述したように、学生の到達度自己評価から、DPにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性に問題はないと考える。</p> <p>②CP,カリキュラムマップ上の位置づけからの内容的妥当性 本科目は「保育実習Ⅲ」と連動して展開される科目であり、実習に向けた具体的準備、実習に向けての動機づけを行い、事前学習、学びの整理を行うものである。本科目のCPおよびカリキュラムマップ上の位置づけに問題はないと考える。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の質評価においては、平均値3.7～3.9となっており、授業の進め方について概ねよかったものと考えているが、「何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」において平均値が3.7と低い値になっており、この点においては改善が必要である。学習量の評価においては、授業に参加するために1回30分程度以上の準備を行ったものが100%、復習を行ったものが80%であるのに対し、自発的学習を行わなかったものが80%、無回答が20%となっており、主体的に学びに向かう態度を十分に形成できていない状況である。授業以外にも主体的かつ積極的に学習に取り組むような姿勢を養い、実習への動機づけに結びつけられるよう、さらに工夫を重ねていきたい。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>本科目における教育目標はある程度達成できたと考えるが、主体的学習態度の形成においてさらなる改善が必要であると考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	上村 眞生

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実践演習	4	通年	選択	いいえ	27

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、全ての学生の動機がそれに該当する。基本的には保育士資格取得希望者のみが受講可能な科目であり、受講に際して主体的・積極的動機づけを行うことは困難な科目の一つである。</p> <p>上記の状況は例年変わらないため、授業内容において、保育実践の場で必要となる総合的な知識・技術を身につけることを課題として設定している。</p>
---	--

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータルの成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示し下さい。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業評価アンケートにおいて「到達度自己評価」にて概ね全ての学生が達成できたと感じており、成績評価においても、一部低評価の学生はいたが概ね到達目標に向けて努力し、達成した姿が確認された。</p> <p>学習に際して、シラバスの活用や図書館利用等は十分とは言えず、多様なソースを活用した学びには及ばなかったと考える。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士資格取得のための必須科目であり、4年間の学びを総括する内容の科目であるため、4年での開講の必要がある。その点を踏まえて、DP、CP、カリキュラムマップにおける位置づけにおいては妥当であると考えます。</p>
---	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>授業の進め方は概ね問題ないと考えている。保育に関する行事運営形式で年間を通して進行することから、授業外の課題や準備が必須となるため、「課題が多い」という意見も一部であったが、また一方でその進め方により、結果的に学生の目標到達や成績状況も良好であったと考える。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお示ください。</p>	<p>総合的に授業目的は概ね達成できたと考える。他の授業や就職活動、実習との兼ね合いから、極端に課題が重なる時期があったことから、他の授業も含めた学生の利用可能時間の年間を通した均一化が必要であると考える。</p>
------------------------------	---

リフレクションカード 2017年度後期

学科	福祉学科
氏名	山根 正夫

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育者論	1	後期	選択	いいえ	24

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

<p>授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、自由記述の意見など</p>	<p>初年次科目であり、保育士を目指す学生の今後の動機づけにも大きく影響すると考えられる科目でもあるため、できる限り学生が能動的にかつモチベーションが高まるように予習を含む授業準備と授業内容を検討し実施した。予習については毎回テキストの各章のまとめと、内容について主体的に調べたことなどを記述したノートの提出を求めた。</p>
---	---

4. 学生の目標達成状況について

<p>(1)教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。</p>	全体を通して	知識理解(DP1)	思考判断(DP2)	意欲関心(DP3)	態度(DP4)	技能表現(DP5)
	やや達成された	やや達成された	やや達成された			
<p>(2)上記の評価の根拠を簡単に示して下さい。</p> <p>* 根拠として、成績(トータル成績、行動目標あるいはDP別)の平均値や分布(標準偏差、S、A、B、C、Dの度数)、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など</p>	<p>授業での毎回の報告と反応、毎回予習として作成を義務付けたノートの提出から、学生間でばらつきはあるが概ね達成できた。</p>					

5. DP、CP、カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

<p>DP、CP、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「受講動機」、「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など</p>	<p>保育士を目指す学生の動機づけにつながる科目として妥当であると考えられる。</p>
--	---

6. 授業の進め方とその向上について

<p>授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお願いします。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。</p> <p>&lt;授業評価の指標&gt; 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など</p>	<p>予習してくることで、テキスト各章の理解が深まっていると考えられる。また、ノートについてはコメントを記入し、着眼点などの確認をした。</p>
---	--

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

<p>達成状況の総括的評価と課題をお願いします。</p>	<p>予習して授業に臨み、一部自らの責任で多額性に向けて報告し、教員から解説やコメントを提供することで学生間にばらつきがあるとはいえ成果があったのではないかと考えている。ノートについてはできる限りコメントを記述したが今後の他教科の学習につながることを期待している。</p>
------------------------------	--